令和３年度
内閣府補助事業

「認定こども園における子育て支援事業の取り組み等に関する調査研究」

調査報告書

令和4年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目次

はじめに..... 1
第１章 調査概要..... 6
１－１ 調査目的..... 6
１－２ 調査概要..... 7
１－３ アンケート結果のポイント 10
１－４ 報告書の見方 12
第２章 アンケート結果..... 13
２－１ 属性..... 13
２－２ 園の概要..... 15
２－３ 子育て支援事業の実施状況 22
２－４ 子育て支援事業の全体的な実施方法や課題..... 69
２－５ 地域子育て支援拠点事業との関係 88
第３章 参考資料..... 94
３－１ 特徴的な取組に関する自由記述一覧..... 94
３－２ 単純集計結果 120
３－３ 調査票（WEB アンケート画面）..... 141

はじめに

アンケート報告に先立ち、当調査の有識者委員であるに参加いただいた各氏、ならび内閣府子ども・子育て本部からのコメントを掲載する。

学習院大学　文学部　教授　　秋田　喜代美

今回の調査結果では、コロナ禍にもかかわらず 3,000 園を越える多くの園が回答にご協力をくださいました。

そこでの特徴として、全体的な傾向とあわせて明らかになったのは、認定こども園の中でも類型別、規模別にみるとそこにかなりの違いがあることや、地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている園とそうでない園の違い、自治体との連携や発達支援センターや特別支援に関する専門家等との連携はまだ不十分なことや支援にあたる人材の不足などの課題も浮き彫りになってきました。

またデータや自由記述を読み解きながら「子育て支援」に対する具体的イメージの違いも明らかになってきました。地域子育て支援はこれからの少子化時代に地域行政にとって不可欠な政策課題です。どのようにして国や自治体が園や子どもと保護者を支援するか、そのための連携の輪をどのように形成していくのかの基礎資料に本報告はなると考えられます。全国どの地域でもどのような類型の園でも、地域のニーズに応えていくために何がまず求められているかの一次データとして本結果は貴重なものになると考えます。そして各園がこのような支援事業もできるという取り組みを知る契機や一助ともなることを委員の一人としては願うところです。

大阪総合保育大学　教授　　大方　美香

認定こども園は子育て支援事業を行うことが義務付けられていますが、子育て支援事業の実情調査はあまり実施されてきませんでした。今回の調査は、これからますます求められる支援のあり方を考える一助として意義深いものです。

子育て支援事業は、①地域の親子が交流する場の開設（85.2%）、②一時預かり事業（67.9%）、③家庭への情報提供・相談事業（46.3%）となっています。確かに、このような保護者、家庭への支援は大切ですが、子育て支援事業が始まった当初より変わっていないのではないでしょうか。今後は、子育て支援者に関わる支援の増加を期待したいと思います。コロナ禍で支援事業の中止等が相次ぐいまだからこそ、この調査を通じて、何が大切かを改めて考える契機となることを願っております。

もう一つ気になったことは、地域子育て支援事業の支援拠点になっている園が39%であることです。人員体制が整っていないことが理由に挙げられていますが、果たしてそうでしょうか。自園の子育て支援を超え、地域全体の子育て力が上がるよう、また地域として子育て困難な家庭に支援が行き届くことが重要であると考えています。

コロナ禍にも関わらず多くの皆様の御協力をいただきましたこと、心より感謝御礼申し上げます。この御尽力に応えるためにもこの調査結果が生かされ、多くの皆様に知っていただき、活用いただけますようにと祈ります。

社会福祉法人　みつは会　理事長
学校法人　　鳳明学園　理事長　　田頭　初美

平成27年に「子ども・子育て支援新制度」が施行され早くも7年が経過致しました。制度の10年見直しが3年後に迫っているこの時期に、改めて認定こども園における子育て支援事業について、学校法人、社会福祉法人、公立の如何によらず、認定こども園の4つの類型から調査が行われたことは、非常に意義のある事だと思います。

今回の集計結果から見えてきたのは、園の人員配置数が多い認定こども園ほど様々な子育て支援事業の展開をしている割合が高いということです。

新制度における「地域子ども・子育て支援事業」を受託している認定こども園や、人員規模の大きい認定こども園は、子育て支援の推進が図りやすい傾向にあるのではと感じました。

コロナ禍によりさらに加速している少子化問題。少子化、過疎化がじわじわと進み、日本全体の大きな問題として取り上げられ始めておりますが、そのような中、乳幼児期の子どもたちを取り巻くより良い環境づくりがクローズアップされ、ひいては子育て家庭が取り残されることなく地域に大切にされていくような仕組みづくりが必要なのではと感じます。

認定こども園における子育ての支援の意義をしっかりと見据え、地域に必要とされる認定こども園となるべく鋭意努力を重ねるとともに、国や地方自治体による制度の見直しや検証が推進され、更なる子育て支援の充実が図られていくことを願っております。

松戸市　子ども部　保育課　課長　　山内　将

実施形態は様々ですが、工夫を凝らして子育て支援に取り組んでいることを改めて認識しました。

この事例集により新しい発見や取り組みにふれることで、認定こども園における子育て支援に、より一層の深みが増すことを願っております。

学校法人渡辺学園　ゆうゆうのもり幼保園　園長
港北幼稚園　園長　渡邊　英則

全国にある認定こども園を対象に、これだけ大規模に、認定こども園における子育て支援について調査したデータはありません。どの園でも、子育て支援については、独自で取り組んでいることが多く、施設類型別であったり、規模別であったり、財源や担当者（正規職員がパート等）も含めて、他園でどのような形で子育て支援が行われているかを、データや事例で知る機会はほとんどなかったのではないでしょうか。

通常の子育て支援ができにくいコロナ禍での調査とはなりましたが、コロナ禍だからこそ、保護者が家庭で育児する期間も長く、子育て支援の重要性が再認識されたともいえます。この調査から、改めて、自園の子育て支援のあり方について、見直してみてはいかがでしょうか？

内閣府子ども・子育て本部　参事官（認定こども園担当）付

認定こども園は、教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設であるとともに、地域における子育て支援を行うことが義務付けられている施設でもあります。

地域における子育て支援の重要性については、少子化の進行や地域のつながりの希薄化といった状況の中で一層高まっており、そのような中、広く地域に開かれた施設である認定こども園等における子育て支援について一層の強化を図る必要があることは、「少子化対策大綱（2020 年 5 月 29 日閣議決定）」においても指摘されているとおりです。

一方で、2020 年以降の新型コロナウイルス感染症の流行は、教育・保育活動にも多大な影響を及ぼし続けており、中でも、本来「地域に開かれた」活動である認定こども園による地域子育て支援は特に大きな影響を受けていると考えられます。

本調査の実施の時点においても、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は継続しており収束の目処は立っておらず、そのような時期に地域子育て支援事業の調査を行うことが適当かどうかについては様々なご意見がありうるものとは考えておりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響によって、社会的に孤立する家庭の増加や子どもの見守り機会の減少といったことが懸念されており、そのような課題に対応していくためには、認定こども園が地域子育て支援の機能を果たしていくことは一層重要であることから、様々な状況の下で工夫して取り組まれている園の活動を共有し、今後の認定こども園における子育て支援の活動の活性化に資するよう、本調査を実施することとしたところです。

新型コロナウイルス感染症への対応でご多忙を極めている中、本調査にご協力いただきました各園の関係のみなさまに心から感謝いたします。

本調査の結果及び事例集が、今後の全国の認定こども園における地域子育て支援の取組の参考となれば幸いです。引き続き、認定こども園行政へのご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

第1章　調査概要

1－1　調査目的

認定こども園は、就学前の子どもを、保護者の就労の有無を問わずに受け入れて教育・保育を一体的に行う機能を有するとともに、子育て相談や親子の集いの場の提供など地域における子育ての機能を有する施設であり、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」（平成 18 年法律第 77 号）において、認定こども園は子育て支援事業※を行うこととされている。

また、令和 2 年 5 月に閣議決定された少子化社会対策大綱において、認定こども園における子育て支援の一層の強化を図ることとされるなど、その取り組みの充実が求められている。

このため、認定こども園における子育て支援事業の取り組みについて、現状（例えば、活動内容、実施率、実施日数及び時間、活動対象（すべての乳幼児及びその保護者、在園児以外の乳幼児及びその保護者など）、受け入れ人数、活動担当者の状況（人数、属性など）、地域子育て支援事業等の活用、新型コロナウイルス感染症の影響、自治体や他の関係団体等との連携状況、などを想定。）及び実施上の課題を把握して今後の施策の参考にする。

※子育て支援事業

・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行規則（平成 26 年 7 月 2 日　内閣府・文部科学省・厚生労働省令第 2 号）（法第二条第十二項の主務省令で定める基準）

第二条　法第二条第十二項の主務省令で定める事業は、次に掲げる事業とする。

一　地域の子ども及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設する等により、当該子どもの養育に関する各般の問題につき、その保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う事業

二　地域の家庭において、当該家庭の子どもの養育に関する各般の問題につき、その保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う事業

三　保護者の疾病その他の理由により、家庭において保育されることが一時的に困難となった地域の子どもにつき、認定こども園又はその居宅において保護を行う事業

四　地域の子どもの養育に関する援助を受けることを希望する保護者と当該援助を行うことを希望する民間の団体又は個人との連絡及び調整を行う事業

五　地域の子どもの養育に関する援助を行う民間の団体又は個人に対する必要な情報の提供及び助言を行う事業

1－2　調査概要

1－2－1 有識者会議の設置

有識者等による委員会を開催し、調査の設計・分析に関するご意見を頂いた。委員は下記の通り（50 音順、◎は委員長）。

（1）有識者委員名簿

◎秋田　喜代美	学習院大学　文学部　教授
大方　美香	大阪総合保育大学　教授
田頭　初美	社会福祉法人　みつは会　理事長 学校法人　鳳明学園　理事長
山内　将	松戸市　子ども部　保育課　課長
渡邉　英則	学校法人渡辺学園　ゆうゆうのもり幼保園　園長 港北幼稚園　園長

（2）有識者会議概要

第一回　日時	令和 3 年 12 月 6 日（月）10 時～12 時
開催場所	オンライン（Zoom）
議題	（1）事業概要について （2）アンケートについて （3）ヒアリングについて

第二回　日時	令和 4 年 1 月 19 日（水）17 時～18 時 30 分
開催場所	オンライン（Zoom）
議題	（1）アンケート結果（速報値）について （2）ヒアリング対象について （3）事例のとりまとめ方について （4）今後のスケジュールについて

第三回　日時	令和 4 年 3 月 10 日（木）15 時 30 分～17 時
開催場所	オンライン（Zoom）
議題	（1）アンケート報告書について （2）事例集について （3）今後のスケジュールについて

1－2－2 アンケート調査概要

アンケート調査概要は、下記の通り。

（1）アンケート対象

全国すべての認定こども園 8,585 園（令和 3 年 4 月 1 日現在の数）

（2）アンケート方法

配布：都道府県・市区町村を通じて認定こども園へメールで案内を送付

回収：WEB アンケート画面からの回答

（3）実施期間

令和 3 年 12 月 10 日～令和 3 年 12 月 28 日

（4）有効回収数

3,254 件（回収率 37.9%）

1－2－3 ヒアリング調査概要

ヒアリング調査概要は、下記の通り。

（1）ヒアリング対象

以下の方法にてヒアリング対象を抽出

- 有識者委員会　委員からの推薦 5 園
- 上記アンケートの有効回収数 3,254 園のうち、ヒアリング調査の協力を了承した 872 園の中から、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行規則（平成 26 年 7 月 2 日 内閣府・文部科学省・厚生労働省令第 2 号）（法第二条第十二項の主務省令で定める基準）」（P6 掲載）の五事業の実施項目、ならびアンケートの回答内容を基に 10 園抽出。

≪15 園リスト　　※類型別／都道府県順≫

幼保連携型	認定こども園 みどりのかぜ北ウィング
	丸森ひまわりこども園
	認定こども園 栗橋さくら幼稚園
	新宿区立 四谷子ども園
	ゆうゆうのもり幼保園
	本宮のもり幼保園
	ヴォーリズ学園 もりの風こども園
	吹田市立 はぎのきこども園
	みやこばるこども縁（えん）
幼稚園型	認定こども園 正和幼稚園
	認定こども園 小松幼稚園
	認定こども園 中関幼稚園
保育所型	認定こども園 陽だまり保育園
	認定こども園 おひさま保育園
地方裁量型	認定こども園 ちびっこくらぶ

（2）ヒアリング方法

オンライン（Zoom）にて 1 時間ほど実施。各園のアンケート回答内容を基に、より具体的な取組内容・職員の体制・利用者の反応・これまでの工夫や課題感等を調査した。

（3）実施期間

令和 4 年 1 月 12 日～令和 4 年 3 月 31 日

※ヒアリングによる各園の子育て支援事業実施事例は、「認定こども園における子育て支援事業　事例集」を参照されたい。

1−3　アンケート結果のポイント

＜全体傾向＞

- 運営主体は、社会福祉法人(45.5%)、学校法人(32.9%)、市区町村(17.8%)。分類は幼保連携型が 71.8%。内閣府子ども・子育て本部による「認定こども園に関する現況（令和３年４月１日現在)」(【運営主体】社会福祉法人 48.1%、学校法人 33.9%、市区町村 15.4%／【分類】幼保連携型 70.9%)と同様の傾向。（P15～16）
- 職員数は、教育・保育従事者は、正規が「10～14 人」が約 3 割で「15～19 人」が約 2 割。非正規は「5～9 人」が 3 割強。子育て支援員等は 0 人の割合が高い。（P17～19）
- 子育て支援事業は、①地域の親子が交流する場の開設（85.2%)、③一時預かり事業（施設型）(67.9%)、②家庭への情報提供・相談事業(46.3%)と、保護者・家庭への支援が中心。子育て支援者に関わる支援である④⑤は、1～2 割程度。③一時預かり事業（訪問型）の実施は、1.8%。（P22）
- 子育て事業の実施日数は、特に①地域の親子が交流する場の開設において、コロナ禍の現在、通常期に比べて日数が減少傾向にある。（P26）
- 対象者は、①地域の親子が交流する場の開設、③一時預かり事業(施設型)は、在園児以外(「３歳児以上」よりも「０～２歳」を対象)の割合が高い。②家庭への情報提供・相談事業、④保護者と子育て支援者の連絡・調整、⑤保護者と子育て支援者に対する情報提供は、在園児・在園児以外のどちらも対象としている割合が高い。(P39～60)
- 子育て事業の担当は、いずれも教育・保育従事者を中心に平均 3～4 名程度となっている。実人数では、教育・保育従事者を中心に平均 8 名程度（うち平均 3.6 名が教育・保育従事者（正規))。（P61～64）
- 子育て事業の参加者は、①地域の親子が交流する場の開設において、令和元年度から令和２年度で人数が減少（P65)。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、子育て支援事業は「一部中止」「実施回数減少」「利用者人数制限」などを行っている。（P77）
- 子育て支援事業の広報は、チラシ等配布物（61.7%)、WEB サイト・SNS（59.2%）が中心。（P69）
- 子育て支援事業の取組の工夫として「自治体と連携した取り組み（31.7%)」「発達支援センターや特別支援に関する専門家等と連携（27.2%)」など。2 割は実施なし。（P73）
- 子育て支援事業の課題は、「子育て支援事業にあたる職員・人員が少ない」が 34.8%、「利用者が少ない」が 24.2%。（P78）
- 子育て支援事業の財源は、「延長保育事業（59.3%)」「一時預かり事業（57.3%)」「自主財源（34.2%)」（P82）
- 地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている園は 39.0%。（P88）
- 支援拠点になっていない理由は、「人員体制がととのっていない」が 37.8%、「自治体に採択されない」が 25.8%。また、半数は支援拠点と連携していない。（P91～92）

＜類型別等の特徴＞

- 幼稚園型、幼稚園より移行した認定こども園の子育て支援事業は、「地域の親子が交流する場の開設」の割合が他より高く、それ以外の取組の割合が低い。（P23～P24）
- 幼稚園型、幼稚園より移行した認定こども園の①地域の親子が交流する場の開設、②家庭への情報提供・相談事業の実施日数は、他に比べて少ない。③一時預かり事業（施設型）の実施日数は多い。（P27～32）
- 幼稚園型、幼稚園より移行した認定こども園の一時預かり（施設型）の主な対象者は、在園児、特に「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」を対象としている割合が高く、在園児以外を対象としている割合が低い。（P48～49）
- 幼稚園型、幼稚園より移行した認定こども園で「園の WEB サイト・SNS で告知」「園で発行するチラシ等配布物で告知」で広報をする割合が高い。（P70～71）
- 幼稚園型、幼稚園より移行した認定こども園で「自治体と連携した取り組みを実施している」割合が他より低く、「特に実施していない」割合が他より高い。（P74～75）
- 幼稚園より移行した認定こども園で「子育て支援事業にあたる職員・人員が少ない」が課題。（P80）
- 財源は、幼稚園、幼稚園より移行した認定こども園で「自主財源」の割合が他より高く、「延長保育事業」の割合が低い。（P83～84）
- 幼稚園型、幼稚園より移行した認定こども園で地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合が低い。（P88～89）
- 保育園型は、「利用者が少ない」ことが課題。（P79）

＜規模別の特徴＞

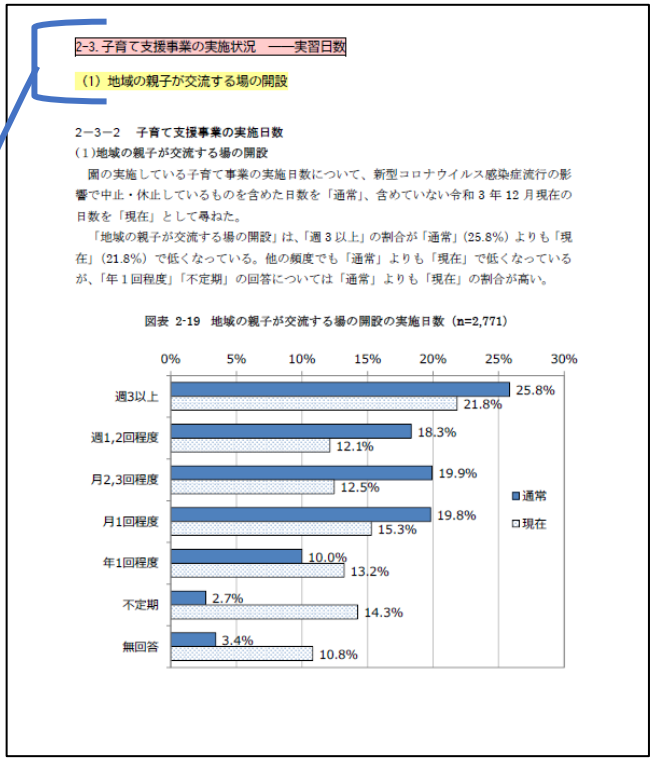
- 職員数が多い認定こども園の方が、取組の種類も多い。（P25）
- 職員数が多い認定こども園の方が、取組の実施日数も多い。（P28～37）
- 一時預かり（施設型）の主な対象は、職員人数 20 人未満の認定こども園で、「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」の割合が高い。（P50）
- 職員数が多い認定こども園の方が、「園の WEB サイト・SNS で告知」「園で発行するチラシ等配布物で告知」など様々な広報を行っている。（P72）
- 職員人数 20 人未満の認定こども園は、「自治体と連携した取組」を行う割合が高い一方で、「特に実施していない」割合も高い。（P76）
- 職員人数 20 人未満の認定こども園は、「利用者が少ない」が課題（P81）

1－4　報告書の見方

当アンケート報告書では、本文の上部に調査項目の見出しを掲載する。

なお、事業別の分析では、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行規則（平成 26 年 7 月 2 日 内閣府・文部科学省・厚生労働省令第 2 号）（法第二条第十二項の主務省令で定める基準）」（P6 掲載）で掲げる事業 5 種（その内、三（一時預かり事業）が「施設型」「訪問型」の 2 種に分かれるため、計 6 種）、ならび、6 種に含まれない「その他」を合わせ、合計 7 種類の事業種別を設定し、分析・記載する。

また、図表の数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計は必ずしも 100%とならない場合がある。



2-3. 子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（1）地域の親子が交流する場の開設

2－3－2　子育て支援事業の実施日数

（1）地域の親子が交流する場の開設

貴の実施している子育て事業の実施日数について、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものを含めた日数を「通常」、含めていない令和 3 年 12 月現在の日数を「現在」として尋ねた。

「地域の親子が交流する場の開設」は、「週 3 以上」の割合が「通常」（25.8%）よりも「現在」（21.8%）で低くなっている。他の頻度でも「通常」よりも「現在」で低くなっているが、「年 1 回程度」「不定期」の回答については「通常」よりも「現在」の割合が高い。

図表 2-19　地域の親子が交流する場の開設の実施日数（n=2,771）

各項目の見出し

※事業別分析の項目では、以下の事業種別ごとに記載。

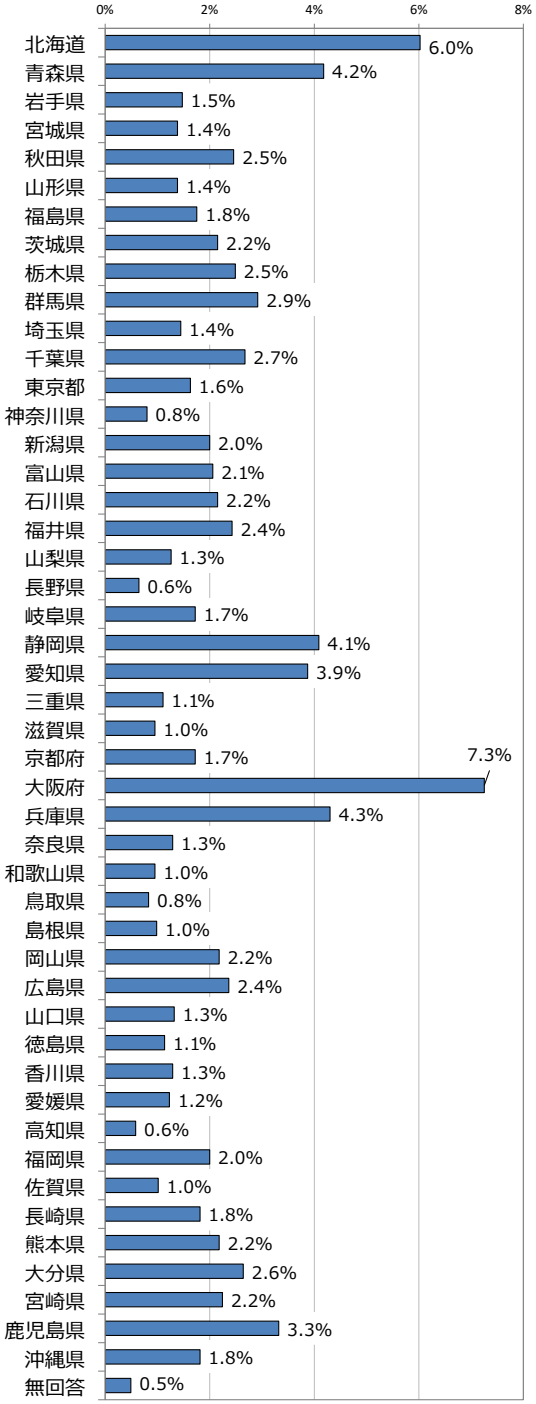
（1）地域の親子が交流する場の開設
（2）家庭への情報提供・相談
（3）一時預かり（施設型）
（4）一時預かり（訪問型）
（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整
（6）子育て支援者に対する情報提供・相談
（7）その他

第2章　アンケート結果

2－1　属性

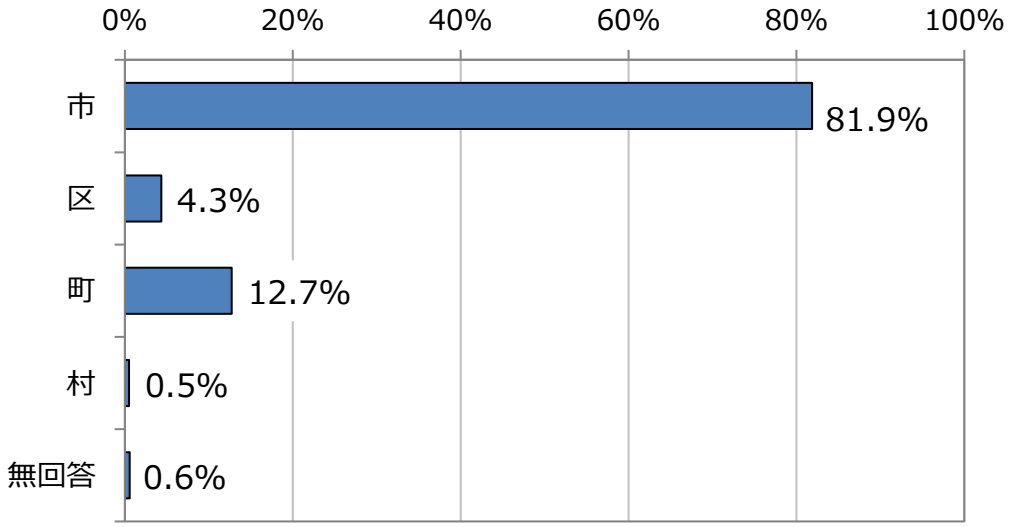
（1）都道府県

図表 2-1　都道府県（n=3,254）



（2）市区町村

図表 2-2　市区町村（n=3,254）

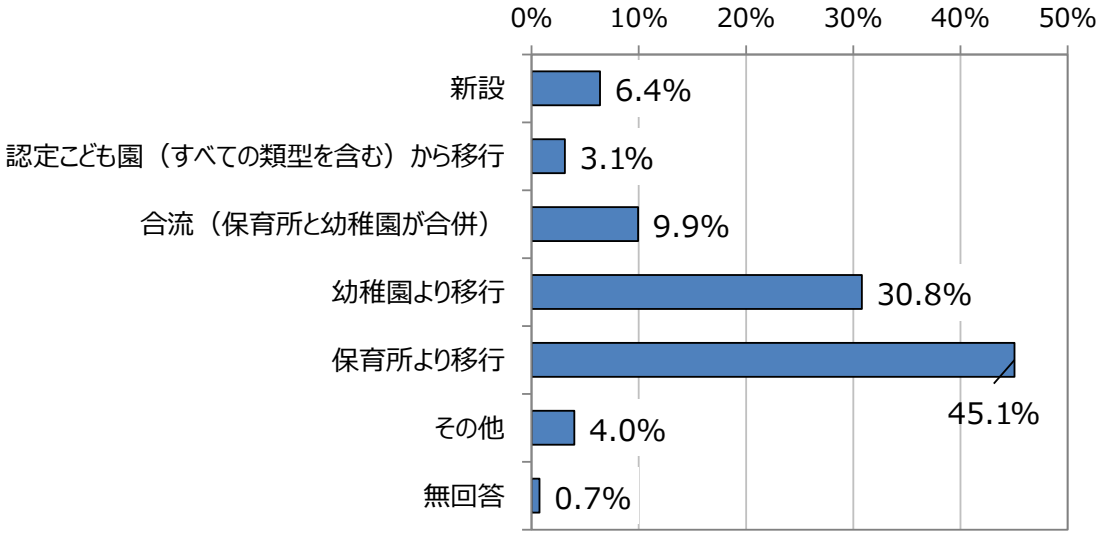


2－2　園の概要

2－2－1　園での認定こども園開設の経緯

認定こども園開設の経緯については、「保育所より移行」（45.1%）、「幼稚園から移行」（30.8%）の割合が高い。

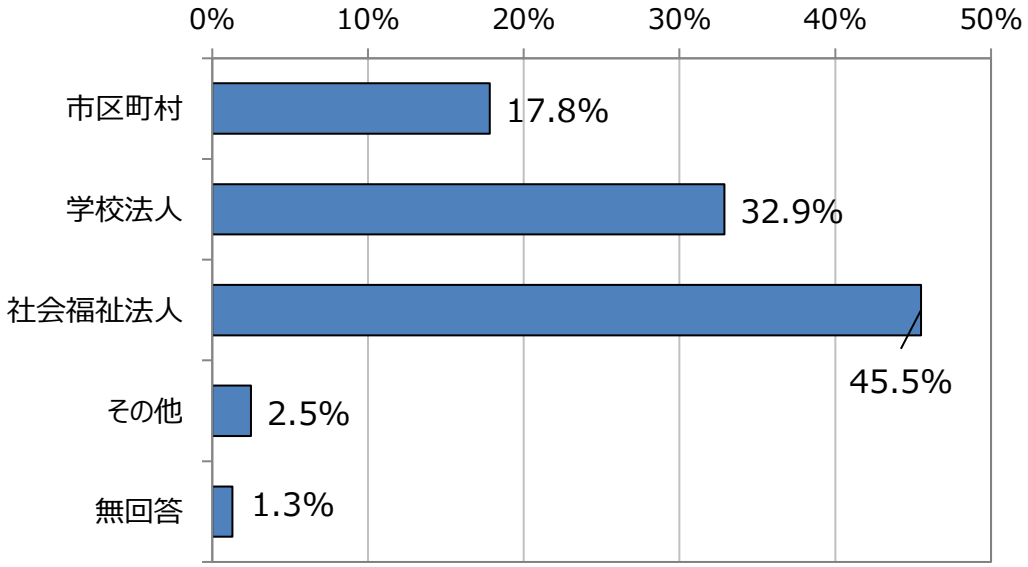
図表 2-3　園での認定こども園開設の経緯（n=3,254）



2－2－2　園の運営主体

園の運営主体は、「社会福祉法人」が 45.5%、「学校法人」が 32.9%、「市区町村」が 17.8%である。

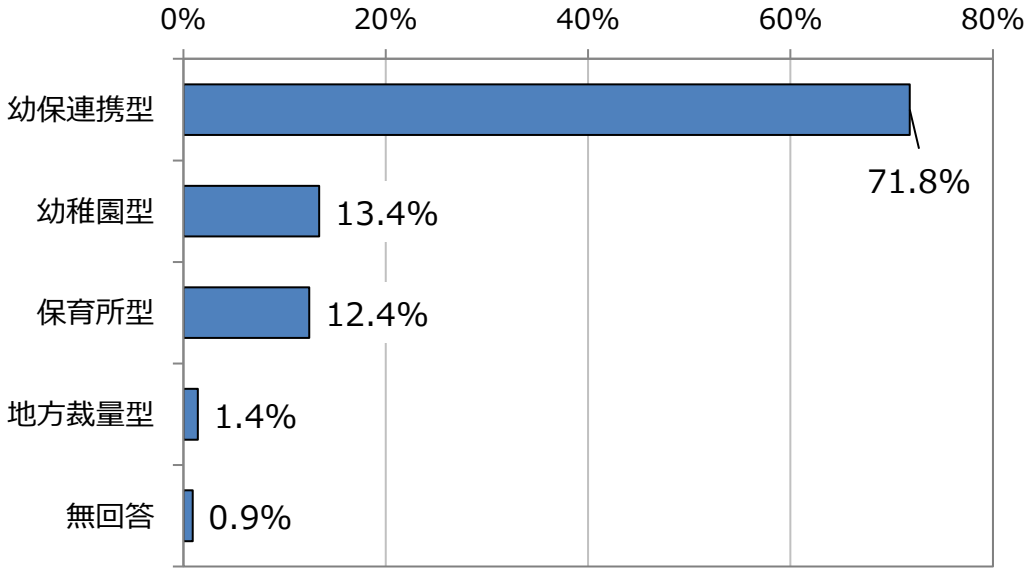
図表 2-4　園の運営主体（n=3,254）



2－2－3　園の分類

園の分類は、「幼保連携型」が 71.8%を占める。「幼稚園型」が 13.4%、「保育所型」が 12.4%である。

図表 2-5　園の分類（n=3,254）

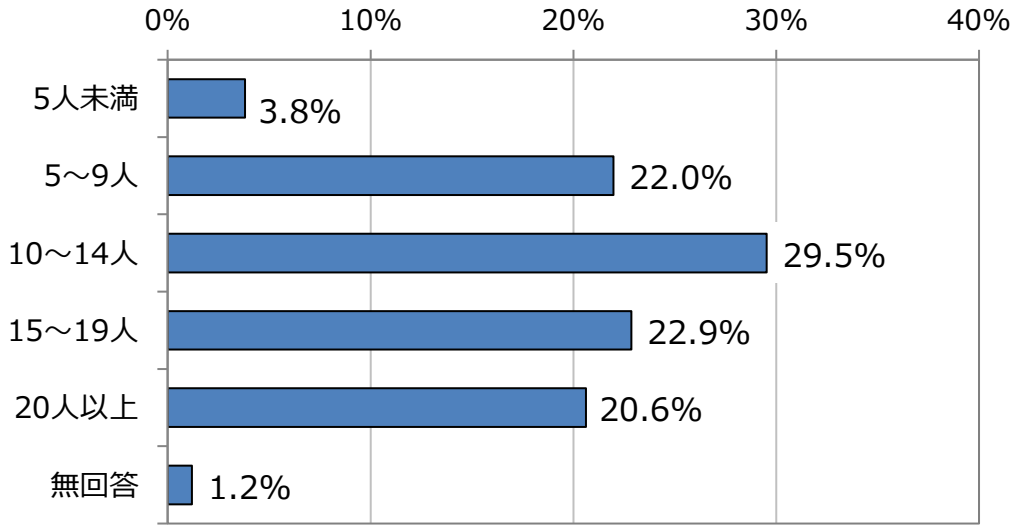


2－2－4 職員数

（1）教育・保育従事者（正規）

正規の「教育・保育従事者」の職員数については、「10～14 人」が約 3 割で最も高く、次いで「5～9 人」「15～19 人」「20 人以上」が約 2 割の割合で高い。

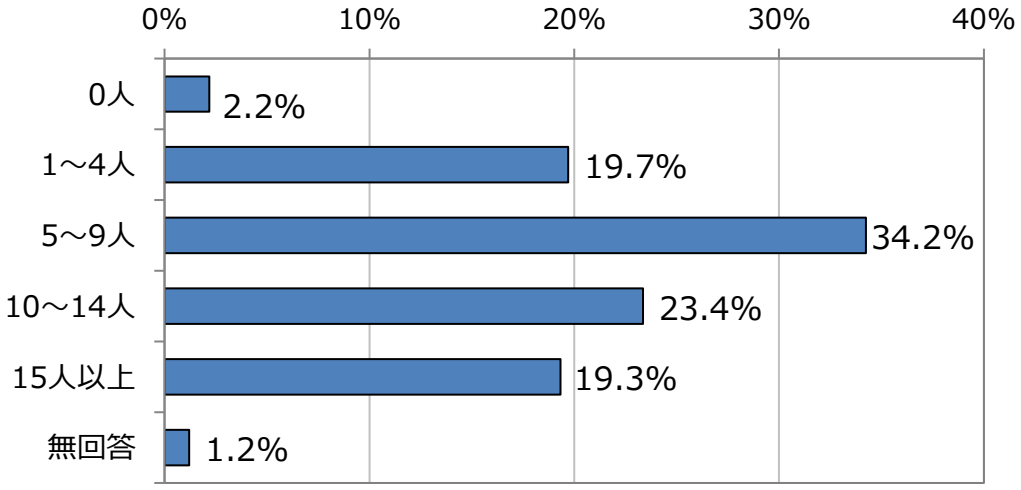
図表 2-6　教育・保育従事者（正規）（n=3,254）



（2）教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））

非正規の「教育・保育従事者」の職員数については、「5～9 人」が 3 割を超えて最も割合が高い。

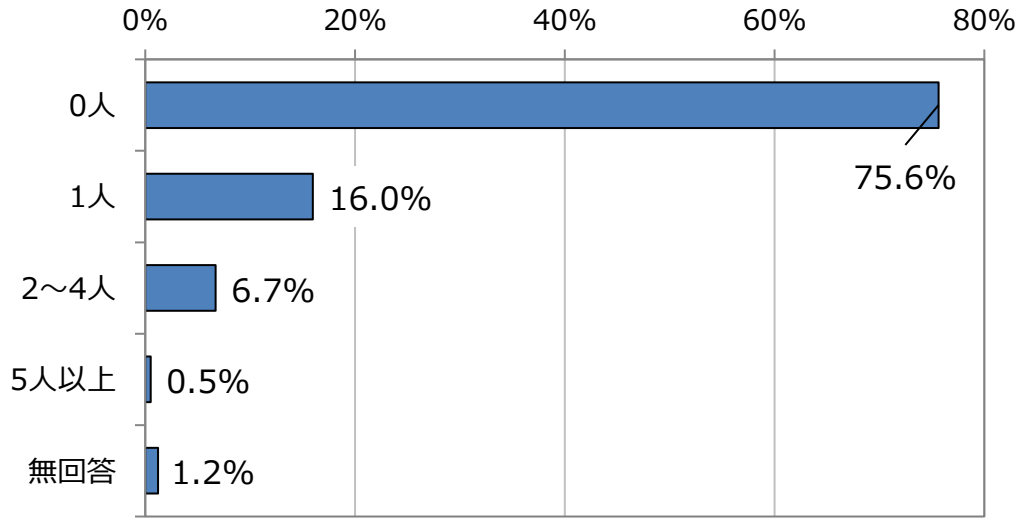
図表 2-7　教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（数値）（n=3,254）



（3）子育て支援員等（正規）

正規の「子育て支援員等」の職員数については、「0 人」が 7 割を超えて高い。

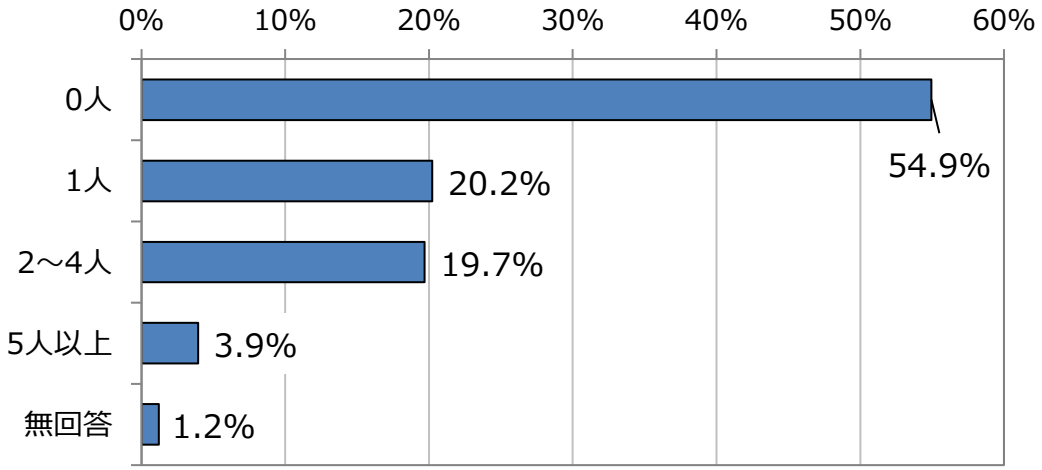
図表 2-8　子育て支援員等（正規）（n=3,254）



（4）子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム））

非正規の「子育て支援員等」の職員数は、「0 人」が 5 割を超えて高い。次いで「1 人」「2～4 人」がそれぞれ 2 割程度と割合が高い。

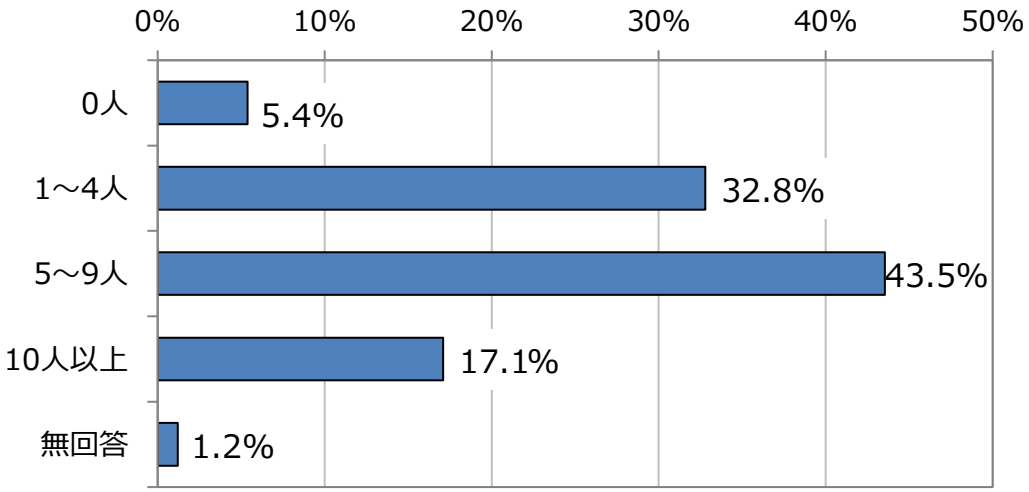
図表 2-9　子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム））（n=3,254）



（5）それ以外の職員

それ以外の職員の職員数は、「5～9 人」が 43.5%と最も割合が高く、次いで「1～4 人」が 32.8%と割合が高い。

図表 2-10　それ以外の職員（n=3,254）

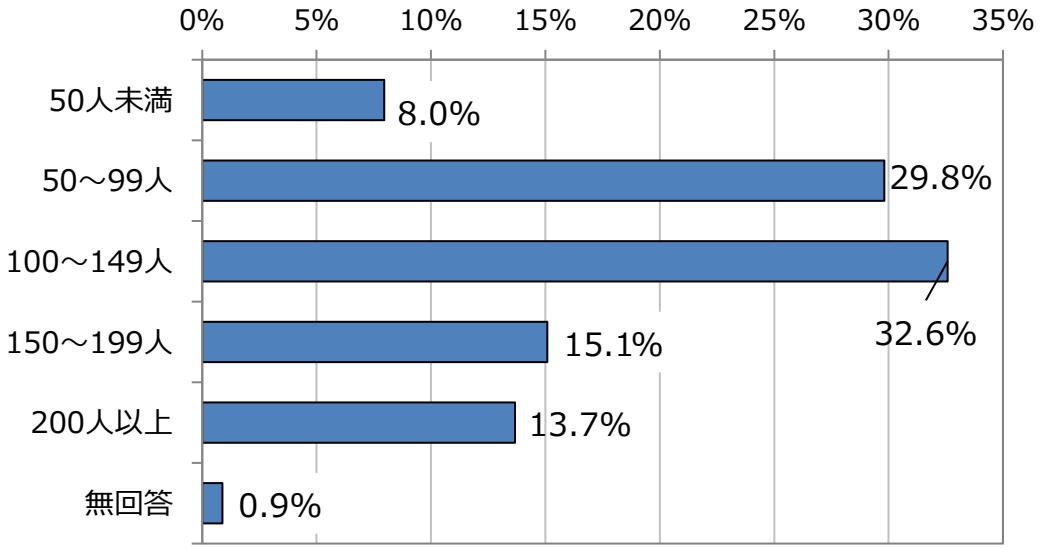


2－2－5　在籍園児数

（1）在籍園児数

在籍園児数は、「100～149 人」（32.6%）、「50～99 人」（29.8%）の割合が高い。

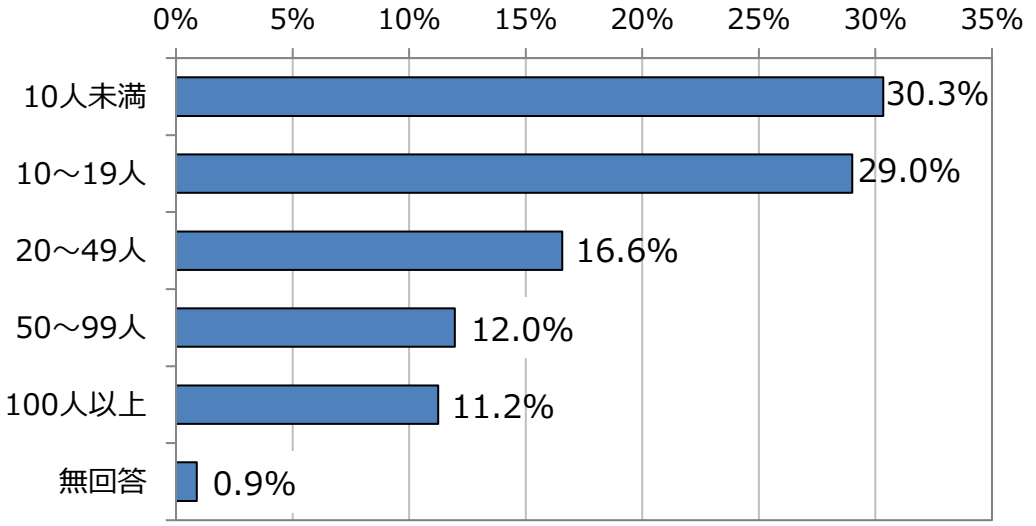
図表 2-11　在籍園児数（n=3,254）



（2）在籍園児数　1 号認定

1 号認定の在籍園児数は、「10 人未満」（30.3%）、「10～19 人」（29.0%）の割合が高い。

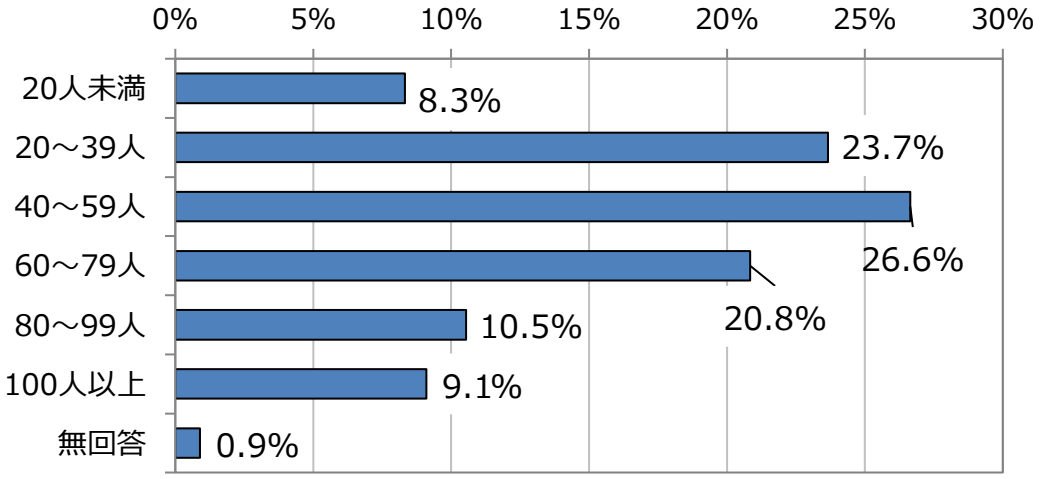
図表 2-12　在籍園児数　1 号認定（n=3,254）



（3）在籍園児数　2 号認定

2 号認定の在籍園児数は、「40～59 人」（26.6%）、「20～39 人」（23.7%）、「60～79 人」（20.8%）の割合が高い。

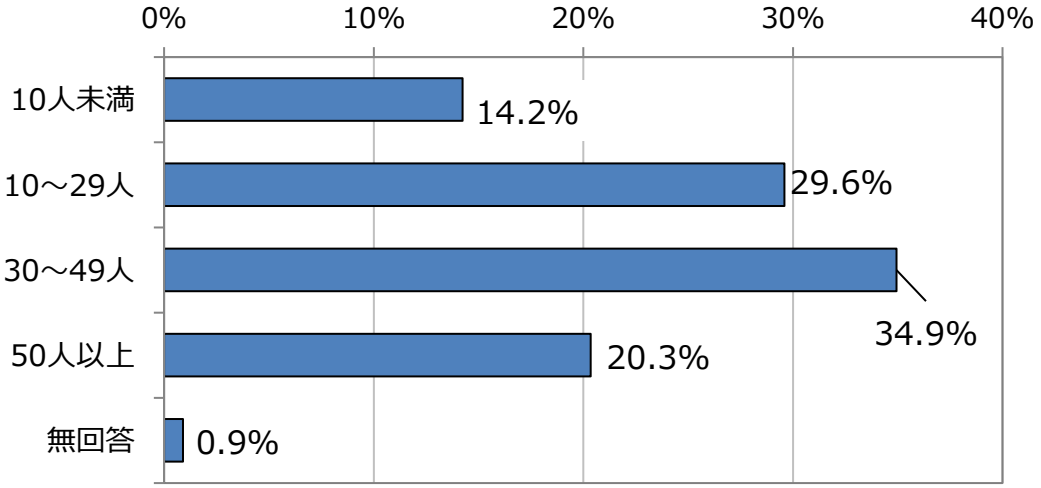
図表 2-13　在籍園児数　2 号認定（n=3,254）



（4）在籍園児数　3 号認定

3 号認定の在籍園児数は、「30～49 人」（34.9%）、「10～29 人」（29.6%）の割合が高い。

図表 2-14　在籍園児数　3 号認定（n=3,254）

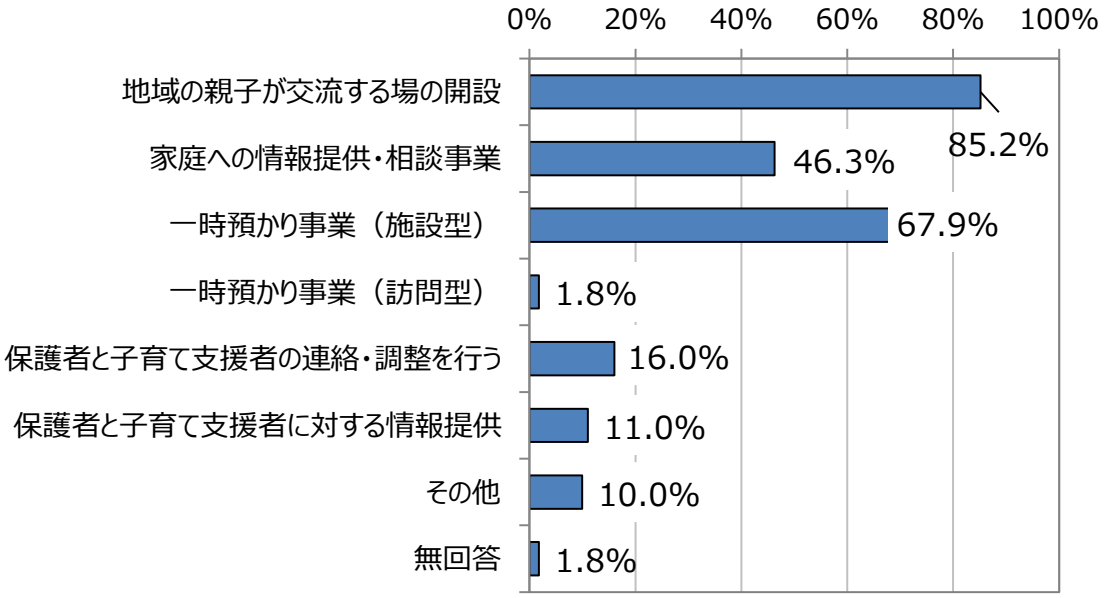


2－3　子育て支援事業の実施状況

2－3－1　園の子育て支援事業の実施項目

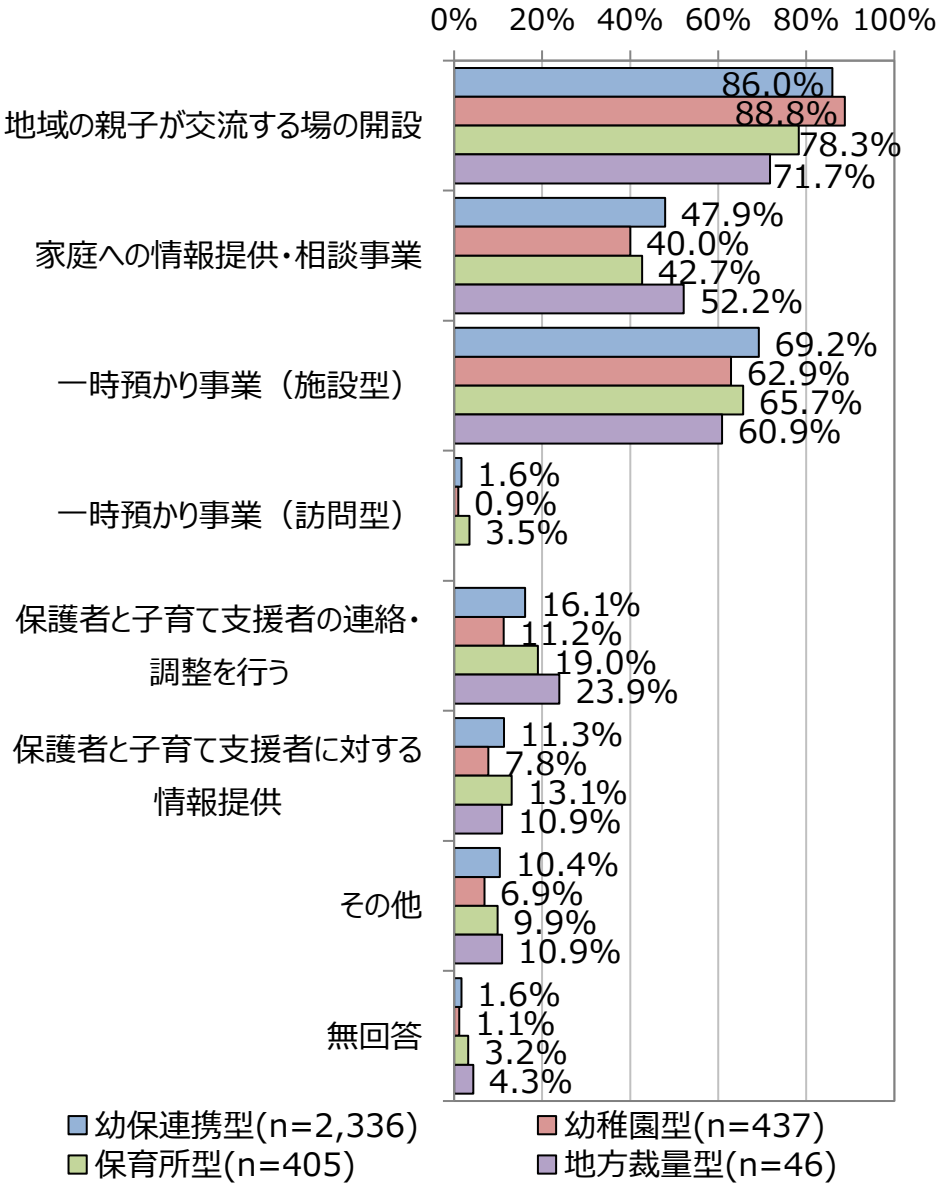
（新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものを含め）認定こども園の子育て支援事業の実施項目についてみると、「地域の親子が交流する場の開設」（85.2%）が最も割合が高く、次いで「一時預かり事業（施設型）」（67.9%）、「家庭への情報提供・相談事業」（46.3%）の割合が高い。

図表 2-15　園の子育て支援事業　実施項目（複数回答）（n=3,254）



類型別にみると、幼稚園型では、「地域の親子が交流する場の開設」の割合が他より高く、それ以外の取組の割合が他より低い。[1]

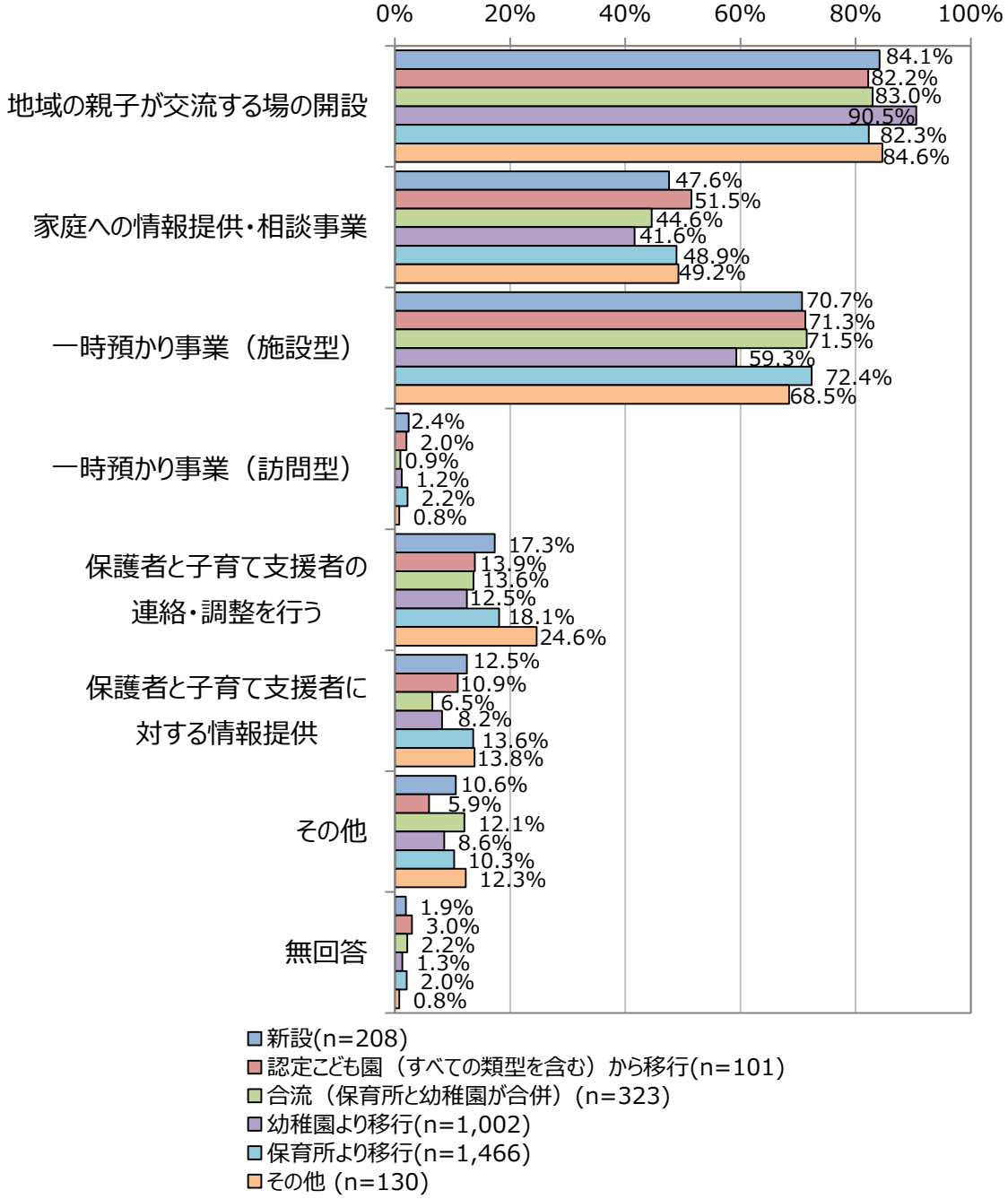
図表 2-16　類型別　園の子育て支援事業　実施項目（複数回答）



[1] 地方裁量型は、46 件（全体の 1.4%）とサンプル数が少なく、傾向を見る際には、留意を要する。以下同様

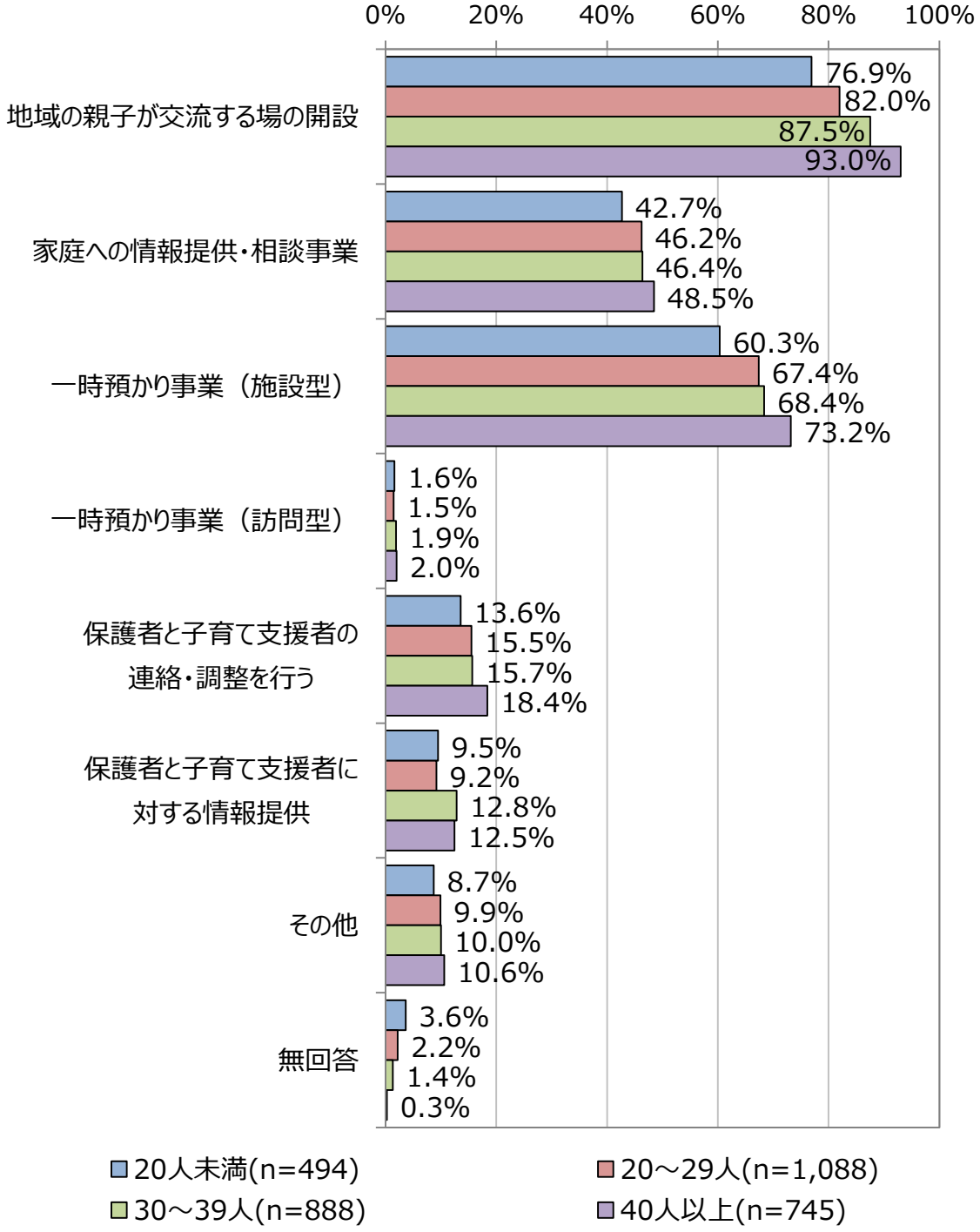
設立の経緯別にみると、幼稚園より移行した認定こども園では、「地域の親子が交流する場の開設」の割合が他より高く、それ以外の取組の割合が他より低い。

図表 2-17　設立の経緯別　園の子育て支援事業　実施項目（複数回答）



職員数別にみると、職員数が多いほど、取組を実施している割合が高くなる。

図表 2-18　職員数別　園の子育て支援事業　実施項目（複数回答）



2-3　子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（1）地域の親子が交流する場の開設

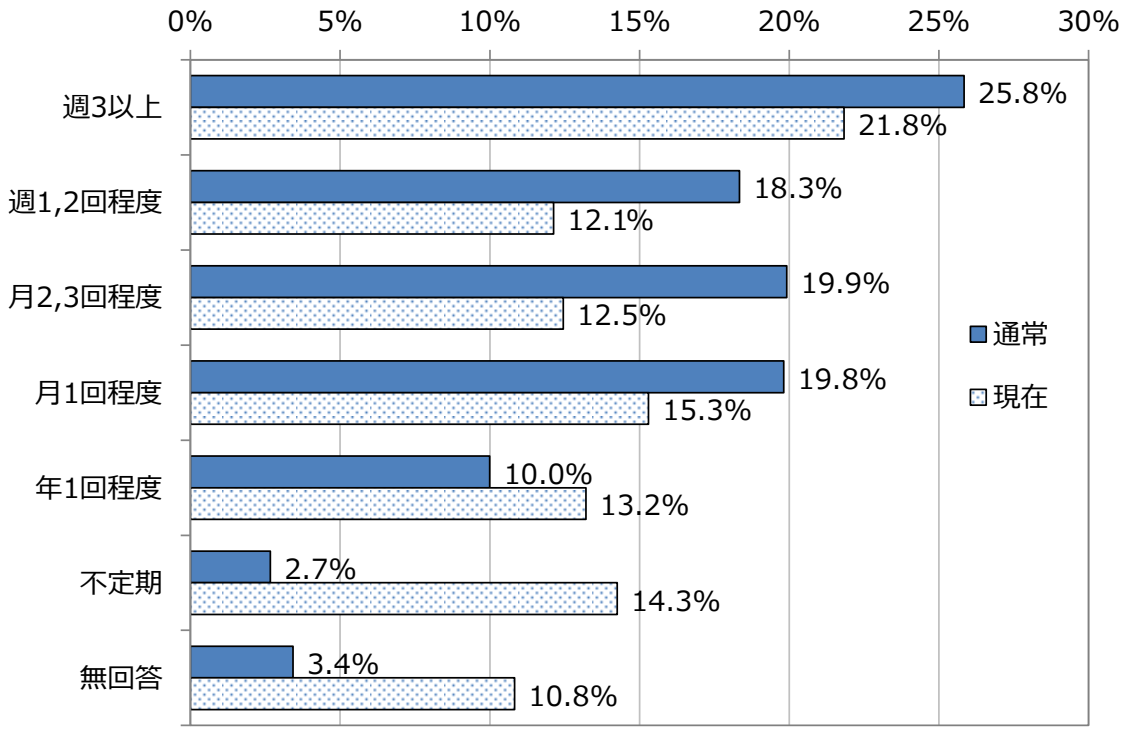
2－3－2　子育て支援事業の実施日数

（1）地域の親子が交流する場の開設

園の実施している子育て事業の実施日数について、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものを含めた日数を「通常」、含めていない令和 3 年 12 月現在の日数を「現在」として尋ねた。

「地域の親子が交流する場の開設」は、「週 3 以上」の割合が「通常」（25.8%）よりも「現在」（21.8%）で低くなっている。他の頻度でも「通常」よりも「現在」で低くなっているが、「年 1 回程度」「不定期」の回答については「通常」よりも「現在」の割合が高い。

図表 2-19　地域の親子が交流する場の開設の実施日数（n=2,771）

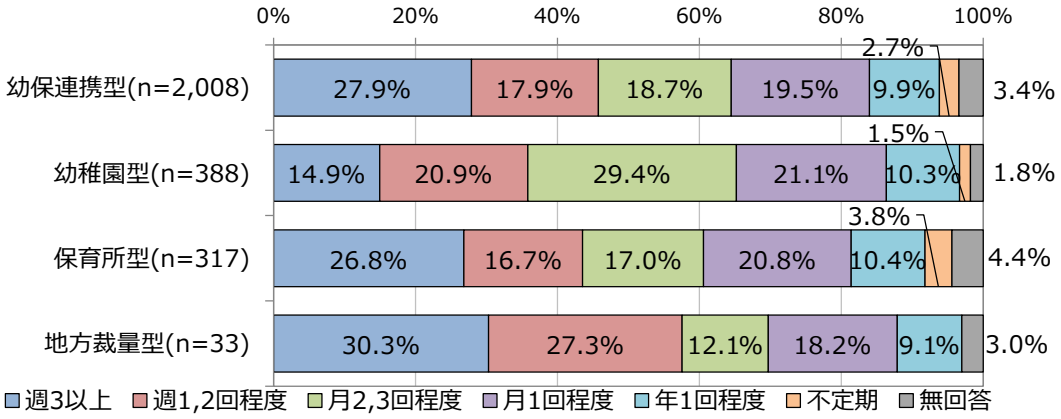


2-3　子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（1）地域の親子が交流する場の開設

類型別に、地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）をみると、幼稚園型で「週3以上」の割合が、他より低い。

図表 2-20　類型別　地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）

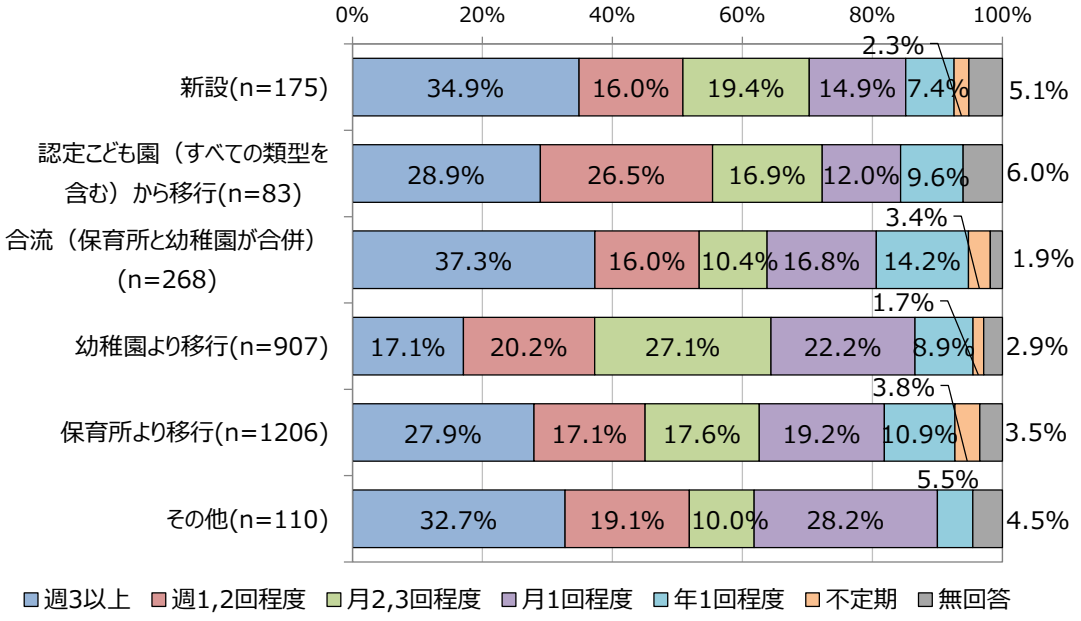


2-3　子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（1）地域の親子が交流する場の開設

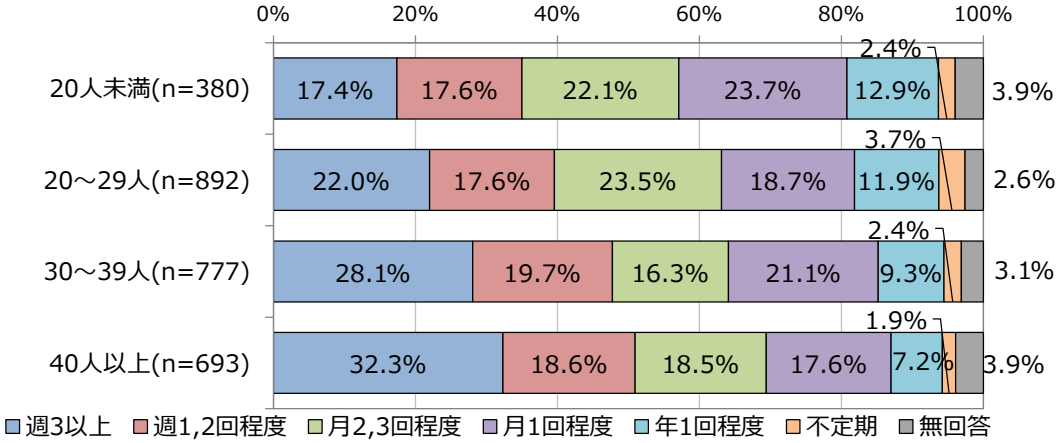
開設の経緯別に、地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）をみると、幼稚園より移行した認定こども園で「週３以上」の割合が、他より低い。

図表 2-21　開設の経緯別　地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）



職員人数別に、地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）をみると、職員人数が多い認定こども園ほど、実施日数が多い割合が高い。

図表 2-22　職員人数別　地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）

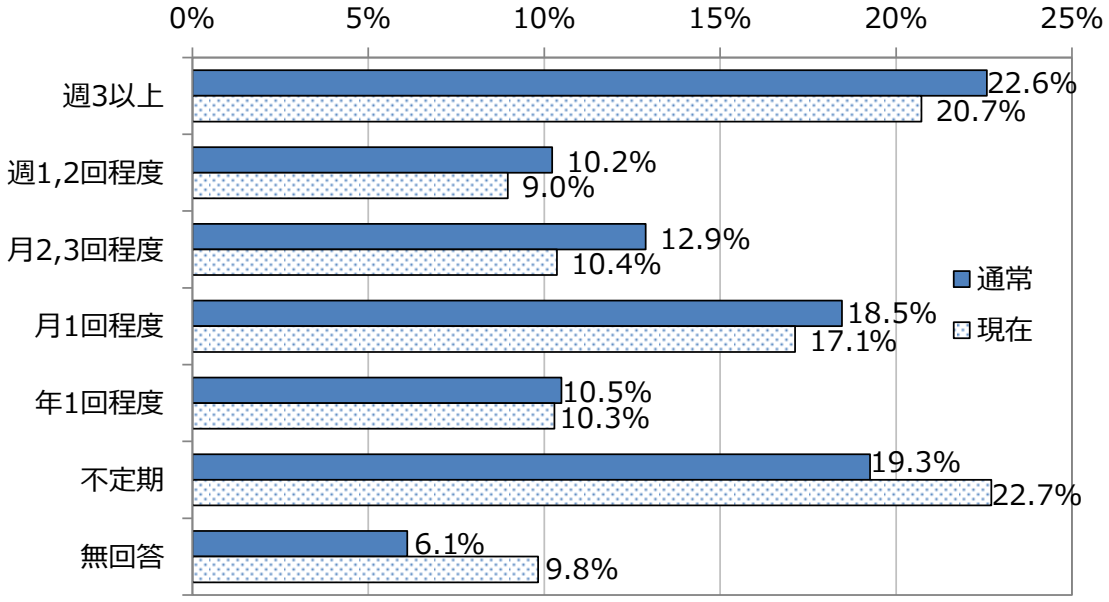


（2）家庭への情報提供・相談事業

（2）家庭への情報提供・相談事業

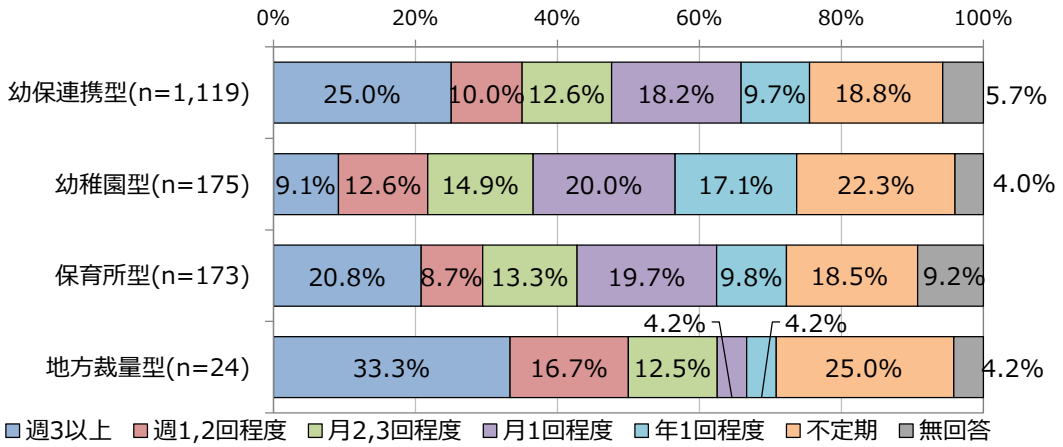
家庭への情報提供・相談事業の実施日数は、「週 3 以上」「不定期」の割合が高い。通常に比べて現在では、「週 3 以上」の割合が低下し、「不定期」の割合が高くなっている。

図表 2-23　家庭への情報提供・相談事業の実施日数（n=1,506）



類型別では、幼稚園型において「週 3 以上」の割合が他より低い。

図表 2-24　類型別　家庭への情報提供・相談事業の実施日数（通常）

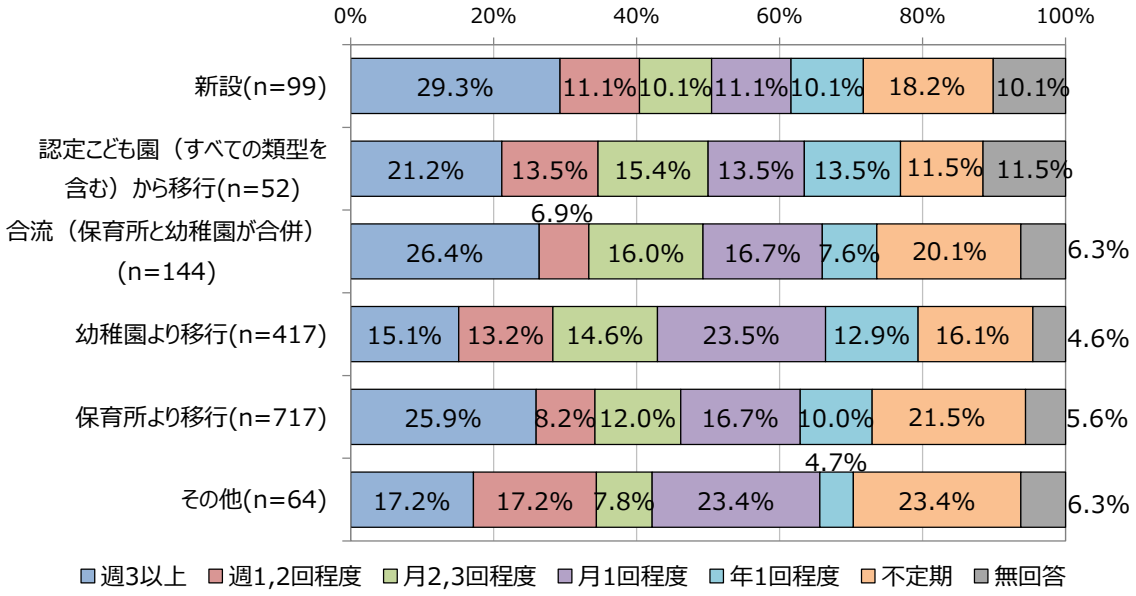


2-3　子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（2）家庭への情報提供・相談事業

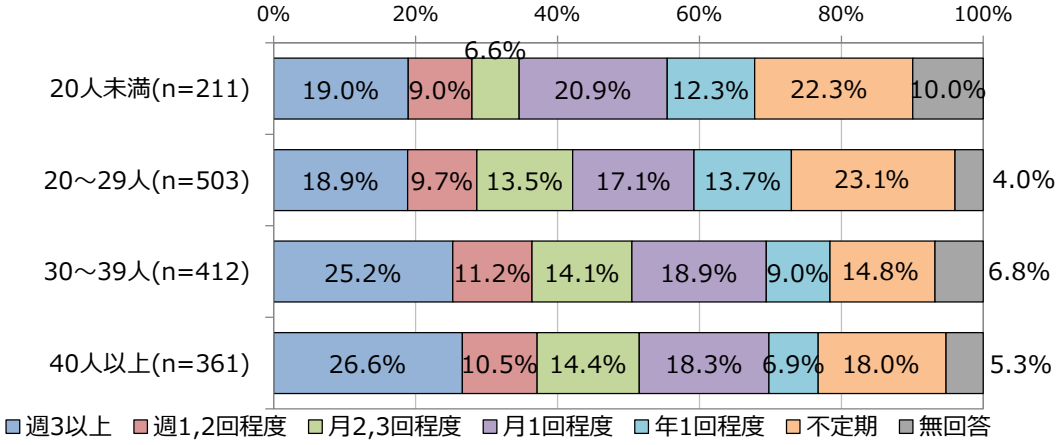
設立の経緯別では、幼稚園より移行した認定こども園で「週 3 以上」の割合が、他より低い。

図表 2-25　設立の経緯別　家庭への情報提供・相談事業の実施日数（通常）



職員人数別に、地域の親子が交流する場の開設の実施日数（通常）をみると、職員人数が 30 人以上の認定こども園では、「週 3 以上」の割合が他より高い。

図表 2-26　職員人数別　家庭への情報提供・相談事業の実施日数（通常）

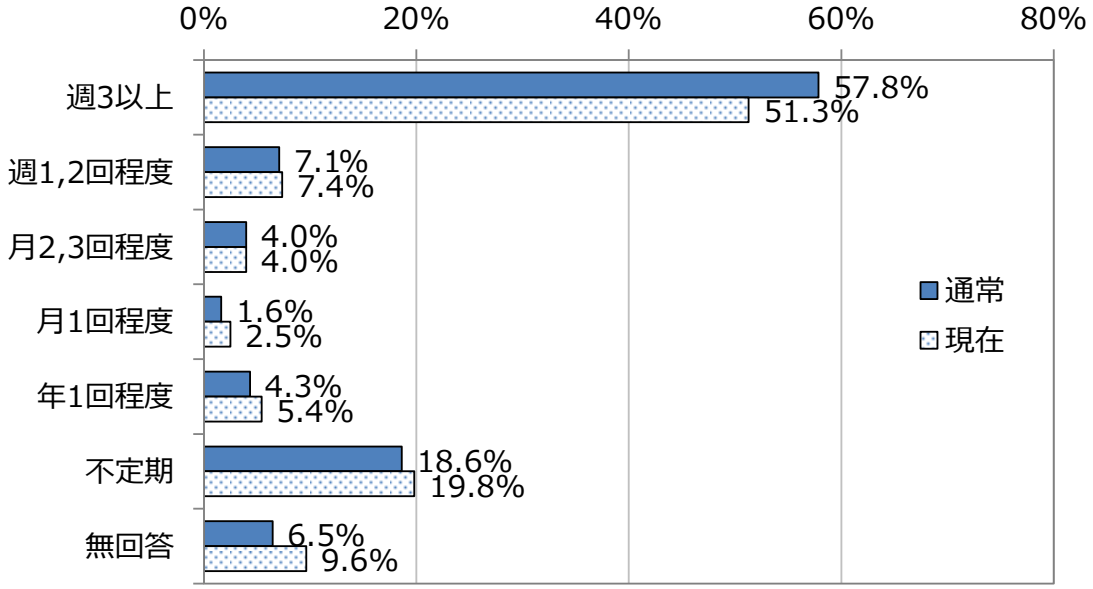


（3）一時預かり事業（施設型）

（３）一時預かり事業（施設型）

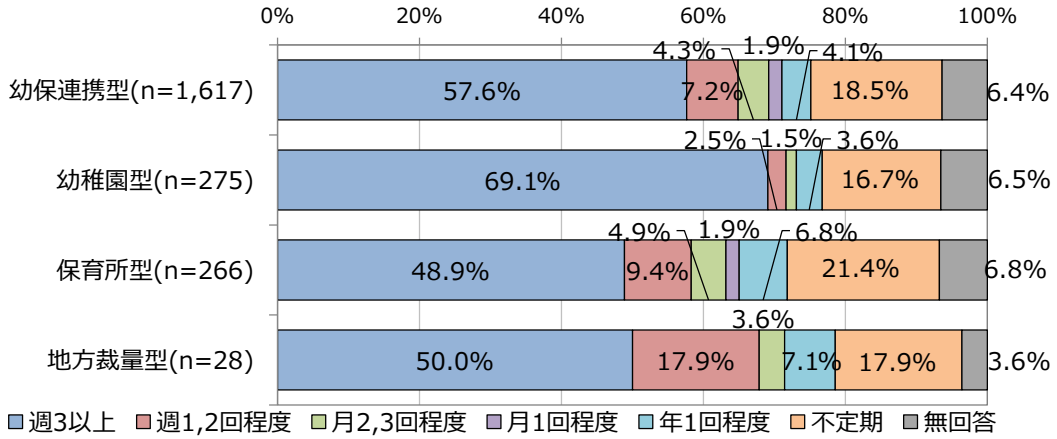
「一時預かり事業（施設型）」は、「週３以上」の割合が最も高いが、「通常」（57.8%）よりも「現在」（51.3%）で割合が低下している。

図表 2-27　一時預かり事業（施設型）の実施日数（n=2,211）



類型別に、一時預かり事業（施設型）の実施日数（通常）をみると、幼稚園型で「週３以上」の割合が、他より高い。

図表 2-28　類型別　一時預かり事業（施設型）の実施日数（通常）

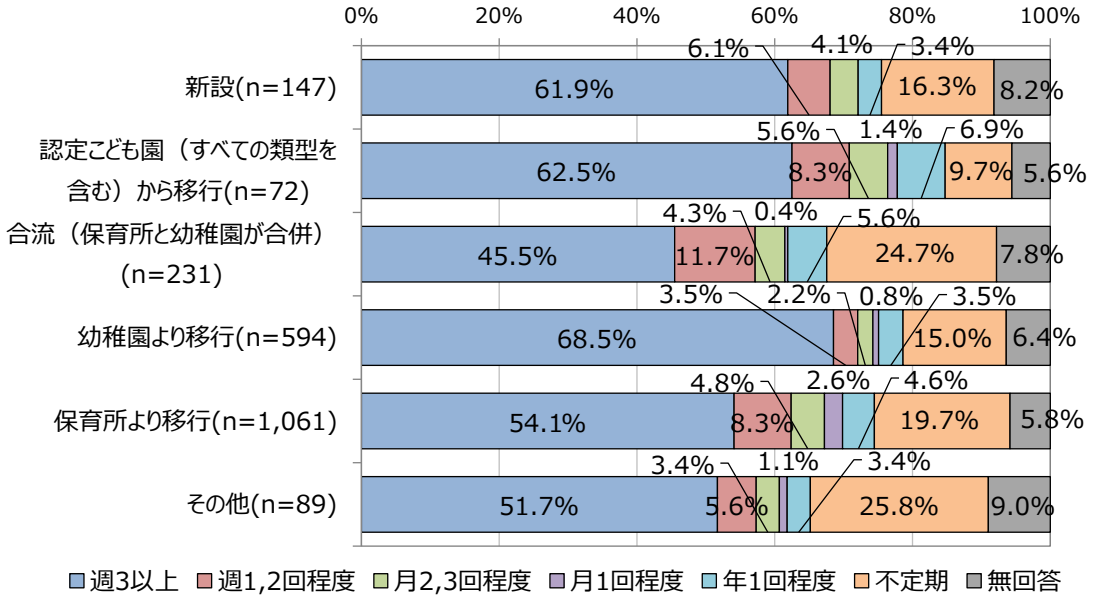


2-3　子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（3）一時預かり事業（施設型）

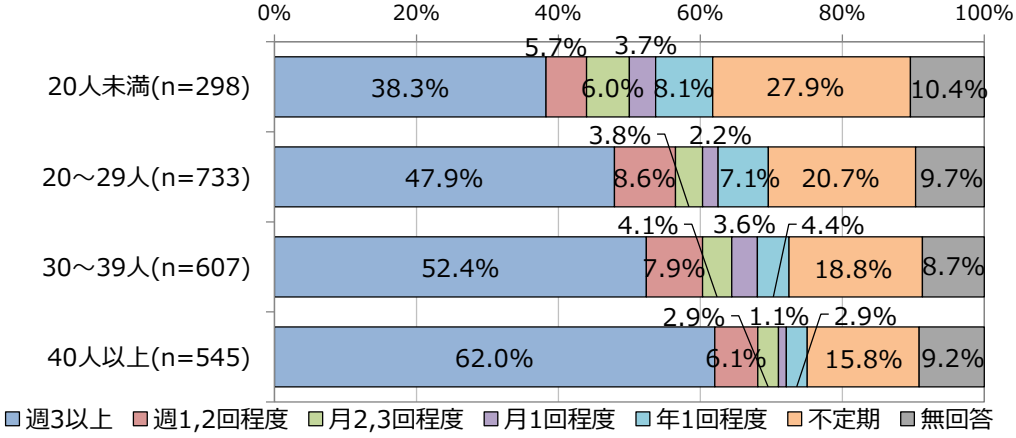
開設の経緯別に、一時預かり事業（施設型）の実施日数（通常）をみると、幼稚園より移行した認定こども園で「週３以上」の割合が他より高く、合流（保育所と幼稚園が合併）において「週３以上」の割合が他より低い。

図表 2-29　開設の経緯別　一時預かり事業（施設型）の実施日数（通常）



職員人数別に、一時預かり事業（施設型）の実施日数（通常）をみると、職員人数が多い認定こども園ほど、「週３以上」の割合が高い。

図表 2-30　職員人数別　一時預かり事業（施設型）の実施日数（通常）

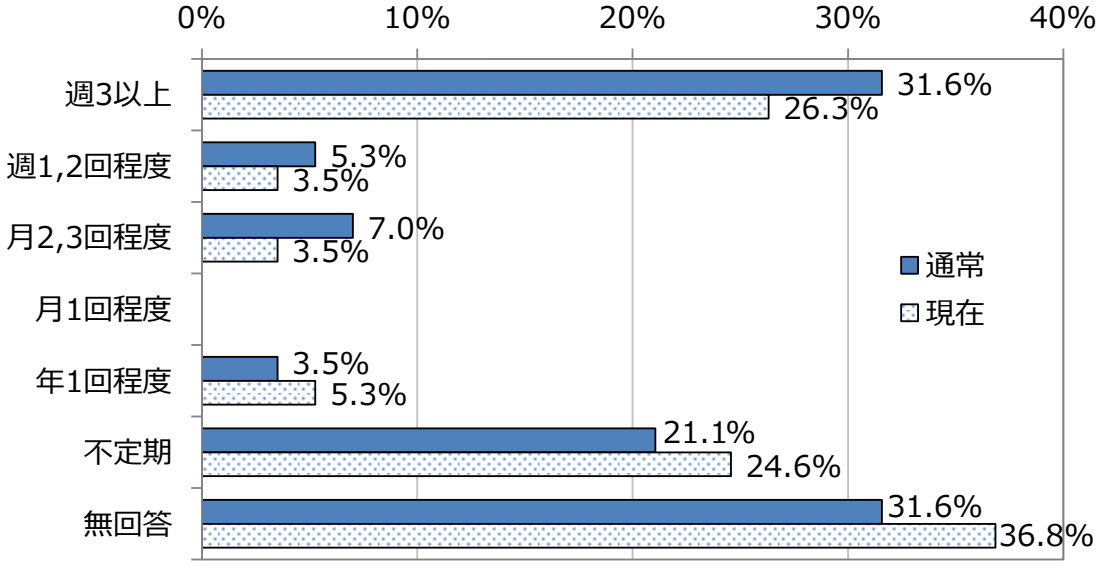


（4）一時預かり事業（訪問型）

（4）一時預かり事業（訪問型）

「一時預かり事業（訪問型）」は、「週 3 以上」「不定期」の割合が高い。

図表 2-31　一時預かり事業（訪問型）の実施日数（n=57）

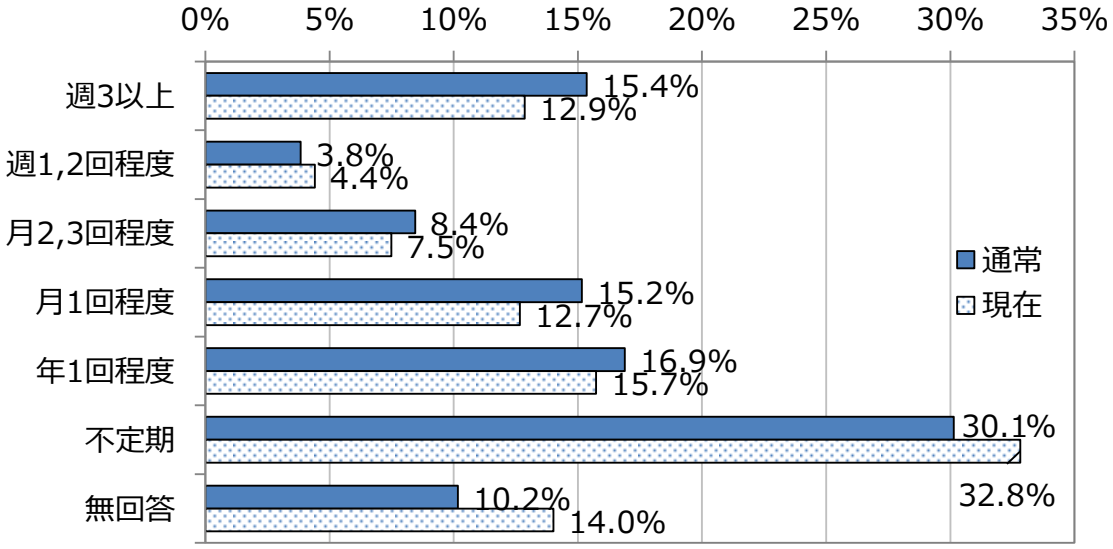


（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

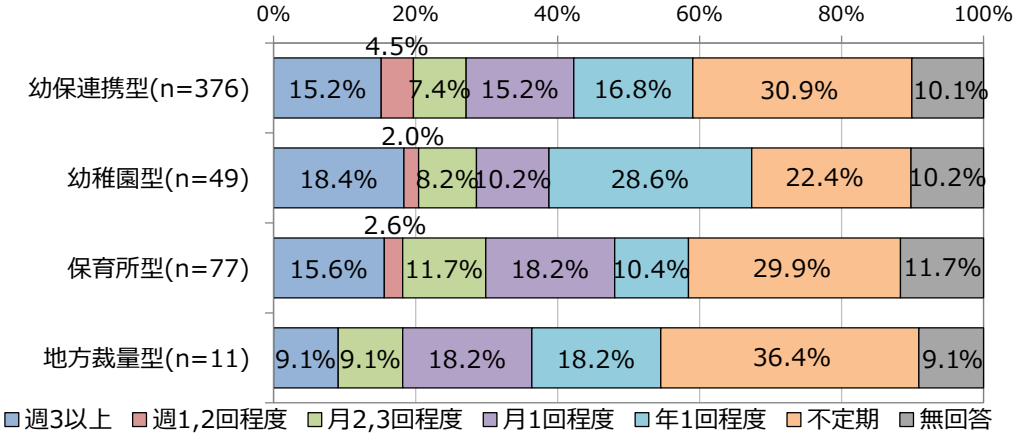
「保護者と子育て支援者の連絡・調整」は、「不定期」の割合が高く、「通常」より「現在」でその割合が高まっている。

図表 2-32　保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（n=521）



類型別に、保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（通常）をみると、幼稚園型で「年１回程度」の割合が、他より高い。

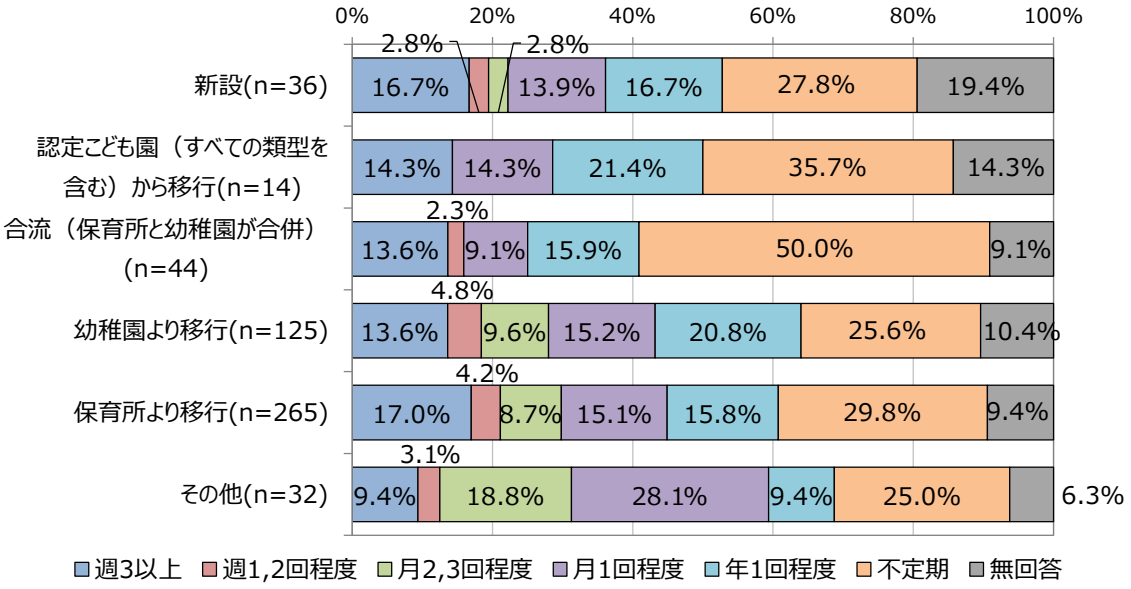
図表 2-33　類型別　保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（通常）



（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

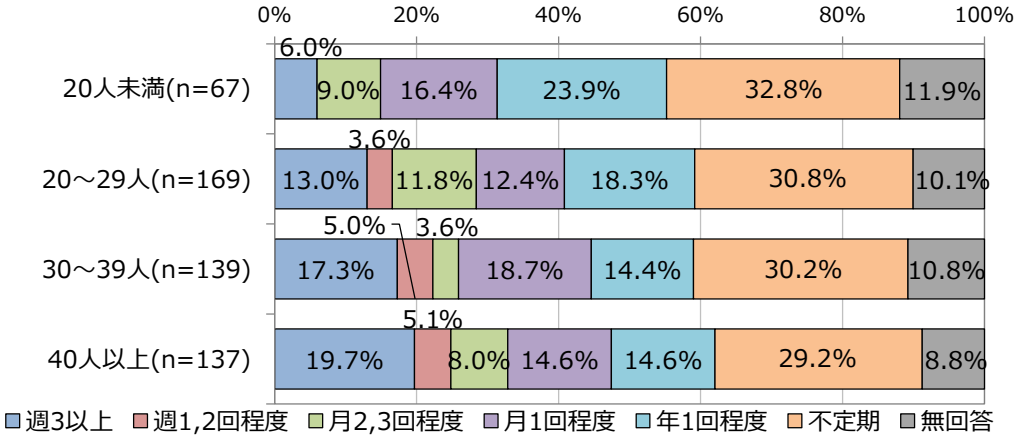
開設の経緯別に、保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（通常）をみると、合流（保育所と幼稚園が合併）において「不定期」の割合が他より高い。

図表 2-34　開設の経緯別　保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（通常）



職員人数別に、保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（通常）をみると、職員人数が多い認定こども園ほど、「週 3 以上」の割合が高い。

図表 2-35　職員人数別　保護者と子育て支援者の連絡・調整の実施日数（通常）

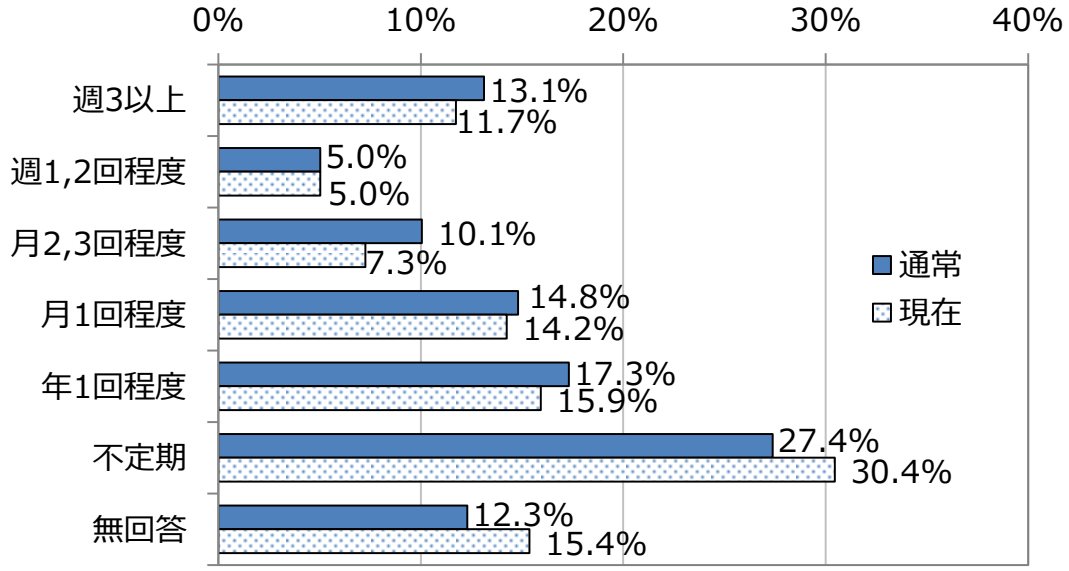


（6）保護者と子育て支援者に対する情報提供

（6）保護者と子育て支援者に対する情報提供

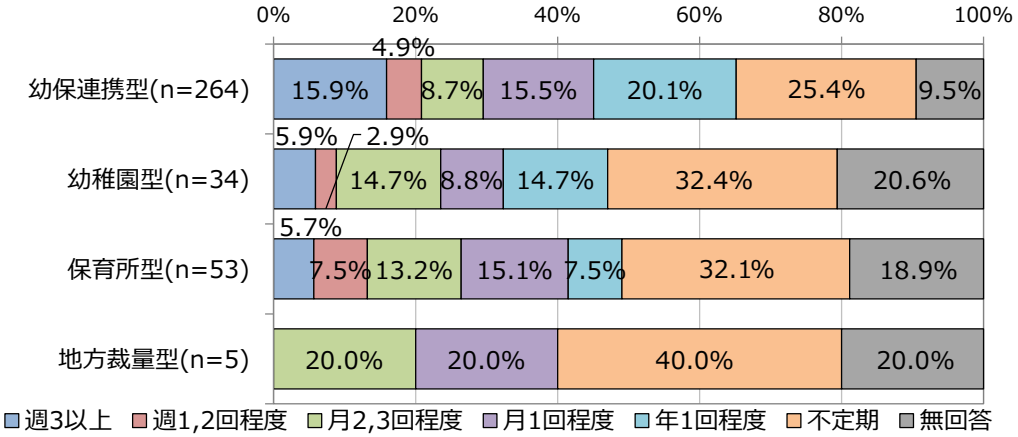
「保護者と子育て支援者に対する情報提供」は、「不定期」の割合が高い。

図表 2-36　保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（n=358）



類型別に、保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（通常）をみると、幼保連携型で「週 3 以上」「年 1 回以上」の割合が、他より高い。

図表 2-37　類型別　保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（通常）

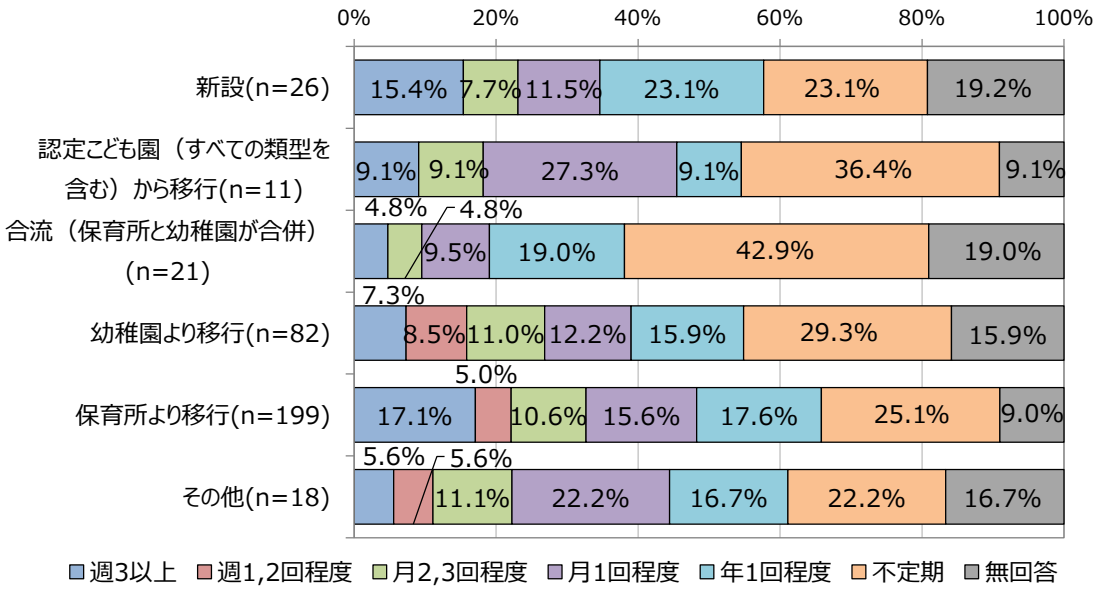


2-3　子育て支援事業の実施状況　――実習日数

（6）保護者と子育て支援者に対する情報提供

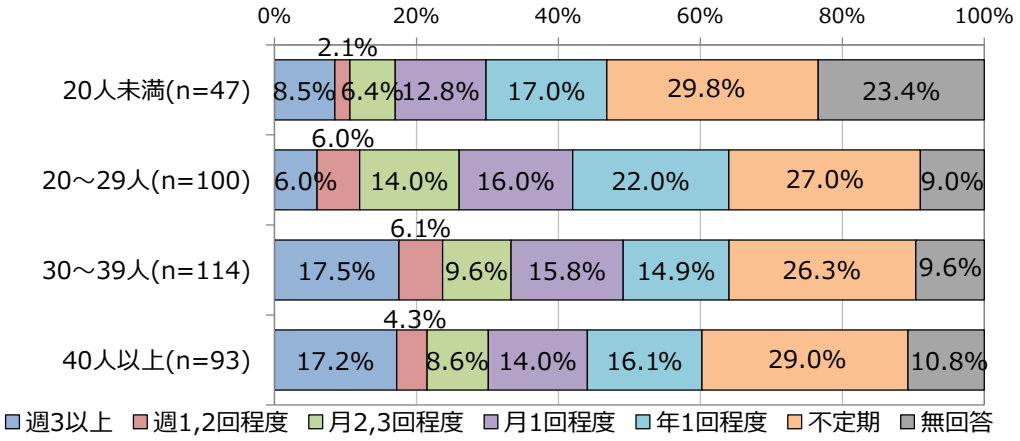
開設の経緯別に、保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（通常）をみると、合流（保育所と幼稚園が合併）において「不定期」の割合が他より高い。

図表 2-38　開設の経緯別　保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（通常）



職員人数別に、保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（通常）をみると、職員人数が 30 人以上の認定こども園ほど、「週 3 以上」の割合がやや高い。

図表 2-39　職員人数別　保護者と子育て支援者に対する情報提供の実施日数（通常）

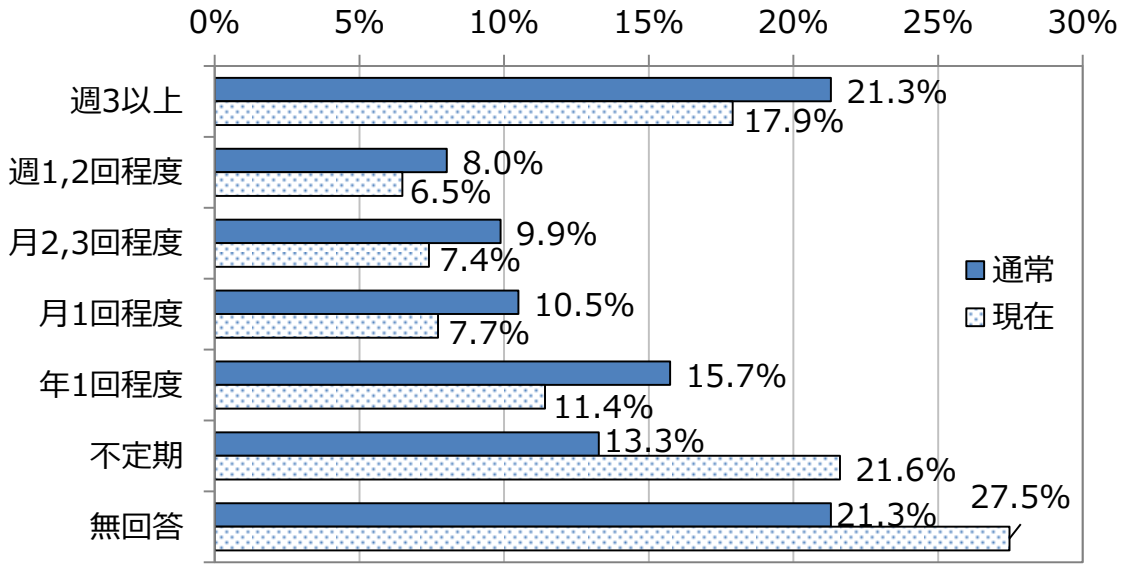


(7) その他

(7)その他

「その他」の事業は、「週 3 以上」「不定期」の割合が高い。

図表 2-40　その他　(n=324)



2-3　子育て支援事業の実施状況　――対象者

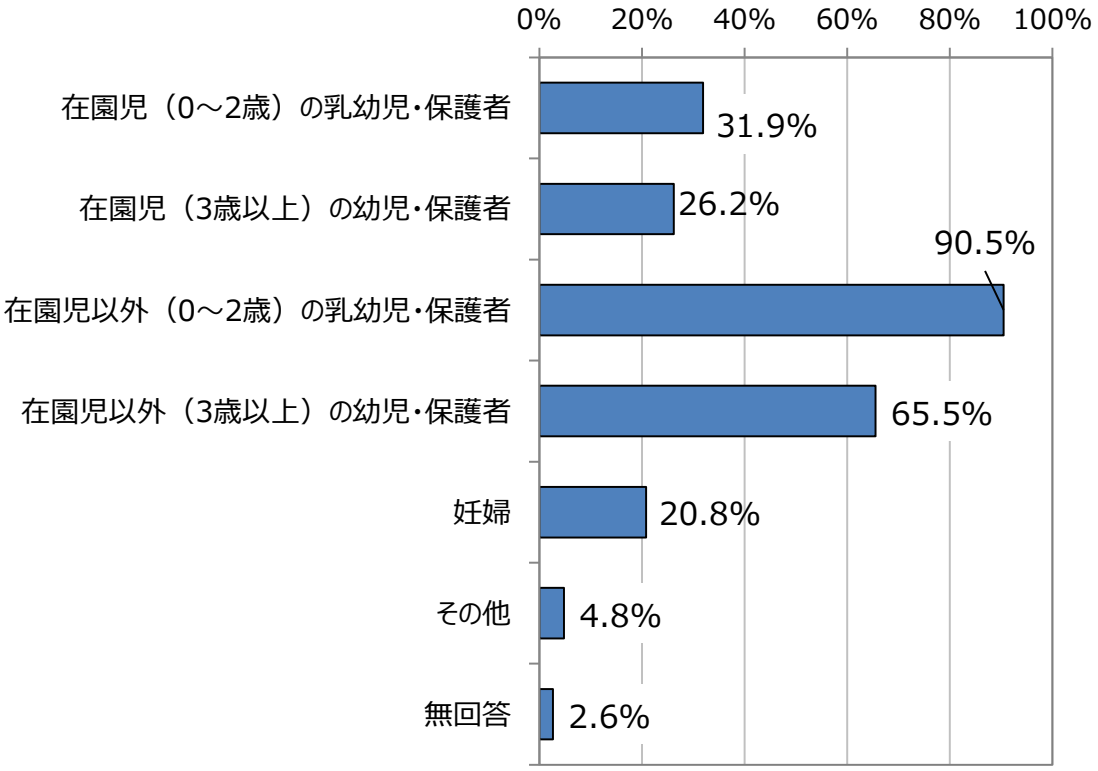
（1）地域の親子が交流する場の開設

2－3－3　子育て支援事業の主な対象者

（1）地域の親子が交流する場の開設

園で実施している子育て支援事業の主な対象者の割合について、「地域の親子が交流する場の開設」では「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」が 90.5%で最も割合が高く、次いで「在園児以外（3 歳以上）の乳幼児・保護者」が 65.5%と割合が高い。

図表 2-41　地域の親子が交流する場の開設の主な対象者（複数回答）（n=2,751）

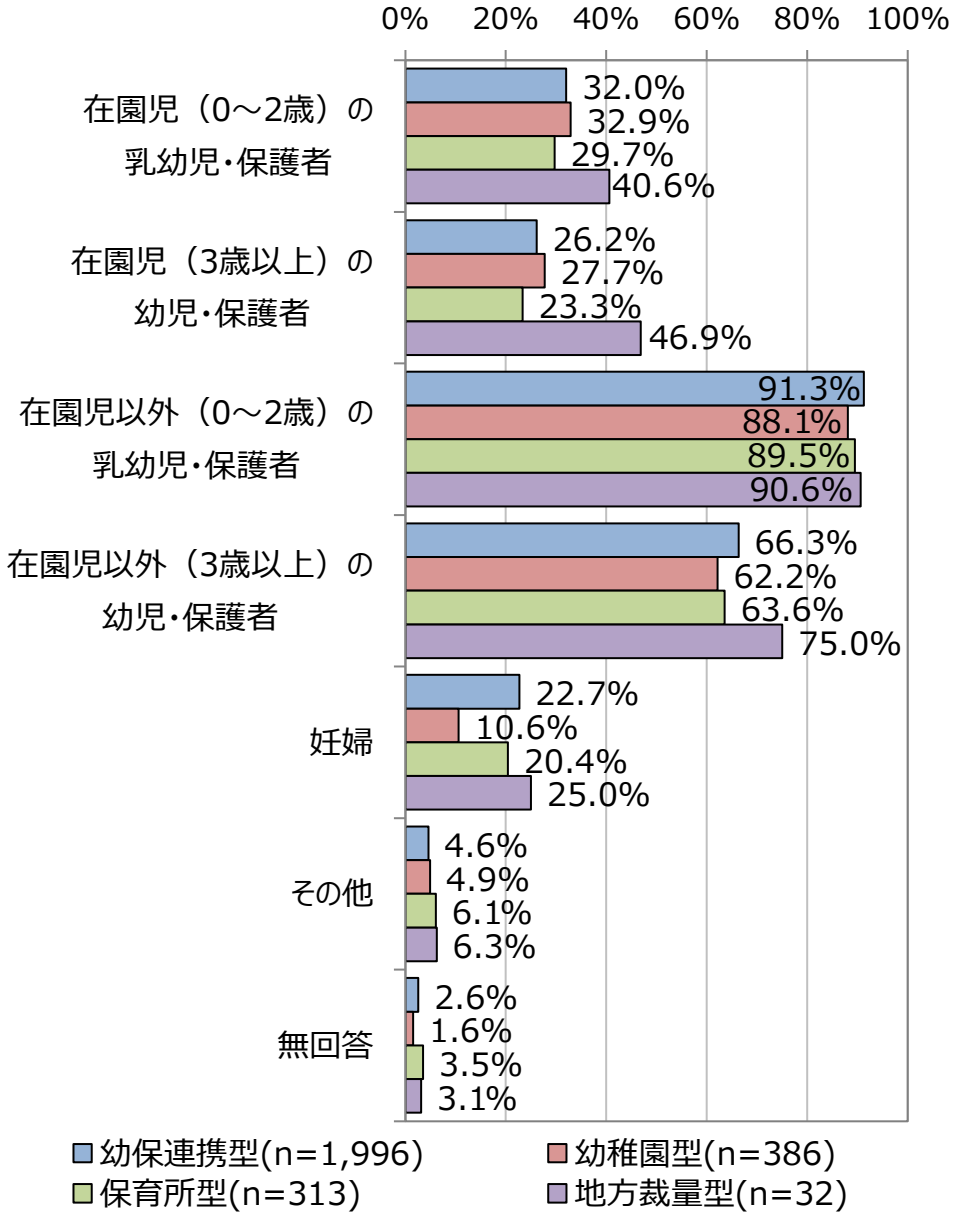


2-3　子育て支援事業の実施状況　――対象者

（1）地域の親子が交流する場の開設

類型別に、地域の親子が交流する場の開設の主な対象者をみると、どの類型でも「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」が最も多く、他の対象者もどの類型でも近い比率となっている。

図表 2-42　類型別　地域の親子が交流する場の開設の主な対象者（複数回答）

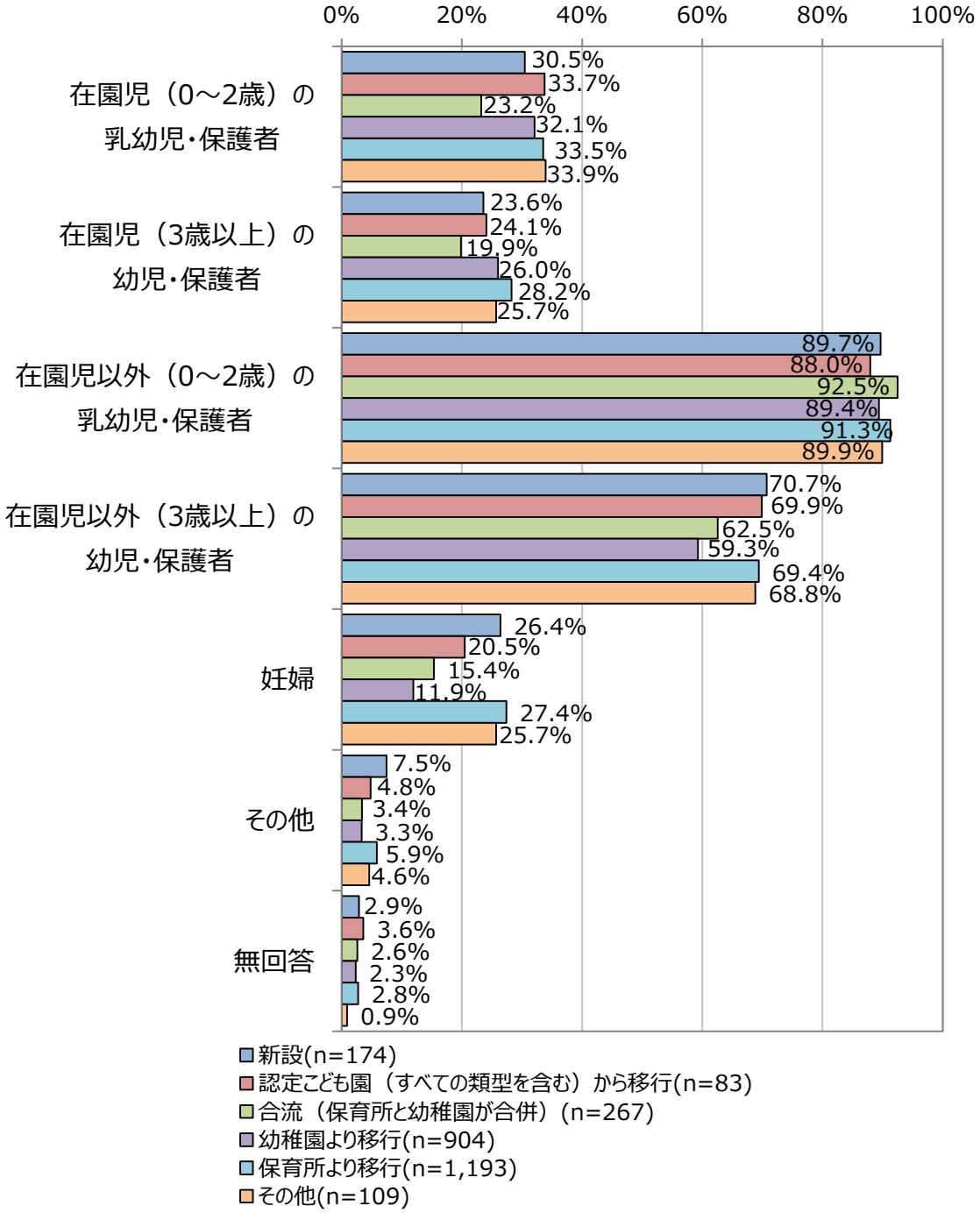


2-3　子育て支援事業の実施状況　――対象者

（1）地域の親子が交流する場の開設

開設の経緯別に、地域の親子が交流する場の開設の主な対象者をみると、合流（保育所と幼稚園が合併）と幼稚園より移行では、「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」の割合が他と比べてやや低い。

図表 2-43　開設の経緯別　地域の親子が交流する場の開設の主な対象者（複数回答）（通常）

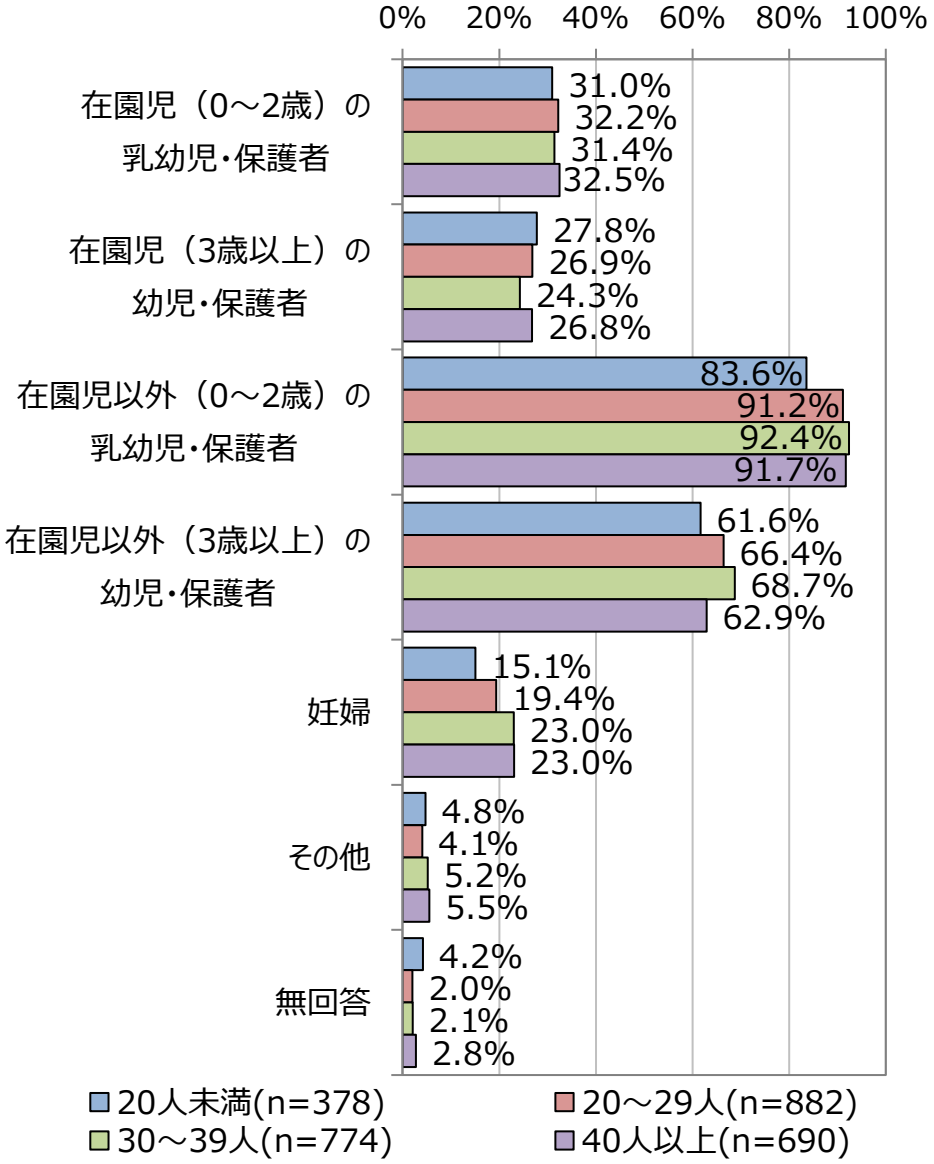


2-3　子育て支援事業の実施状況　――対象者

（1）地域の親子が交流する場の開設

職員人数別に、地域の親子が交流する場の開設の主な対象者（複数回答）をみると、職員人数 30 人以上の認定こども園の方が、「妊婦」の割合がやや高い。

図表 2-44　職員人数別　地域の親子が交流する場の開設の主な対象者（複数回答）

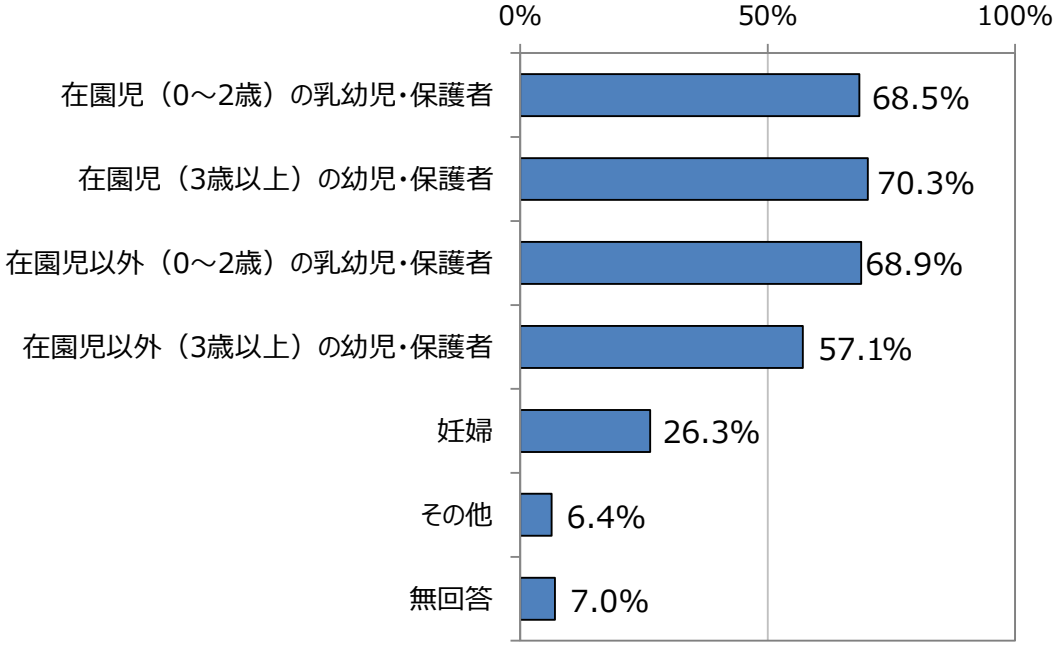


（2）家庭への情報提供・相談

（2）家庭への情報提供・相談

「家庭への情報提供・相談」は、「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」、「在園児（0～2 歳）の乳幼児・保護者」、「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」がそれぞれ 7 割程度と割合が高い。

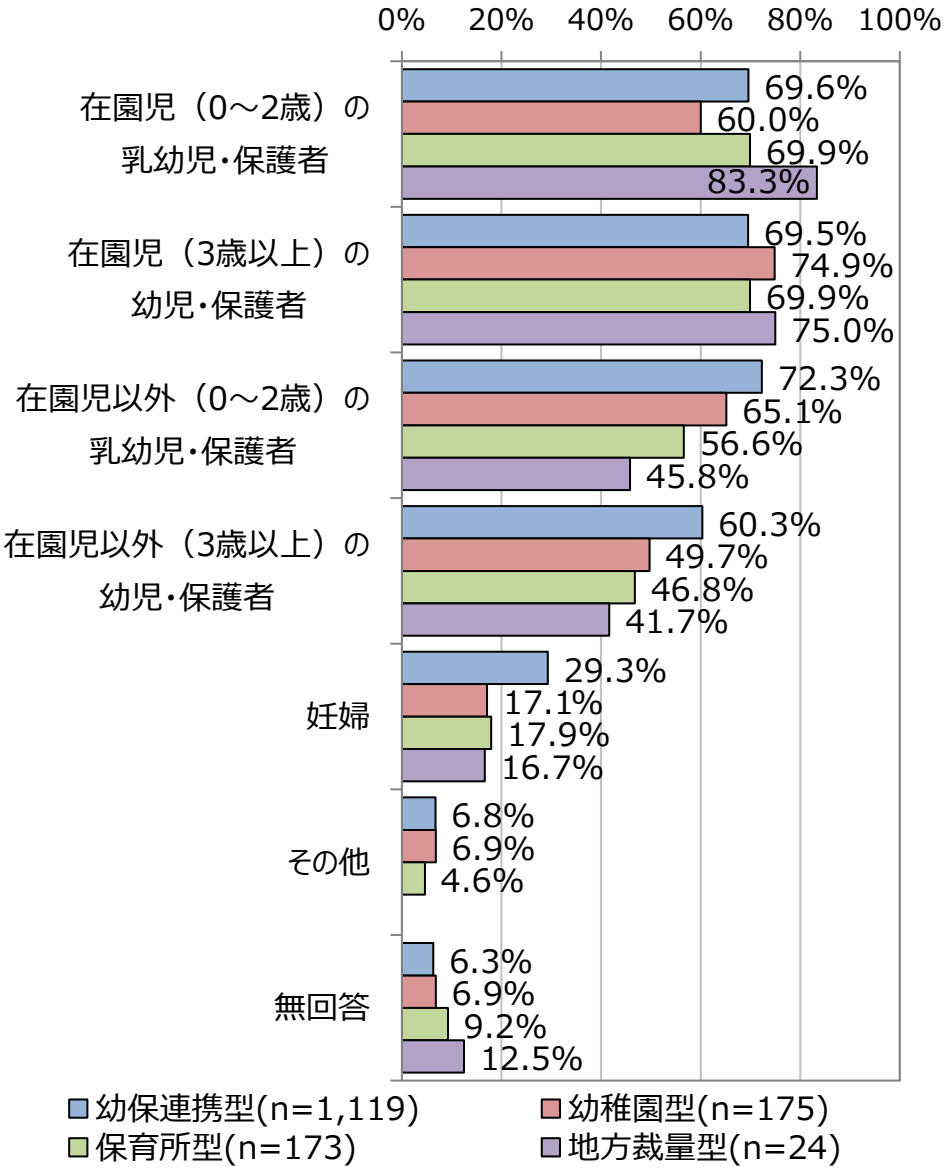
図表 2-45　家庭への情報提供・相談の主な対象者　（複数回答）（n=1,506）



（2）家庭への情報提供・相談

類型別に、家庭への情報提供・相談の主な対象者をみると、幼保連携型で「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」「妊婦」の割合が、他より高い。

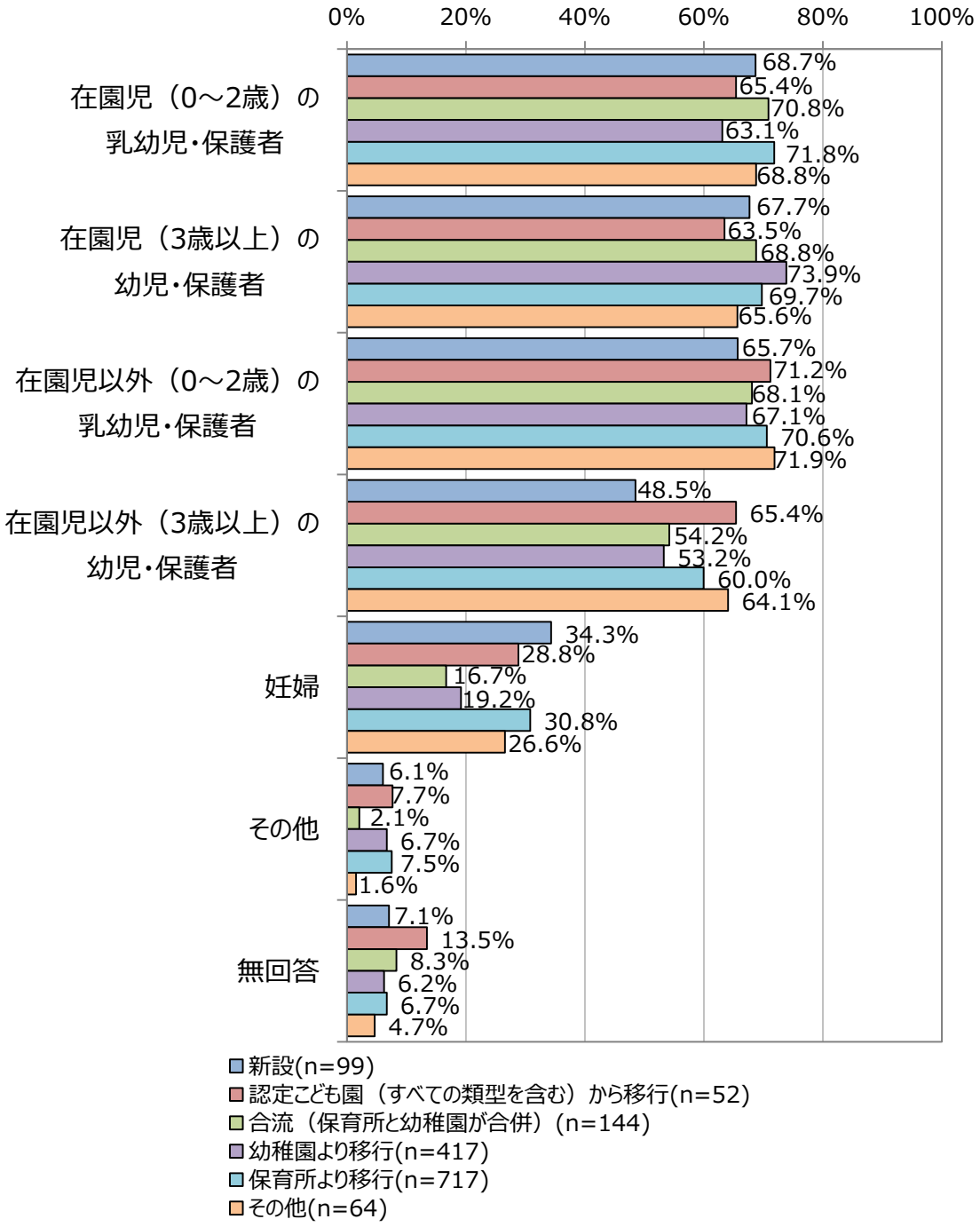
図表 2-46　類型別　家庭への情報提供・相談の主な対象者（複数回答）



（2）家庭への情報提供・相談

開設の経緯別に、家庭への情報提供・相談の主な対象者をみると、認定こども園（すべての類型を含む）から移行で「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」の割合が、他より高い。

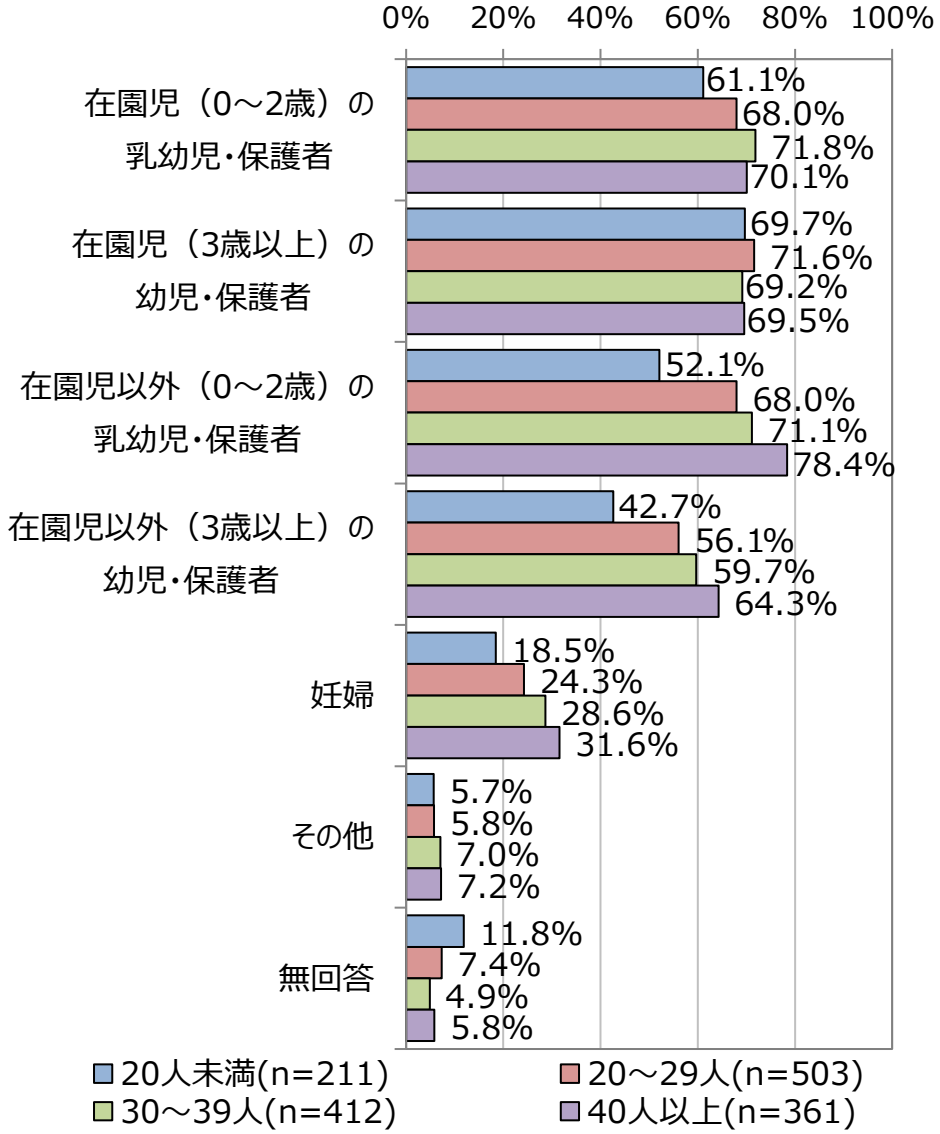
図表 2-47　開設の経緯別　家庭への情報提供・相談の主な対象者（複数回答）



（2）家庭への情報提供・相談

職員人数別に、家庭への情報提供・相談の主な対象者をみると、職員人数が多い認定こども園ほど、「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」「妊婦」の割合が高い。

図表 2-48　職員人数別　家庭への情報提供・相談の主な対象者（複数回答）

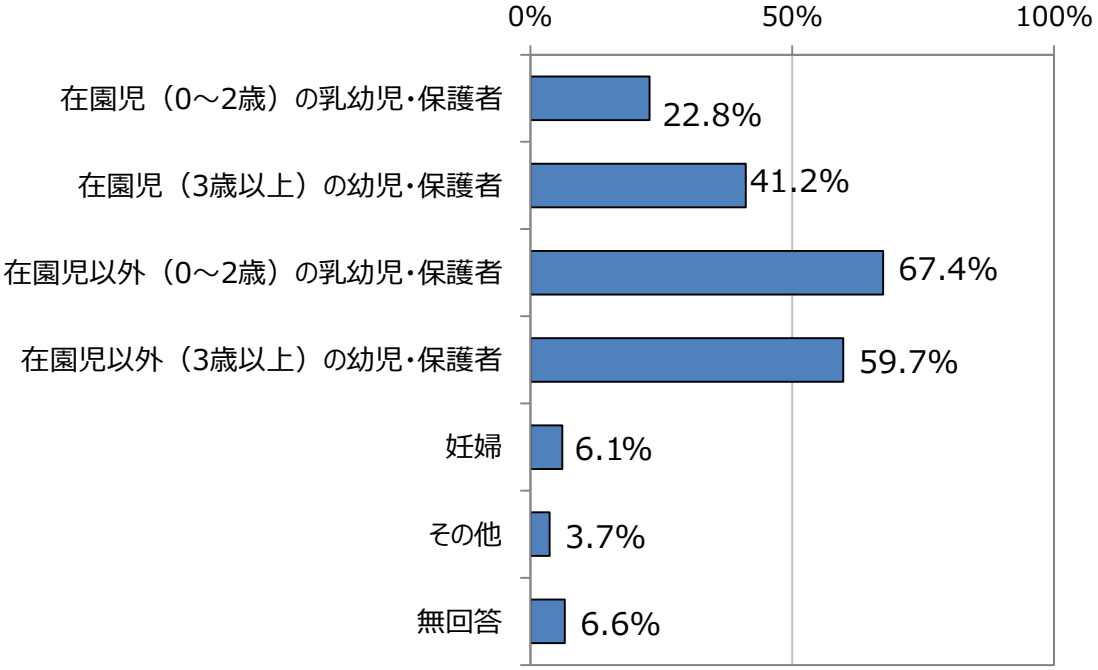


（3）一時預かり（施設型）

（３）一時預かり（施設型）

「一時預かり（施設型）」については「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」が 67.4%で最も割合が高く、「在園児以外（3 歳以上）の乳幼児・保護者」も 59.7%と、在園児以外の乳幼児と保護者の割合が高い。

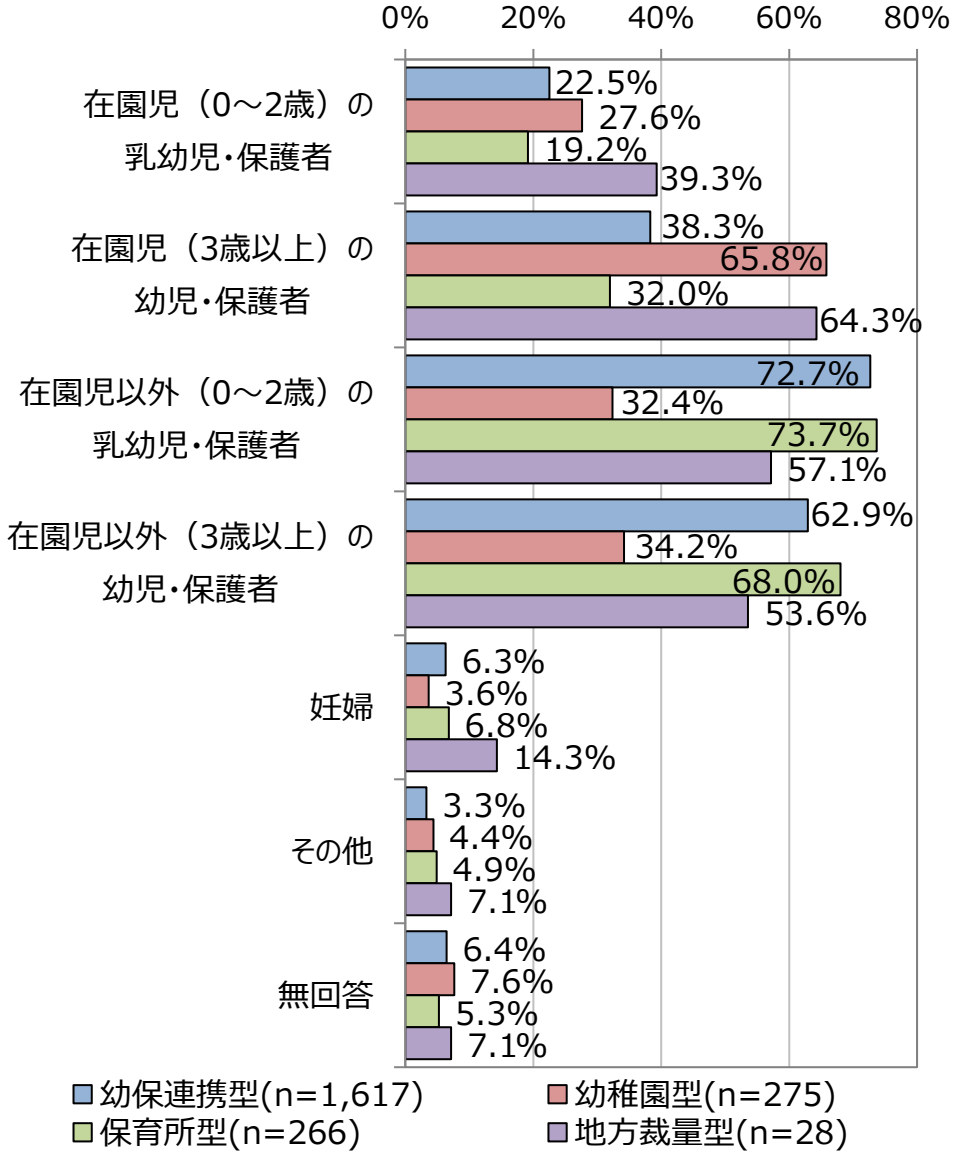
図表 2-49　一時預かり（施設型）の主な対象者（複数回答）（n=2,211）



（3）一時預かり（施設型）

類型別に、一時預かり（施設型）の主な対象者をみると、幼稚園型で在園児、特に「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」を対象としている割合が高く、在園児以外を対象としている割合が低い。

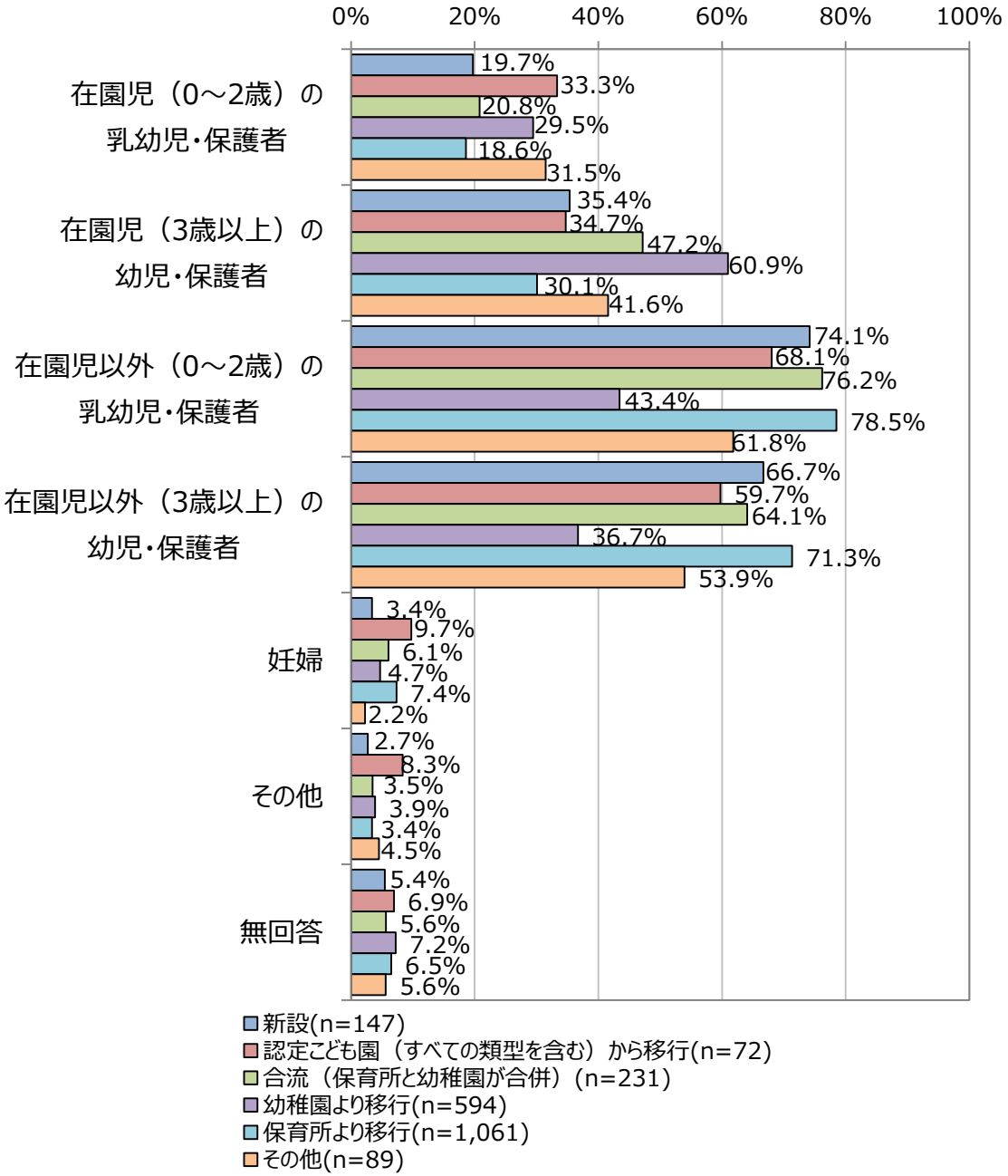
図表 2-50　類型別　一時預かり（施設型）の主な対象者（複数回答）



（3）一時預かり（施設型）

開設の経緯別に、一時預かり（施設型）の主な対象者をみると、幼稚園より移行した認定こども園で在園児、特に「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」を対象としている割合が高く、在園児以外を対象としている割合が低い。

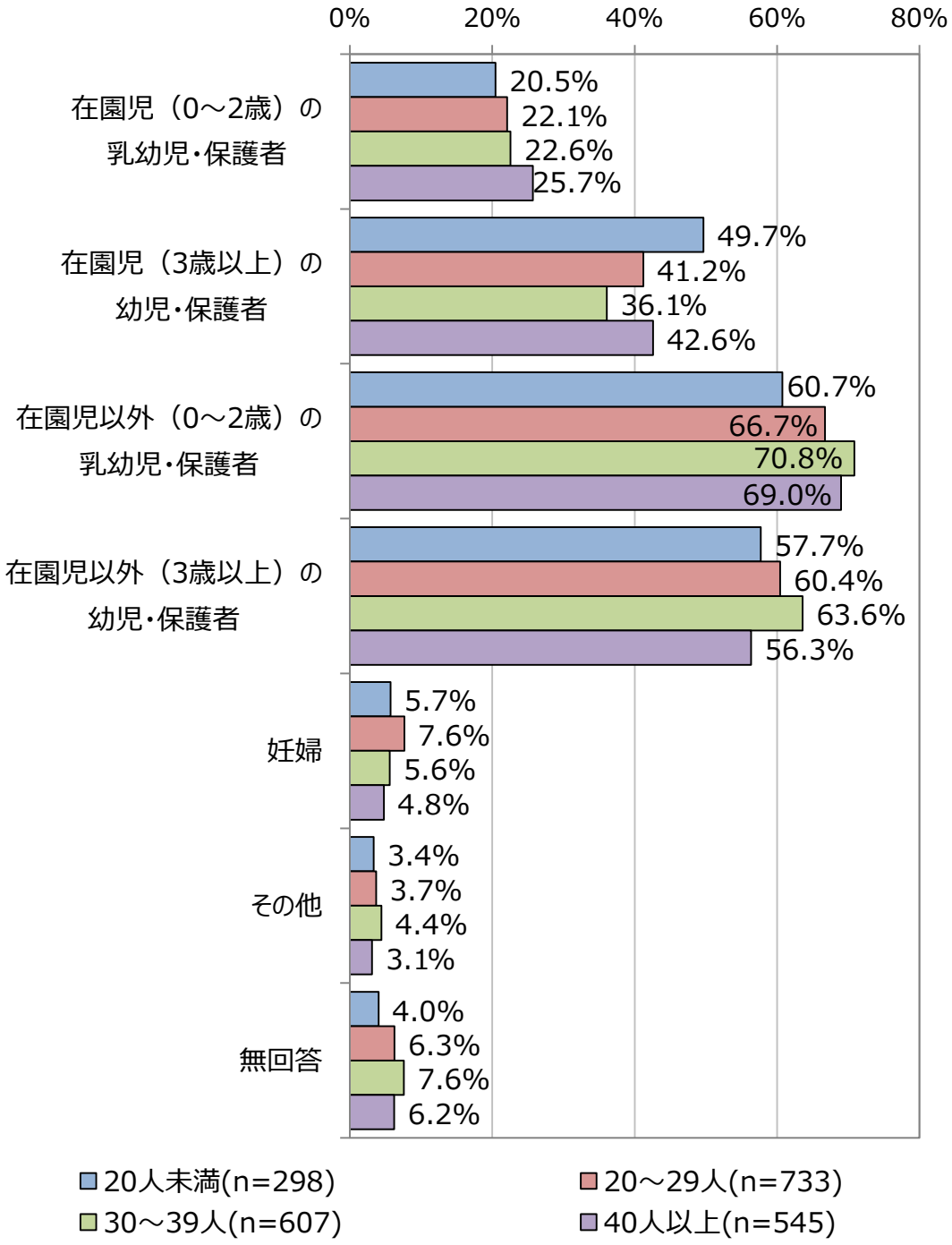
図表 2-51　開設の経緯別　一時預かり（施設型）の主な対象者（複数回答）



（3）一時預かり（施設型）

職員人数別に、一時預かり（施設型）の主な対象者をみると、職員人数 20 人未満の認定こども園で、「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」の割合が高い。

図表 2-52　職員人数別　一時預かり（施設型）の主な対象者（複数回答）

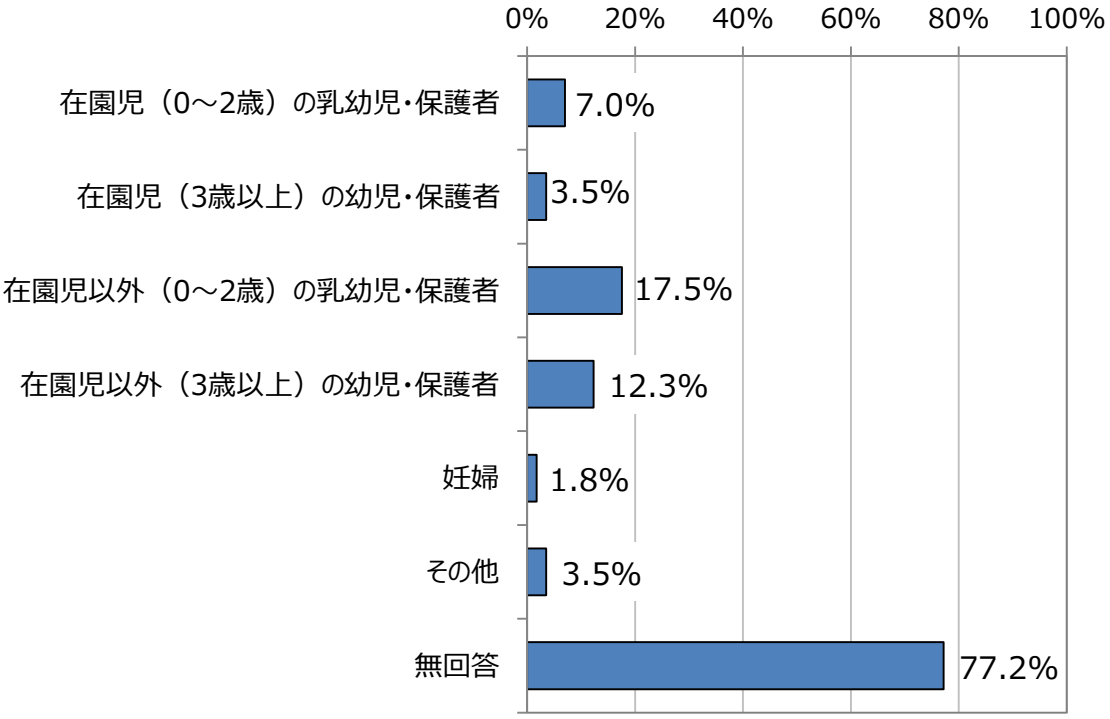


（4）一時預かり（訪問型）

（４）一時預かり（訪問型）

「一時預かり（訪問型）」は、「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」の割合が 17.5%と高い（約 7 割が「無回答」）。

図表 2-53　一時預かり（訪問型）の主な対象者（複数回答）（n=57）

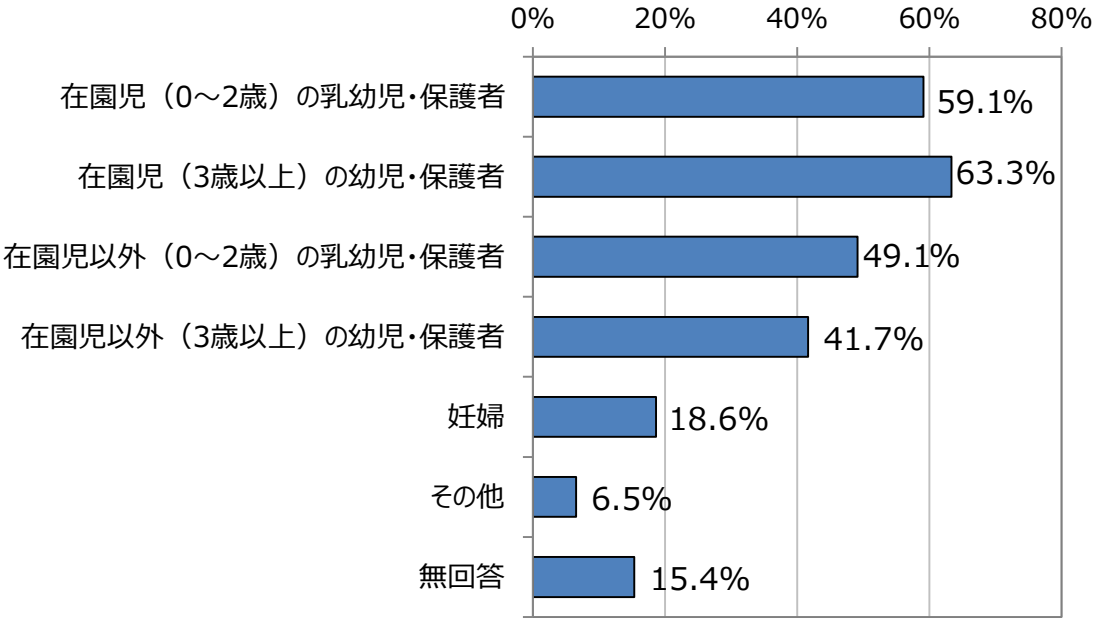


（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

「保護者と子育て支援者の連絡・調整」では「在園児（3 歳以上）の乳幼児・保護者」（63.3%）、「在園児（0～2 歳）の乳幼児・保護者」（59.1%）が約 6 割と割合が高い。

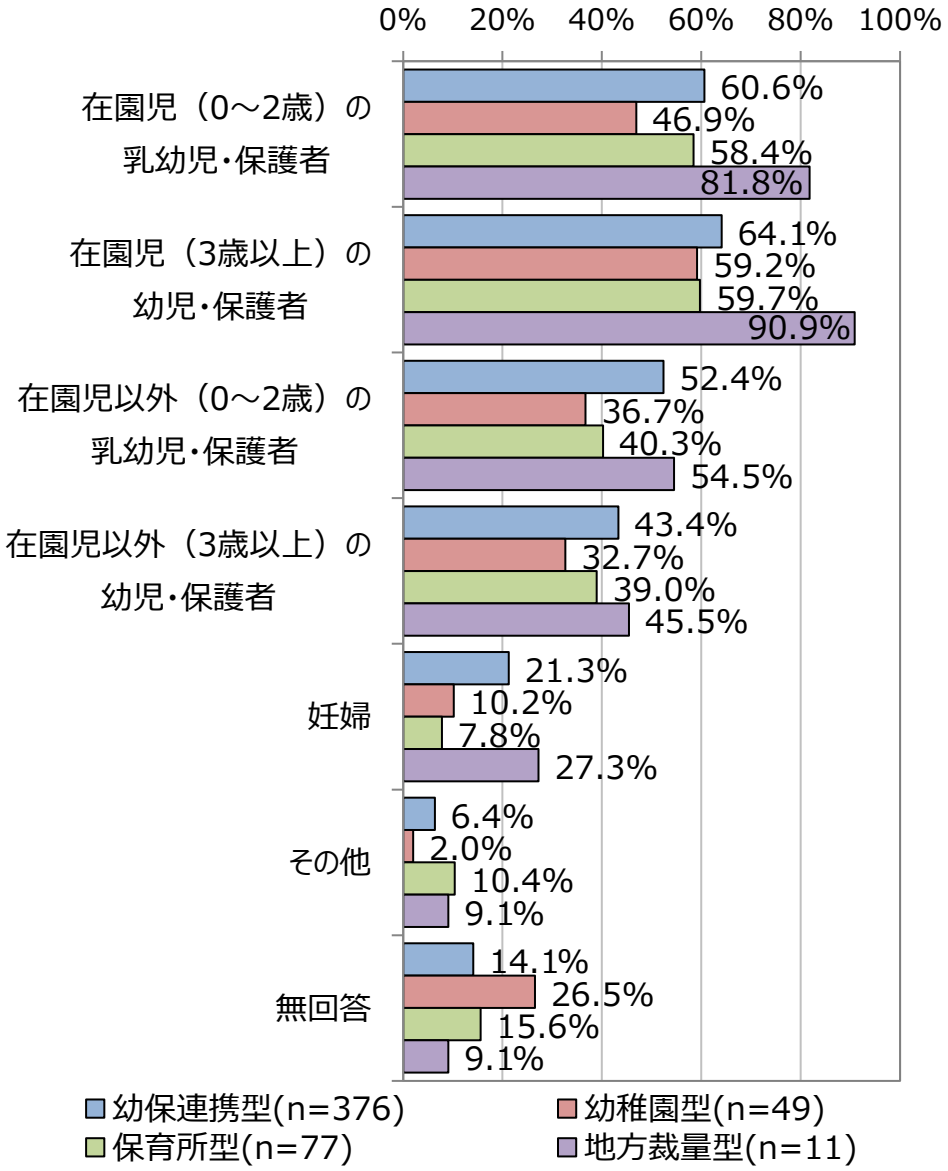
図表 2-54　保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者（複数回答）（n=521）



（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

類型別に、保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者をみると、どの類型でも「在園児以外（3 歳以上）の乳幼児・保護者」が最も多い。

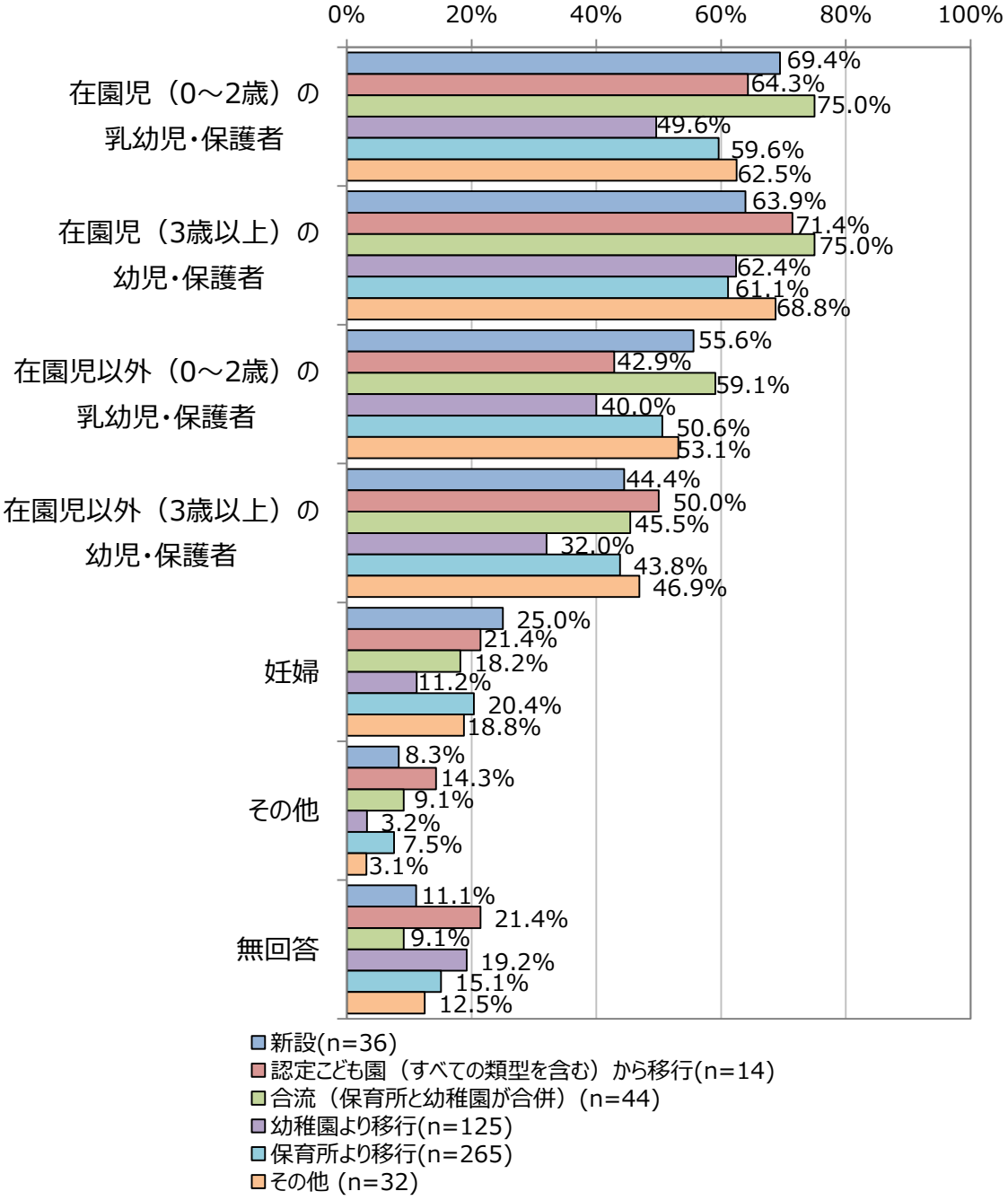
図表 2-55　類型別　保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者（複数回答）



（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

開設の経緯別に、保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者をみると、合流（保育所と幼稚園が合併）において「在園児（0～2 歳）の乳幼児・保護者」「在園児（3 歳以上）の幼児・保護者」「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者の割合」が他より低い。

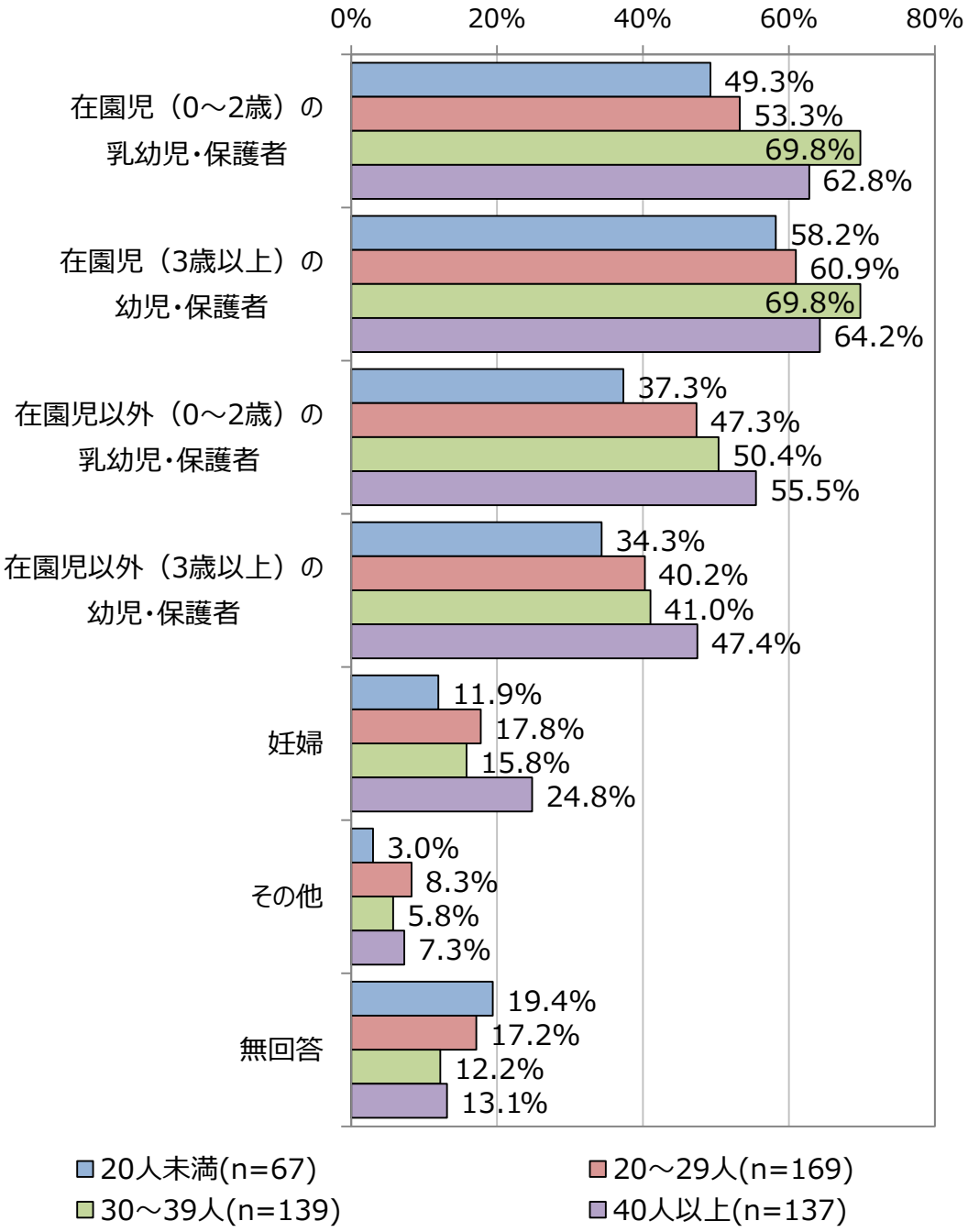
図表 2-56　開設の経緯別　保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者
（複数回答）



（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

職員人数別に、保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者をみると、職員人数が多い認定こども園ほど、在園児以外（妊婦含む）を対象とする割合が高い。

図表 2-57　職員人数別　保護者と子育て支援者の連絡・調整の主な対象者
（複数回答）

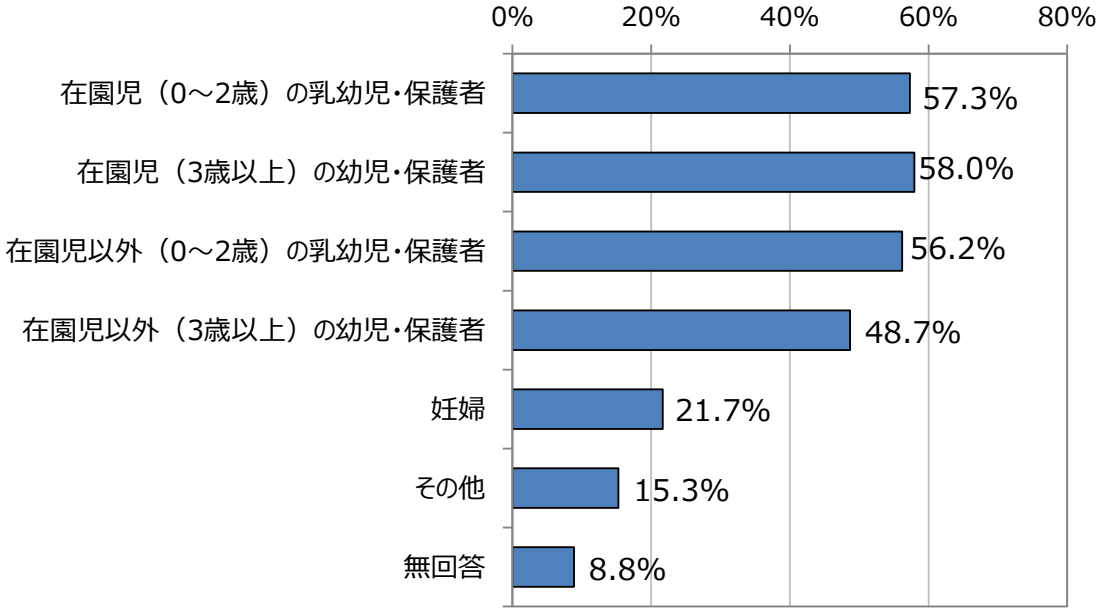


（6）子育て支援者に対する情報提供・助言

（6）子育て支援者に対する情報提供・助言

「子育て支援者に対する情報提供・助言」は、「在園児（0～2 歳）の乳幼児・保護者」「在園児（3 歳以上）の幼児・保護者」「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者の割合」が 5 割以上、「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」が 5 割弱と割合が高い。

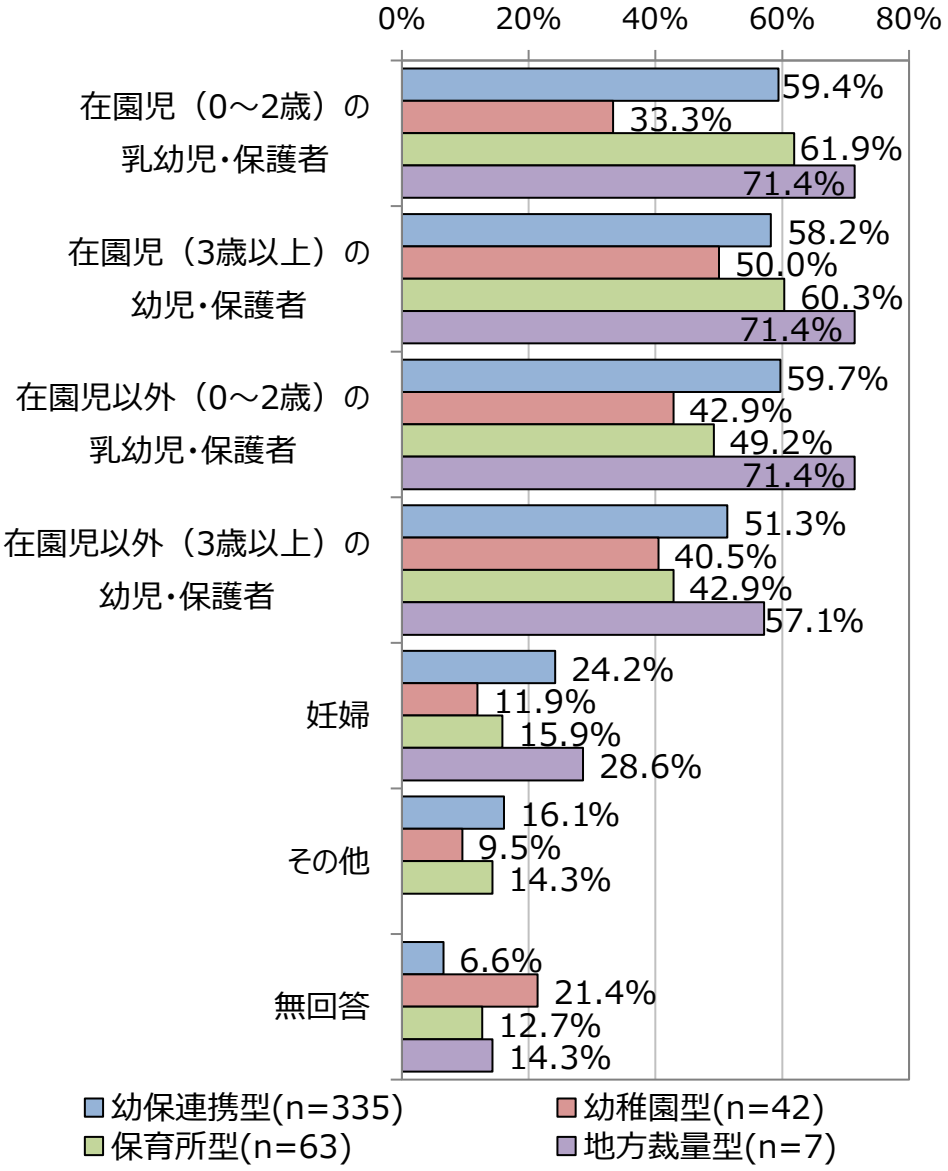
図表 2-58　子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者（複数回答）（n=452）



(6) 子育て支援者に対する情報提供・助言

類型別に、子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者をみると、幼稚園型で割合が全体的に低く「在園児（0～2 歳）の乳幼児・保護者」が特に低い。

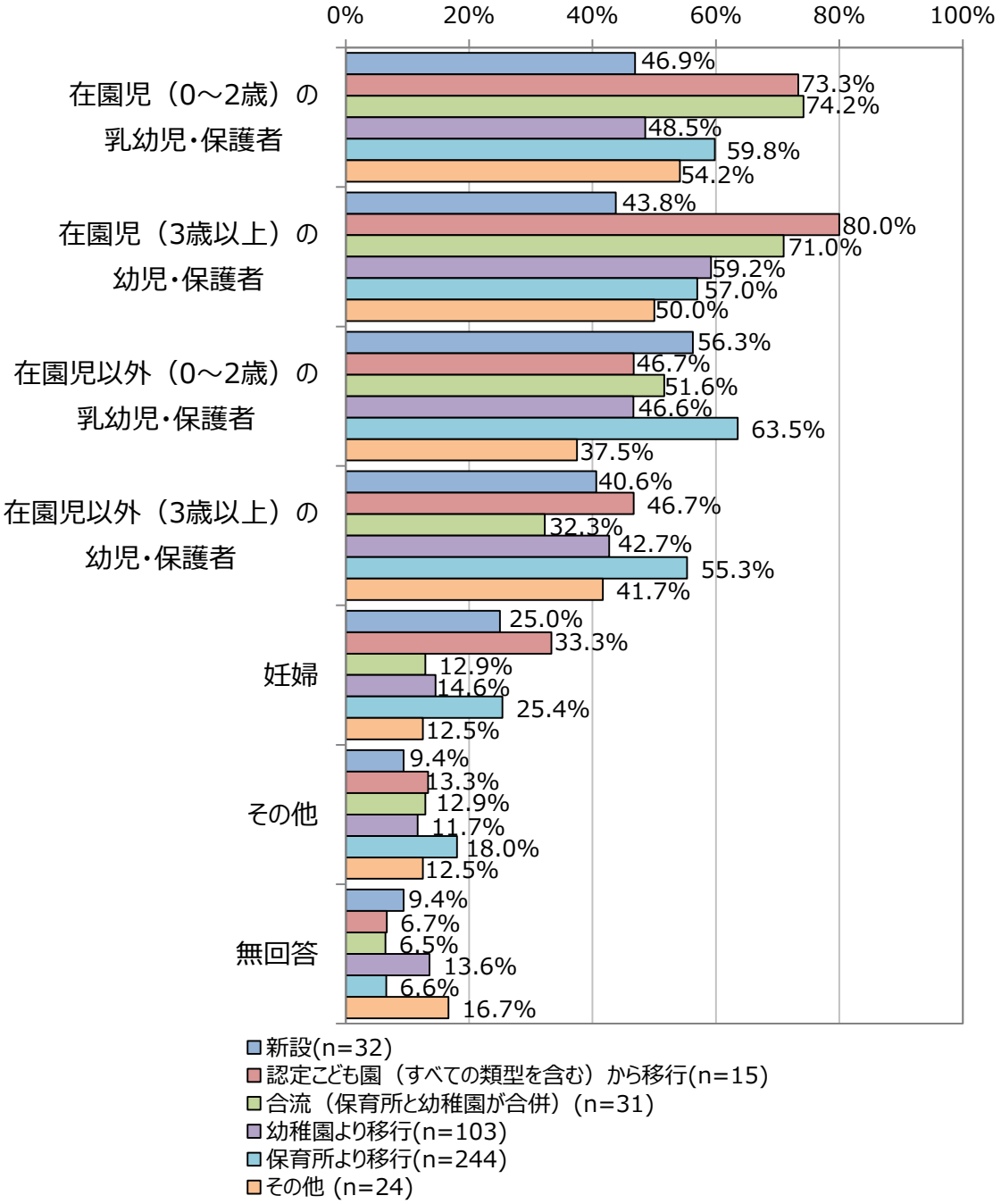
図表 2-59　類型別　子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者（複数回答）



（6）子育て支援者に対する情報提供・助言

開設の経緯別に、子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者をみると、保育所より移行した認定こども園で「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」の割合が他より高い。

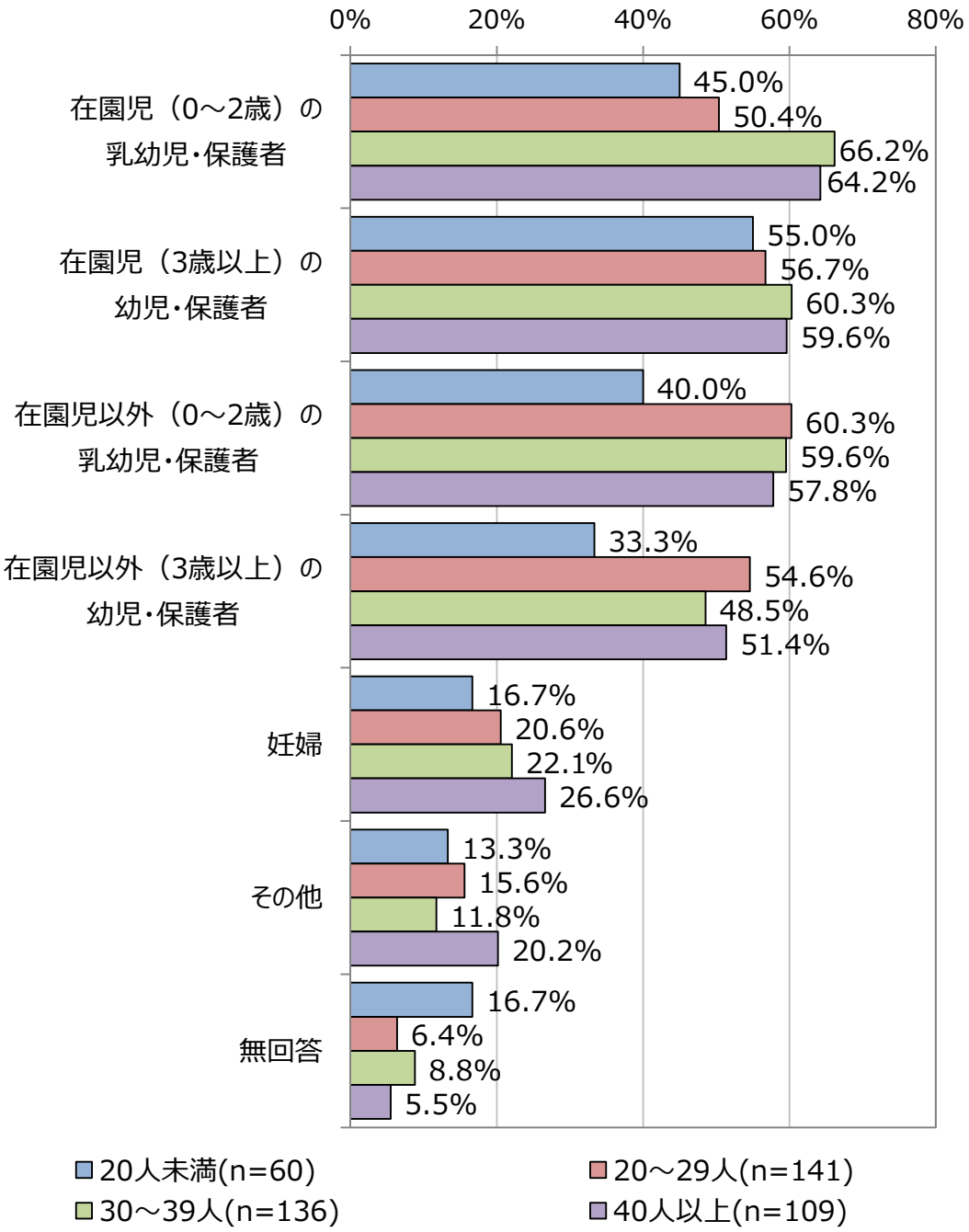
図表 2-60　開設の経緯別　子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者
（複数回答）



(6) 子育て支援者に対する情報提供・助言

職員人数別に、子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者をみると、職員人数 20 人未満の認定こども園では、「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」「在園児以外（3 歳以上）の幼児・保護者」の割合が他より低い。

図表 2-61　職員人数別　子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者
（複数回答）

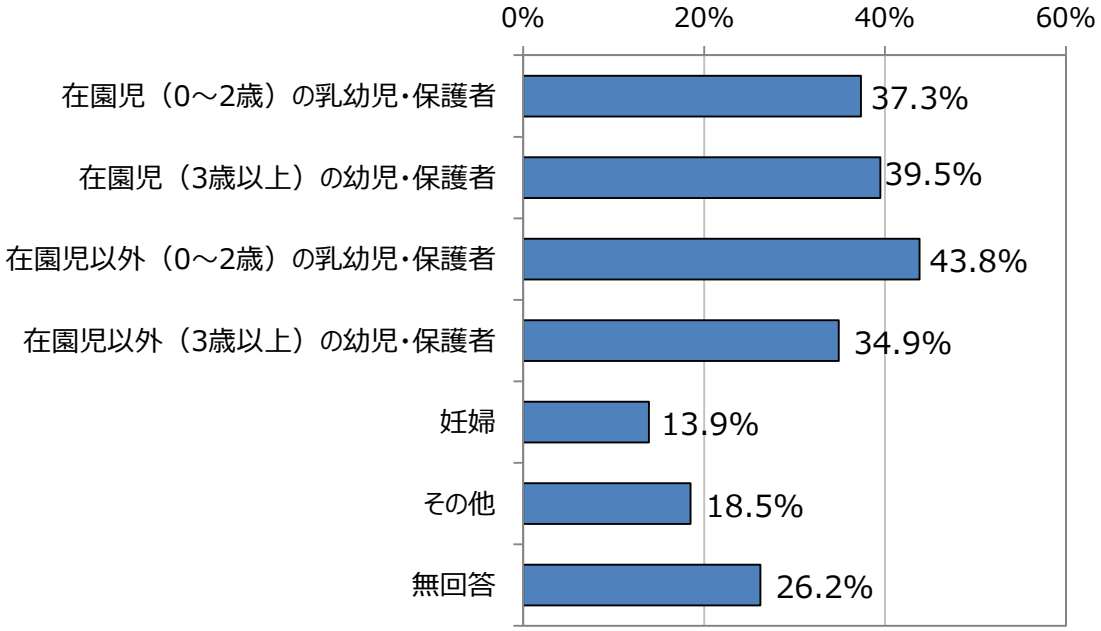


（7）その他

（7）その他

「その他」については、「在園児以外（0～2 歳）の乳幼児・保護者」が 43.8%で最も割合が高い。

図表 2-62　その他の主な対象者（複数回答）（n=324）



2-3　子育て支援事業の実施状況　――職員数

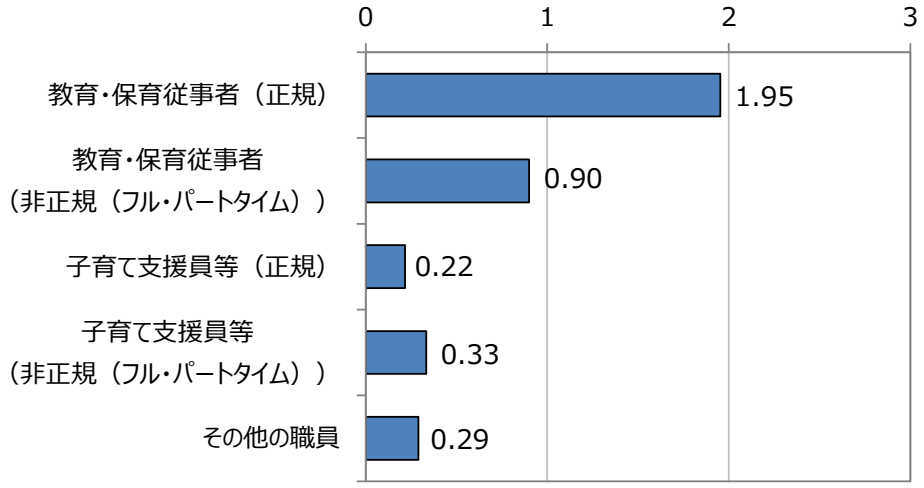
（1）地域の親子が交流する場の開設
（2）家庭への情報提供・相談

2－3－4　園の実施している子育て支援事業に関わる職員の人数

（1）地域の親子が交流する場の開設

「教育・保育従事者（正規）」が平均 1.95 人と多い。他の職員は、平均 1 人未満である。

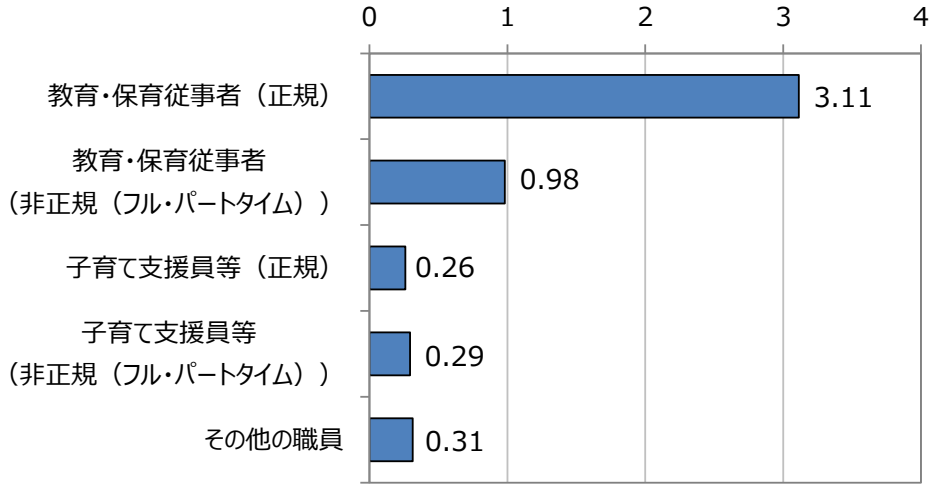
図表 2-63　子育て支援事業に関わる職員の人数
地域の親子が交流する場の開設（平均）（人）（n=2,649）



（2）家庭への情報提供・相談

「教育・保育従事者（正規）」が平均 3.11 人と多い。他の職員は、平均 1 人未満である。

図表 2-64　子育て支援事業に関わる職員の人数
家庭への情報提供・相談（平均）（人）（n=1,359）



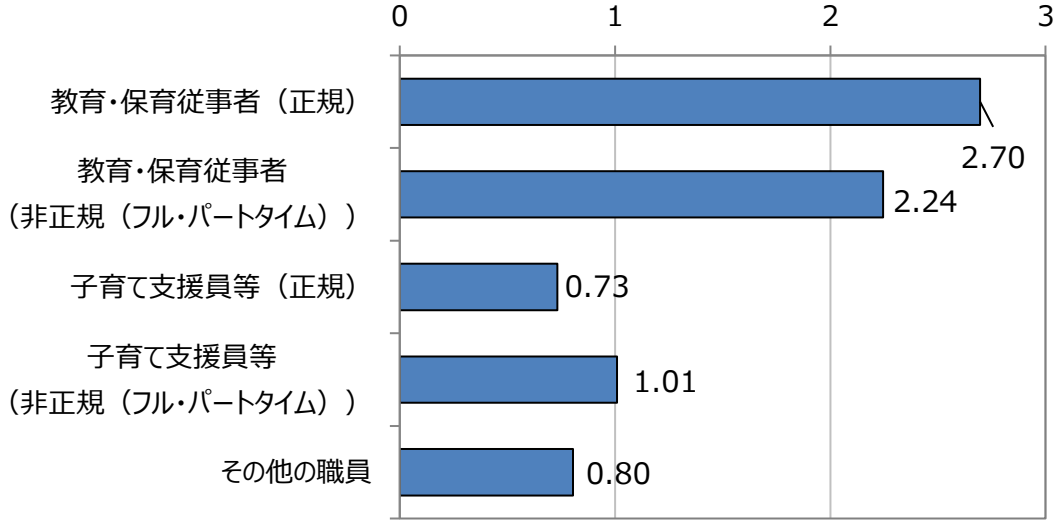
2-3　子育て支援事業の実施状況　――職員数

（3）一時預かり（施設型）
（4）一時預かり（訪問型）

（３）一時預かり（施設型）

「教育・保育従事者（正規）」が平均 2.70 人と最も多く、「教育・保育従事者（非正規）」が 2.24 人と続く。

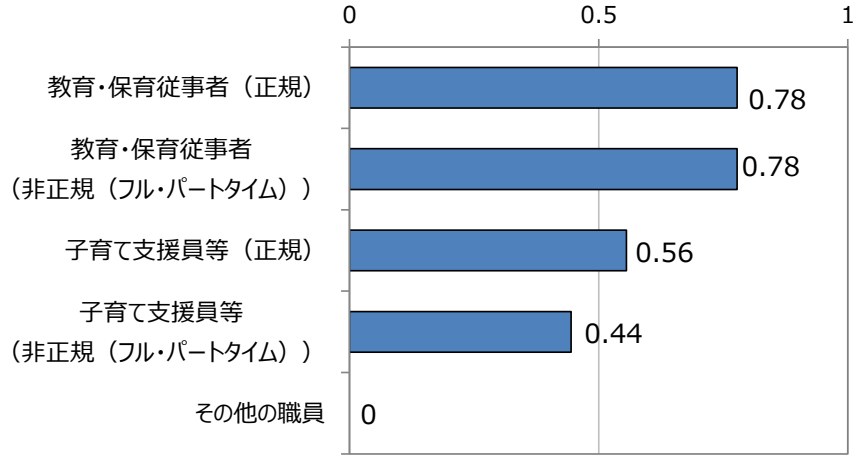
図表 2-65　子育て支援事業に関わる職員の人数
一時預かり（施設型）（平均）（人）（n=1,658）



（４）一時預かり（訪問型）

いずれも１人未満となっている。

図表 2-66　子育て支援事業に関わる職員の人数
一時預かり（訪問型）（平均）（人）（n=9）

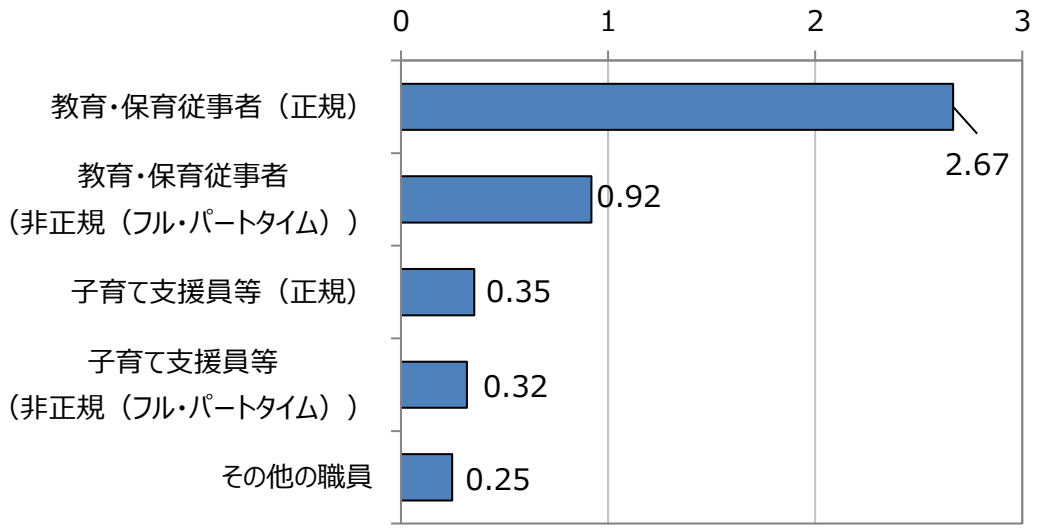


（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整
（6）子育て支援者に対する情報提供・相談

（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

「教育・保育従事者（正規）」が平均 2.67 人と多い。他の職員は、平均 1 人未満である。

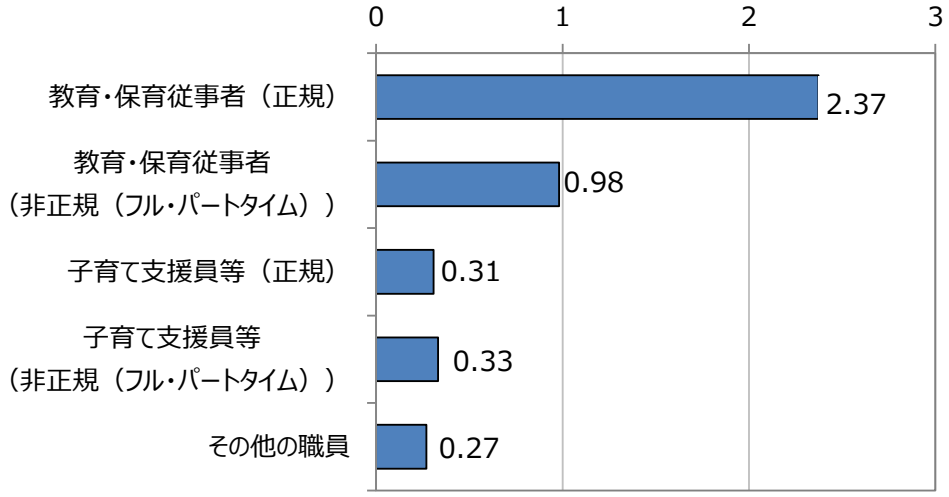
図表 2-67　子育て支援事業に関わる職員の人数
保護者と子育て支援者の連絡・調整（平均）（人）（n=433）



（6）子育て支援者に対する情報提供・助言

「教育・保育従事者（正規）」が平均 2.37 人で多い。他の職員は、平均 1 人未満である。

図表 2-68　子育て支援事業に関わる職員の人数
子育て支援者に対する情報提供・助言（平均）（人）（n=308）

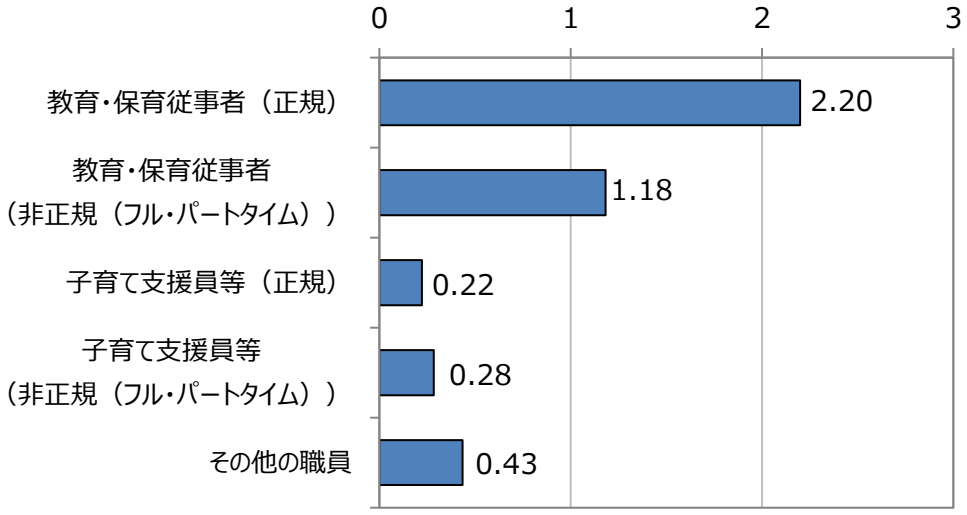


（7）その他

（7）その他

「教育・保育従事者（正規）」が平均 2.20 人で多い。

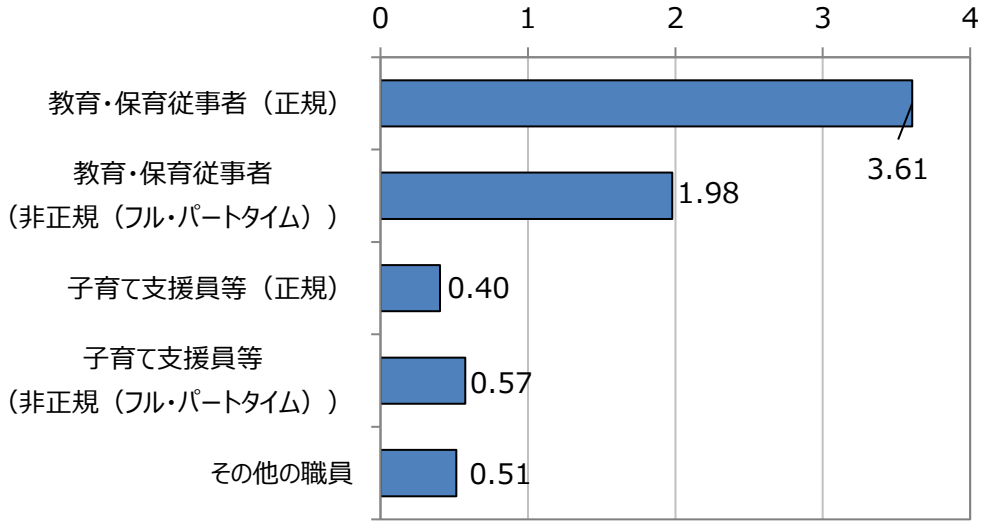
図表 2-69　子育て支援事業に関わる職員の人数
その他（平均）（人）（n=226）



（8）子育て支援事業に関わる職員の実人数

子育て支援事業に関わる職員の実人数は、「教育・保育従事者（正規）」が平均 3.61 人で最も多く、「教育・保育従事者（非正規）」が 1.98 人と続く。

図表 2-70　子育て支援事業に関わる職員の実人数
子育て事業に関わる人数計（平均）（人）（n=1,760）



2-3　子育て支援事業の実施状況　――利用者数

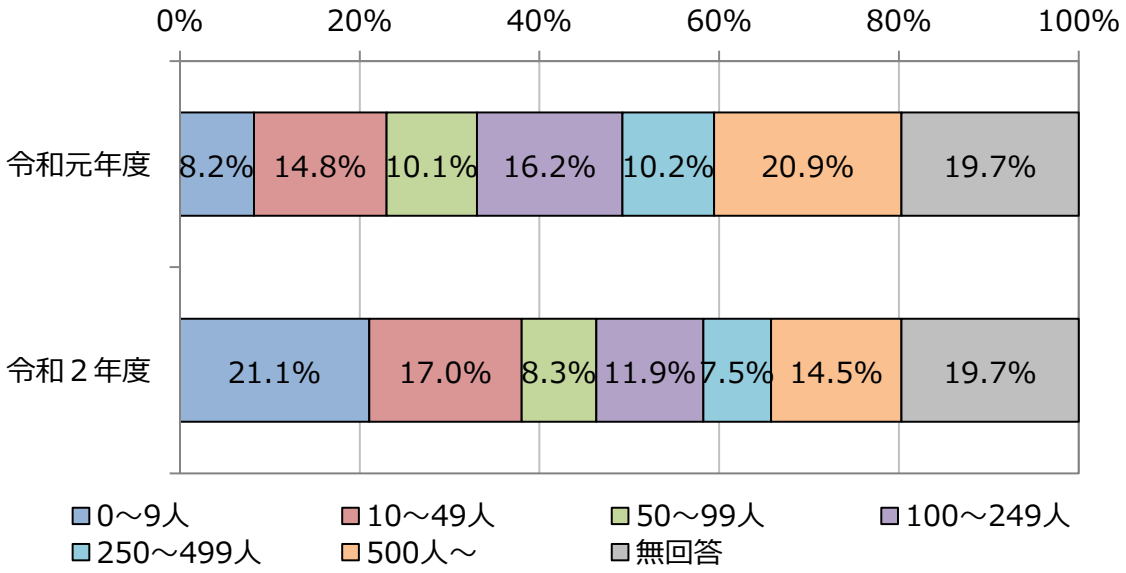
（1）地域の親子が交流する場の開設

2－3－5　子育て支援事業の年間の利用者数

（1）地域の親子が交流する場の開設

「地域の親子が交流する場の開設」の利用者数は、「0～9 人」の割合が「令和元年度」に比べて「令和２年度」で 10%以上増加している。「10～49 人」の割合も増加している。一方、「100～249 人」「250～499 人」「500 人～」の割合は減少している。

図表 2-71　子育て支援事業の年間の利用者数
地域の親子が交流する場（n=2,771）

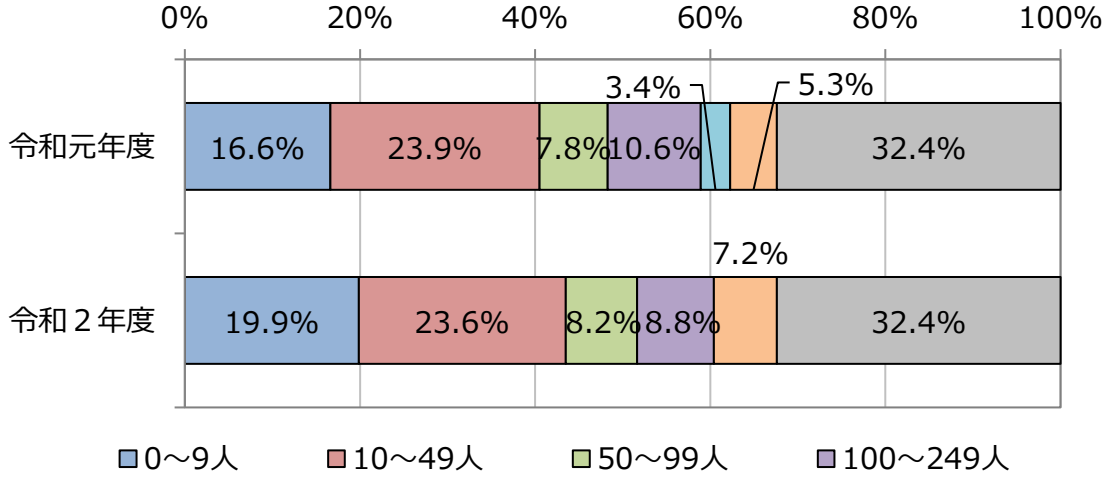


（2）家庭への情報提供・相談
（3）一時預かり（施設型）

（２）家庭への情報提供・相談

「家庭への情報提供・相談」の利用者数は、「令和元年度」と「令和２年度」で大きな変化はない。

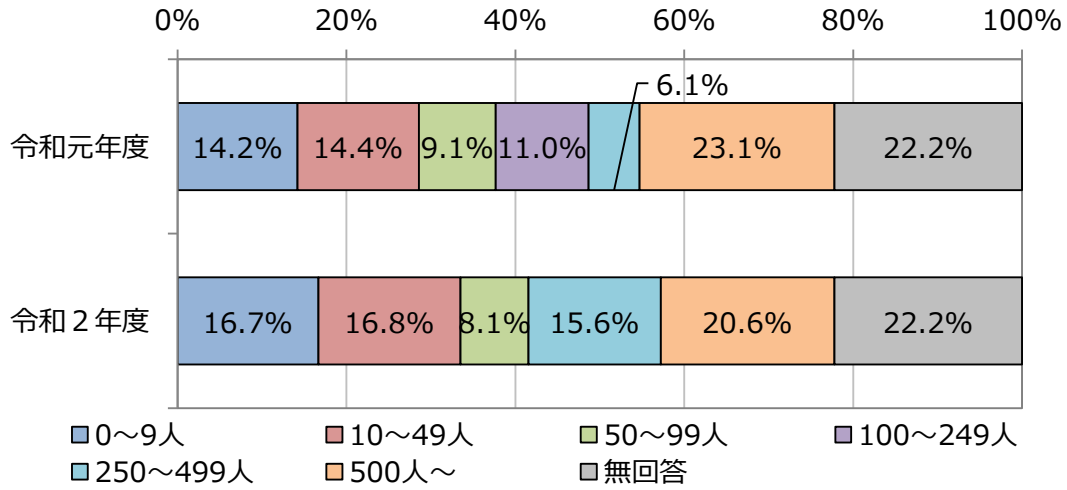
図表 2-72　子育て支援事業の年間の利用者数
家庭への情報提供・相談（n=1,506）



（３）一時預かり（施設型）

「一時預かり（施設）」の利用者数は、「令和元年度」に比べて「令和２年度」で「0～9 人」「10～49 人」と「250～499 人」の割合が増加している。コロナ禍において、利用の人数が 2 極化している。

図表 2-73　子育て支援事業の年間の利用者数
一時預かり（施設）（n=2,211）

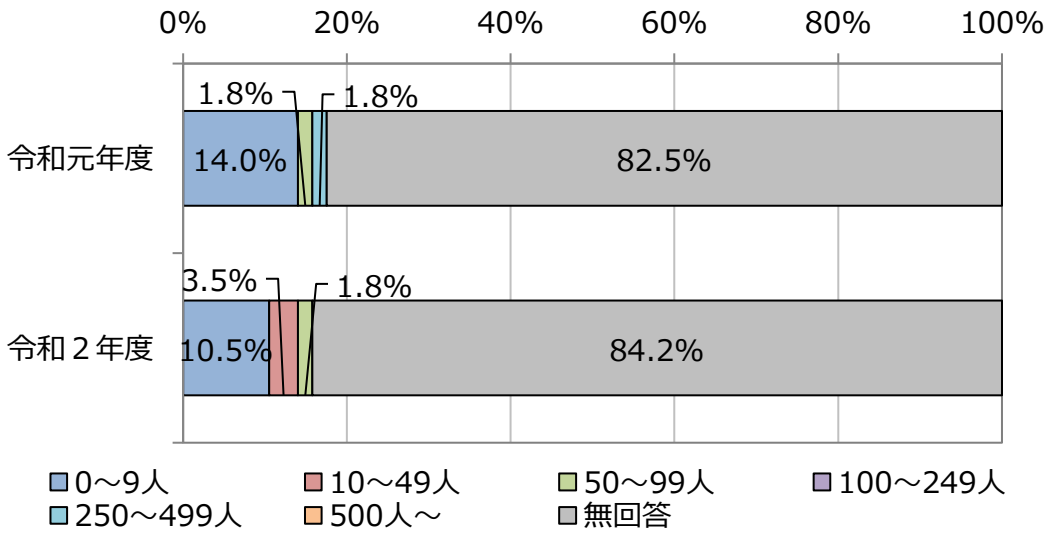


（4）一時預かり（訪問型）
（5）保護者と子育て支援者の連絡・調整

（４）一時預かり（訪問型）

「一時預かり（訪問）」の利用者数は、下記の通り。

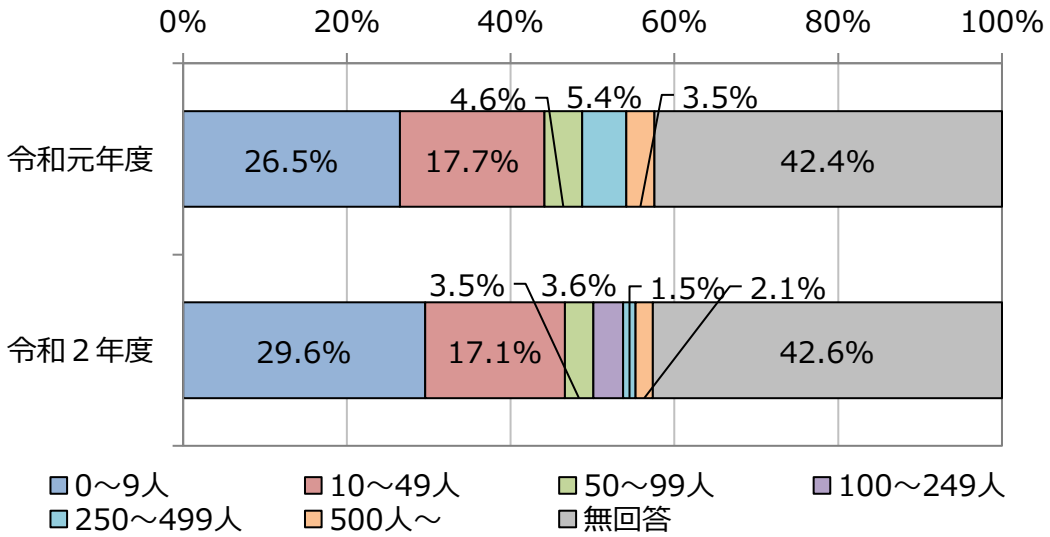
図表 2-74　子育て支援事業の年間の利用者数
一時預かり（訪問）（n=57）



（５）保護者と子育て支援者の連絡・調整

「保護者と子育て支援者の連絡・調整」の利用者数は、「令和元年度」と「令和２年度」で大きな変化はない。

図表 2-75　子育て支援事業の年間の利用者数
保護者と子育て支援者の連絡・調整（n=521）

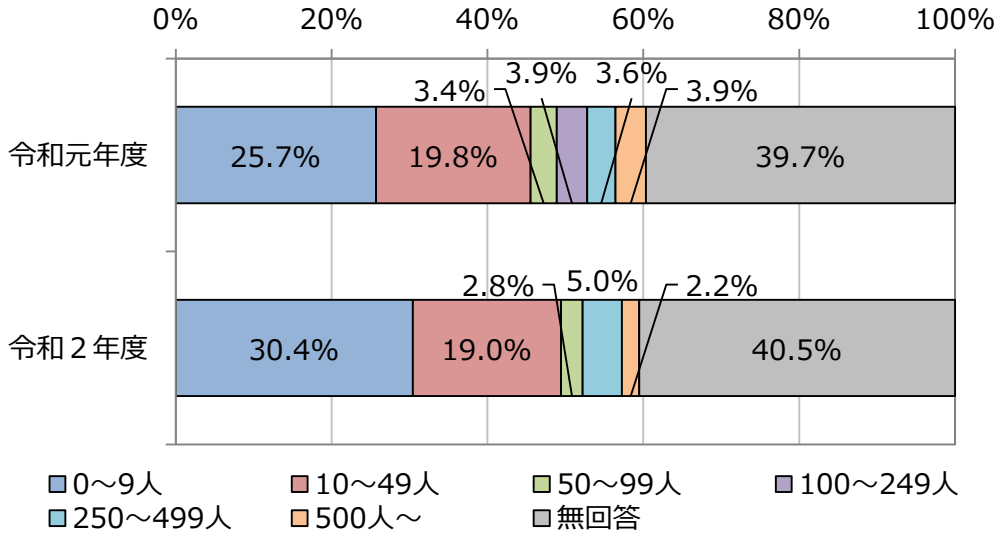


（6）子育て支援者の連絡・調整
（7）その他

（6）子育て支援者に対する情報提供・助言

「子育て支援者に対する情報提供・助言」の利用者数は、の利用者数は、「令和元年度」と「令和２年度」で大きな変化はない。

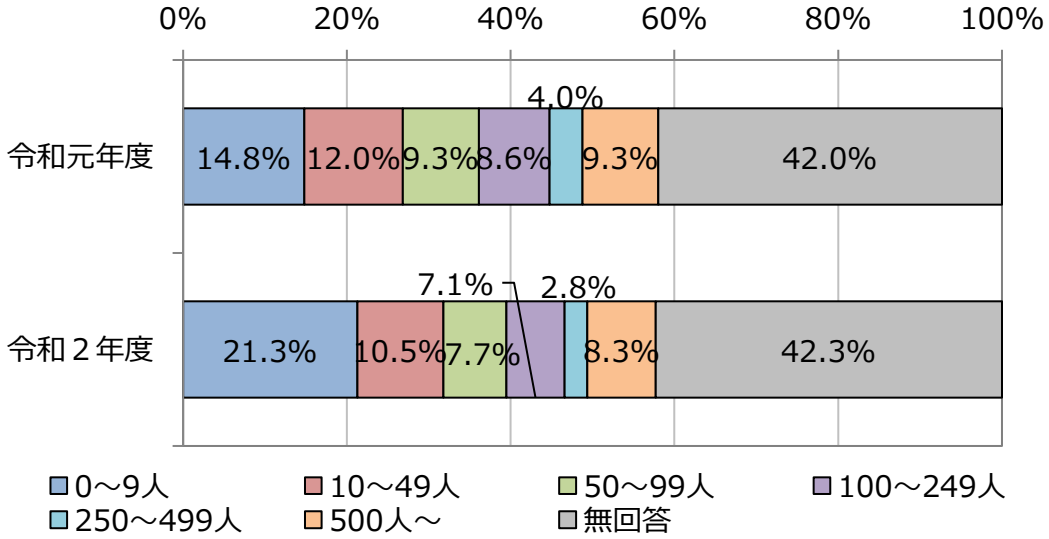
図表 2-76　子育て支援事業の年間の利用者数
子育て支援者に対する情報提供・助言（n=358）



（7）その他

「その他」の利用者数は、「令和元年度」と「令和２年度」で大きな変化はない。

図表 2-77　子育て支援事業の年間の利用者数
その他（n=324）

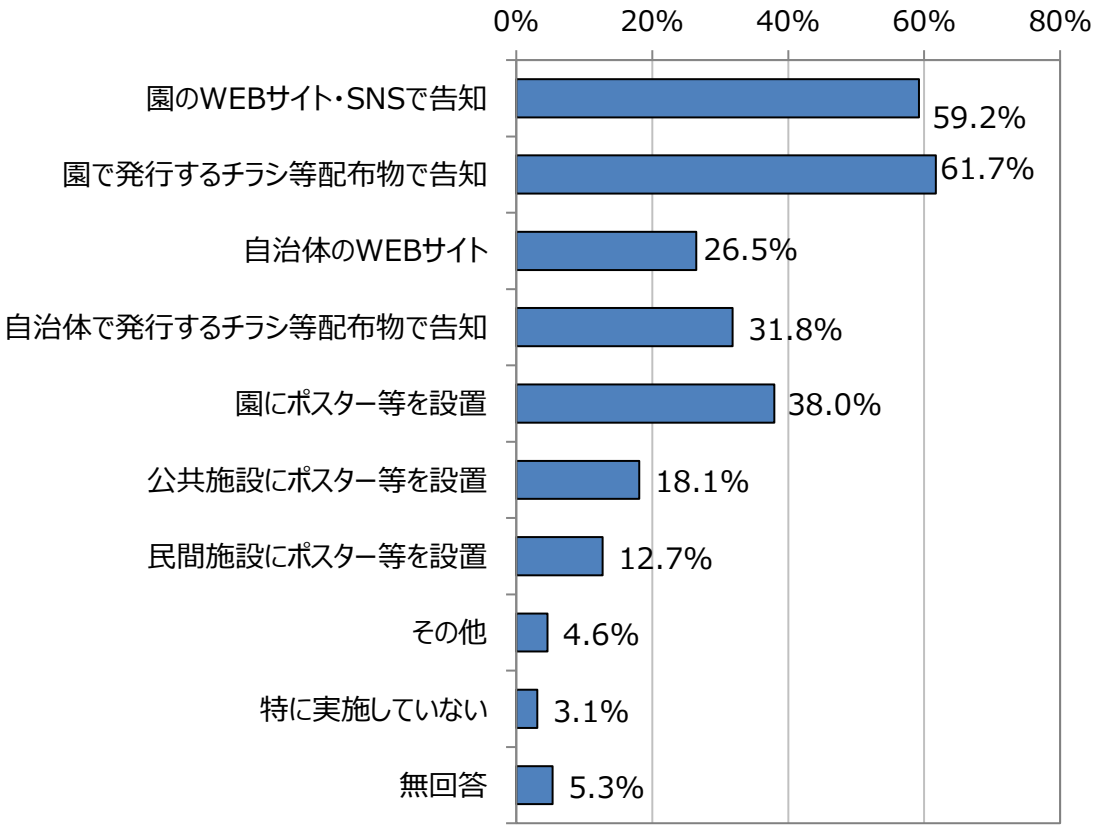


2－4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

2－4－1　園の子育て支援事業の広報方法

園の子育て支援事業の広報方法を尋ねたところ、「子育て支援事業の広報方法」は「園で発行するチラシ等配布物で告知」が 61.7%で最も割合が高く、次いで「園の WEB サイト・SNS で告知」が 59.2%と割合が高い。

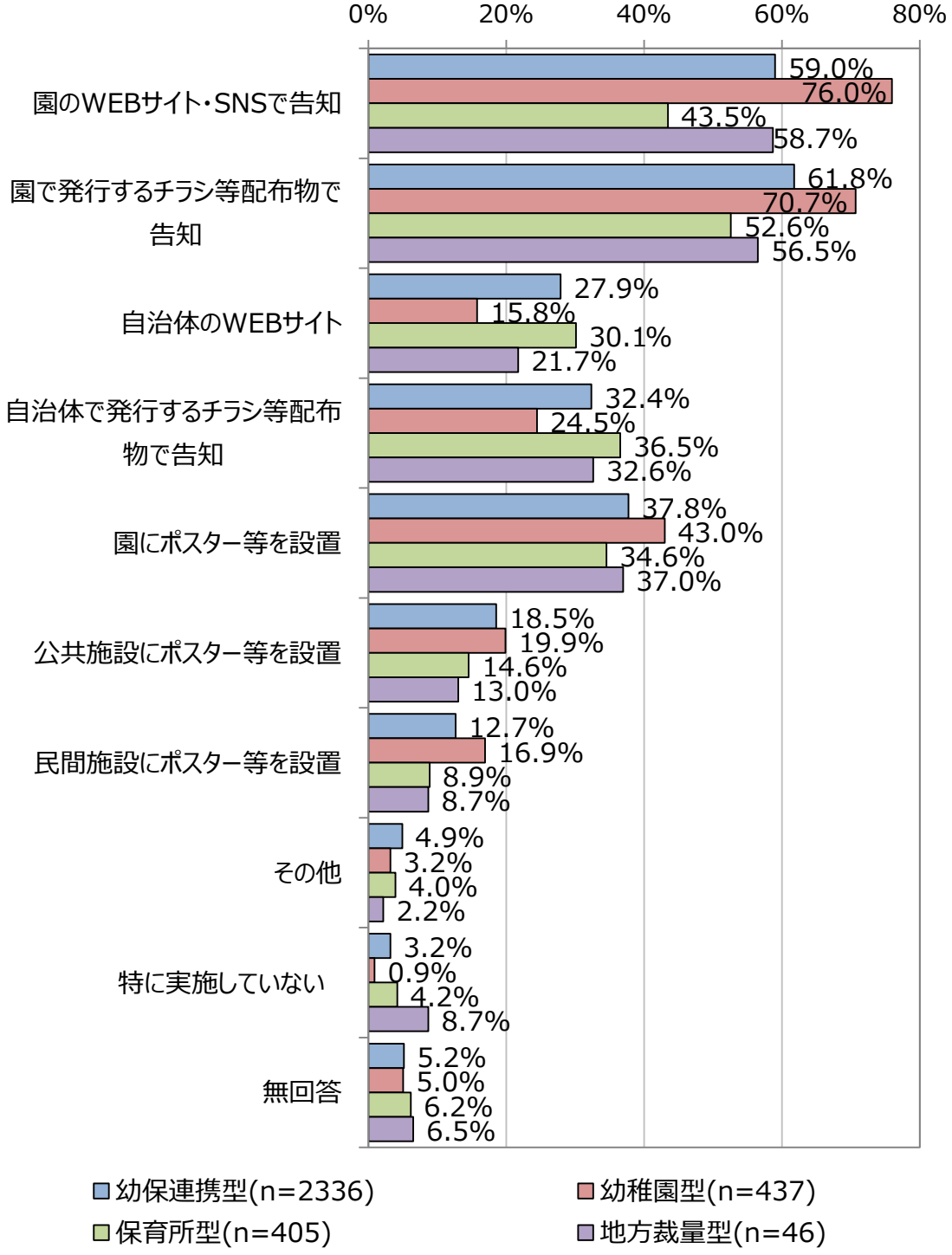
図表 2-78　子育て支援事業の広報方法(複数回答)（n=3,254）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

類型別に、子育て支援事業の広報方法をみると、幼稚園型で「園の WEB サイト・SNS で告知」「園で発行するチラシ等配布物で告知」の割合が、他より高い。

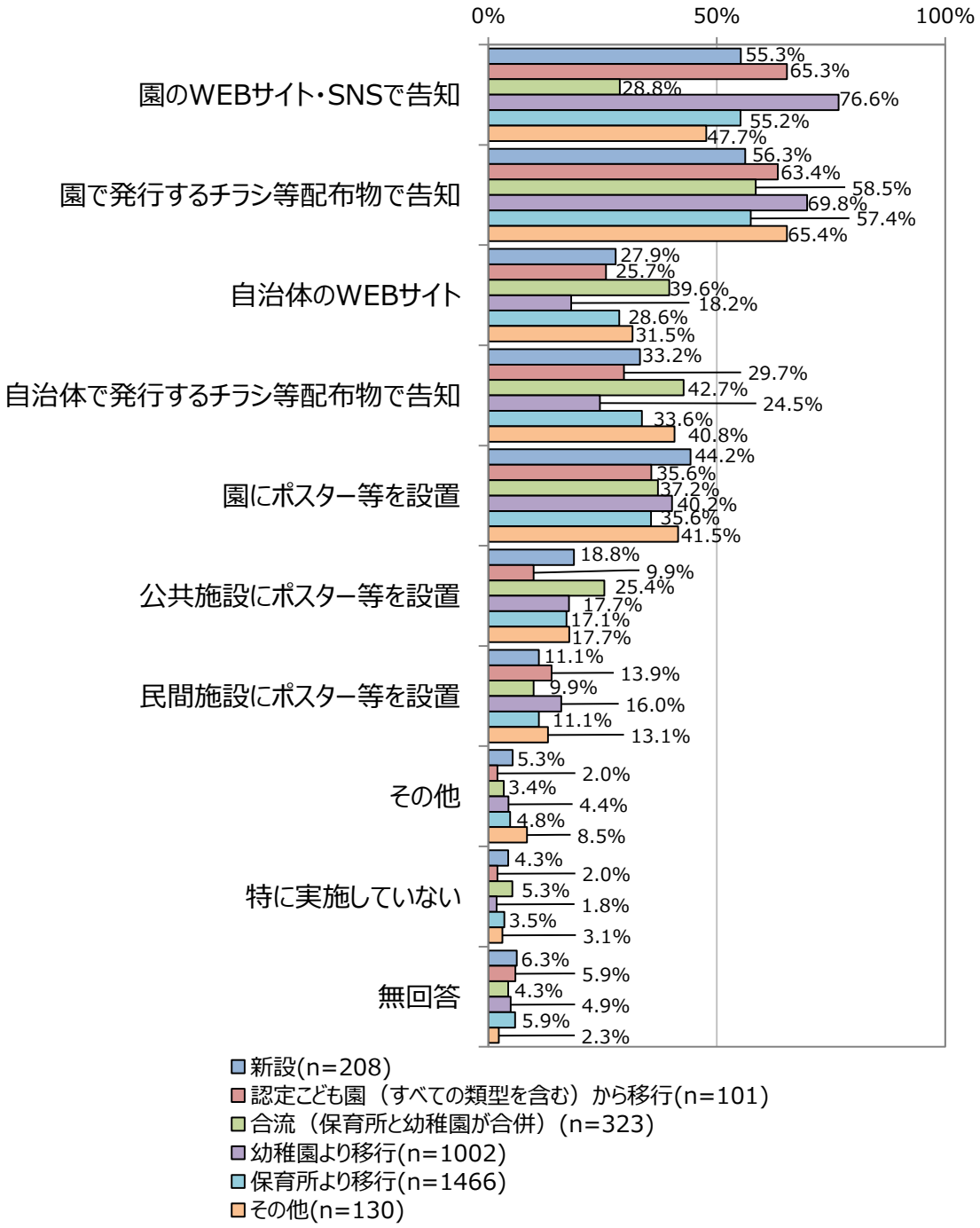
図表 2-79　類型別　子育て支援事業の広報方法（複数回答）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

開設の経緯別に、子育て支援事業の広報方法をみると、幼稚園より移行した認定こども園で「園の WEB サイト・SNS で告知」の割合が他より高い。

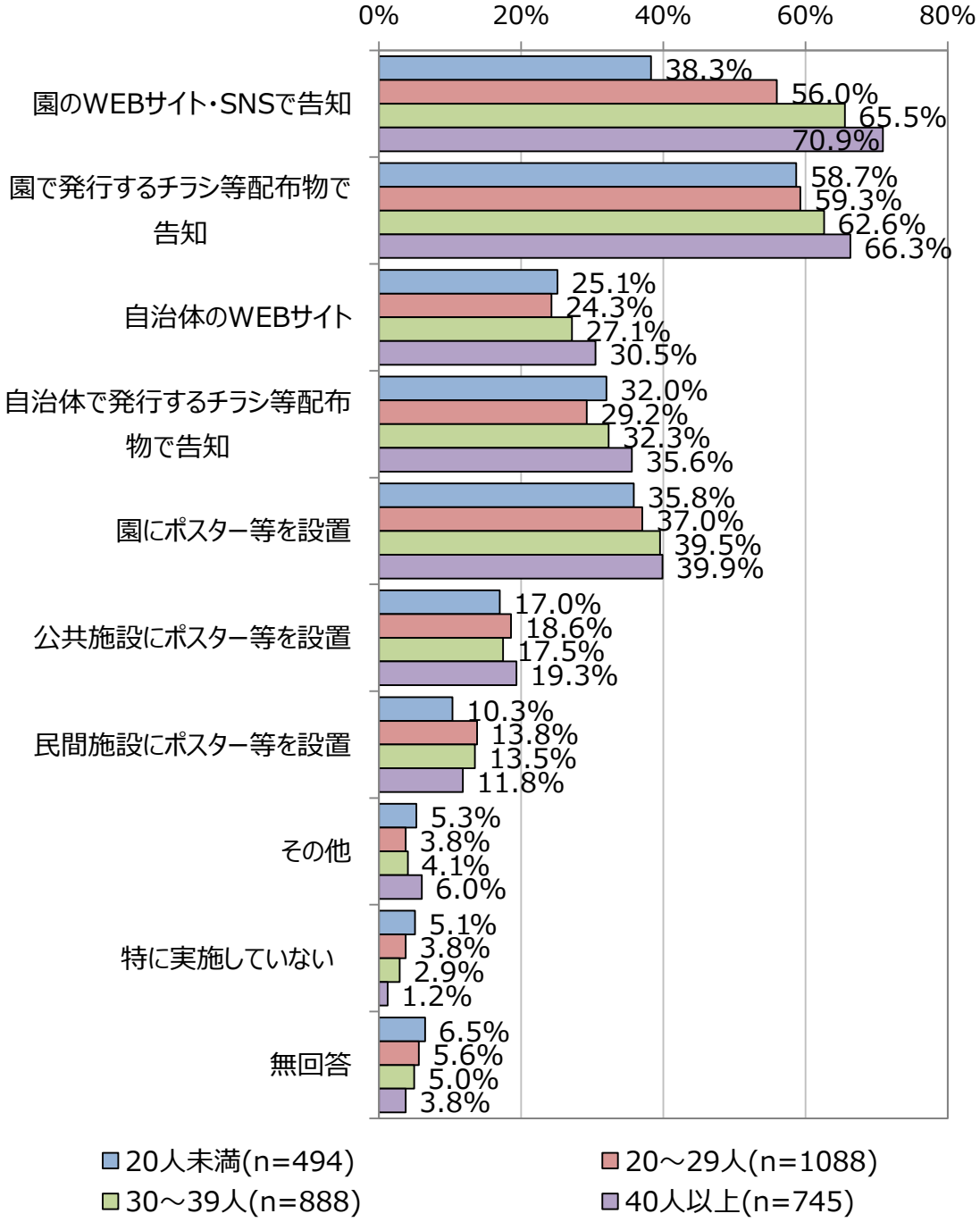
図表 2-80　開設の経緯別　子育て支援事業の広報方法（複数回答）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

職員人数別に、子育て支援事業の広報方法をみると、職員人数が多いほど、園の WEB サイト・SNS で告知」「園で発行するチラシ等配布物で告知」など様々な広報を行っている割合が高い。

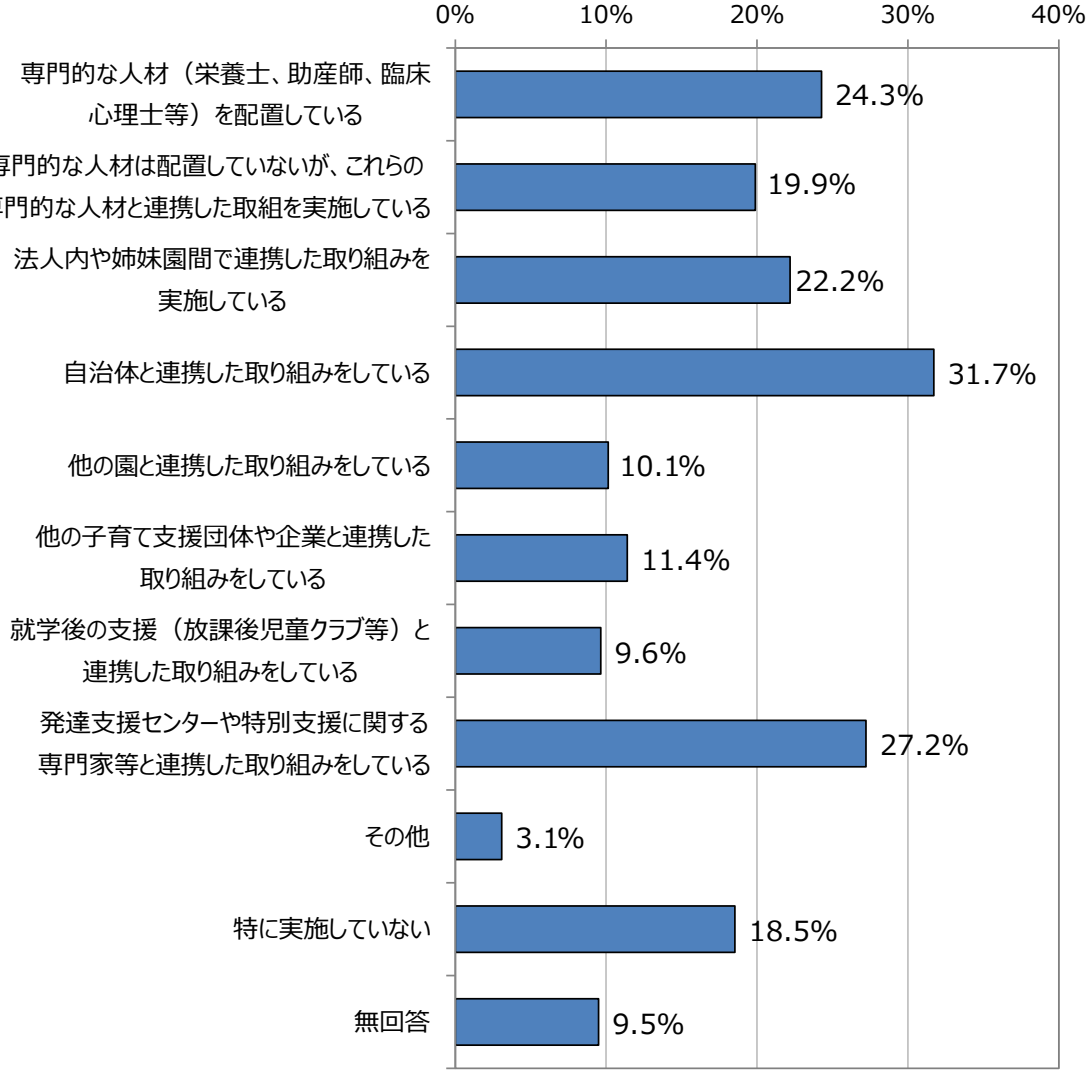
図表 2-81　職員人数別　子育て支援事業の広報方法（複数回答）



2－4－2　子育て支援事業の特徴的な取組

子育て支援事業の特徴的な取組として、「自治体と連携した取り組みをしている」が31.7%と最も割合が高い。次いで、「発達支援センターや特別支援に関する専門家等と連携した取り組みをしている」（27.2%）、「専門的な人材（栄養士、助産師、臨床心理士等）を配置している」（24.3%）といった専門分野との連携を持っている項目の割合が高い。

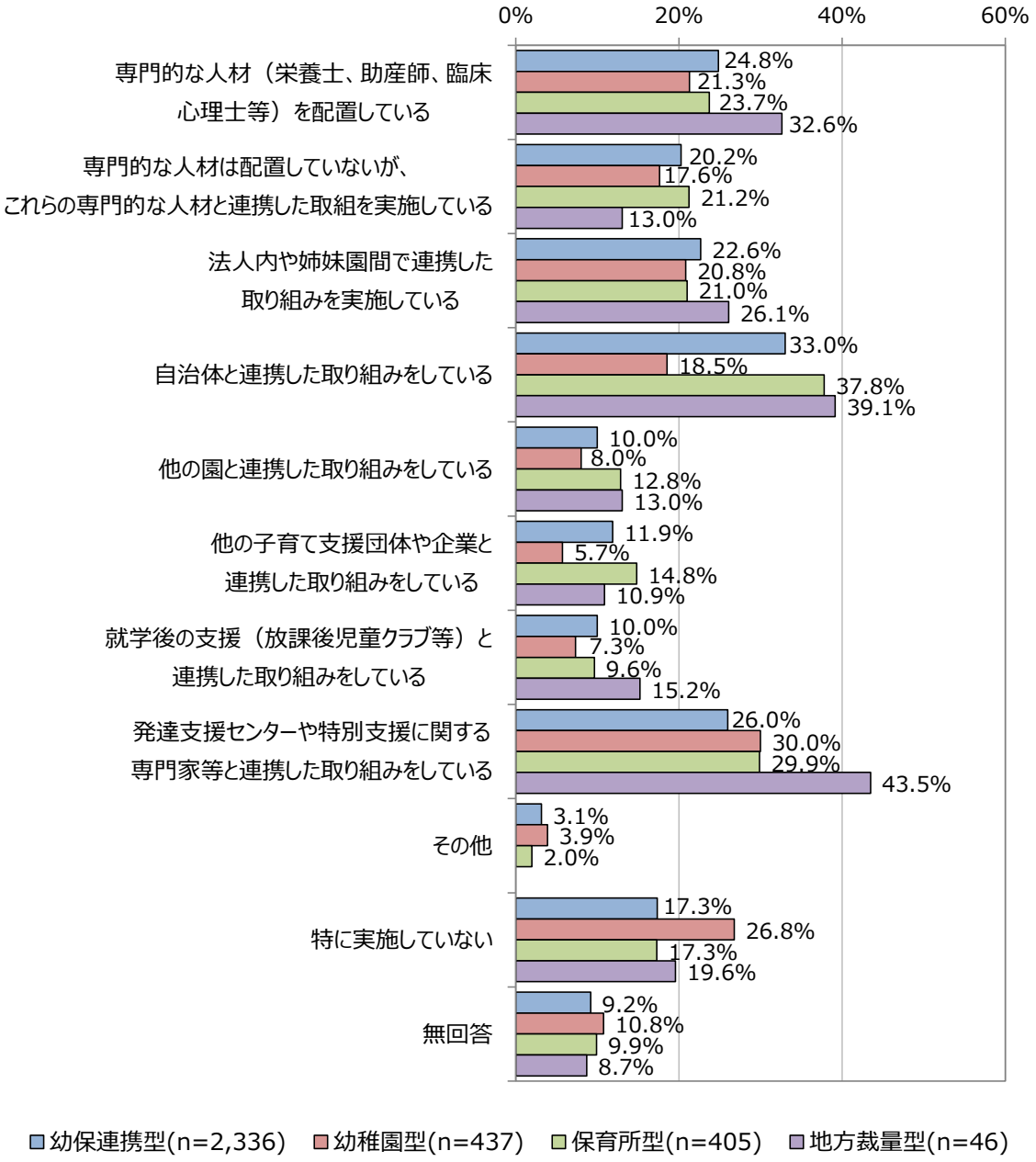
図表 2-82　子育て支援事業の特徴的な取組(複数回答)（n=3,254）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

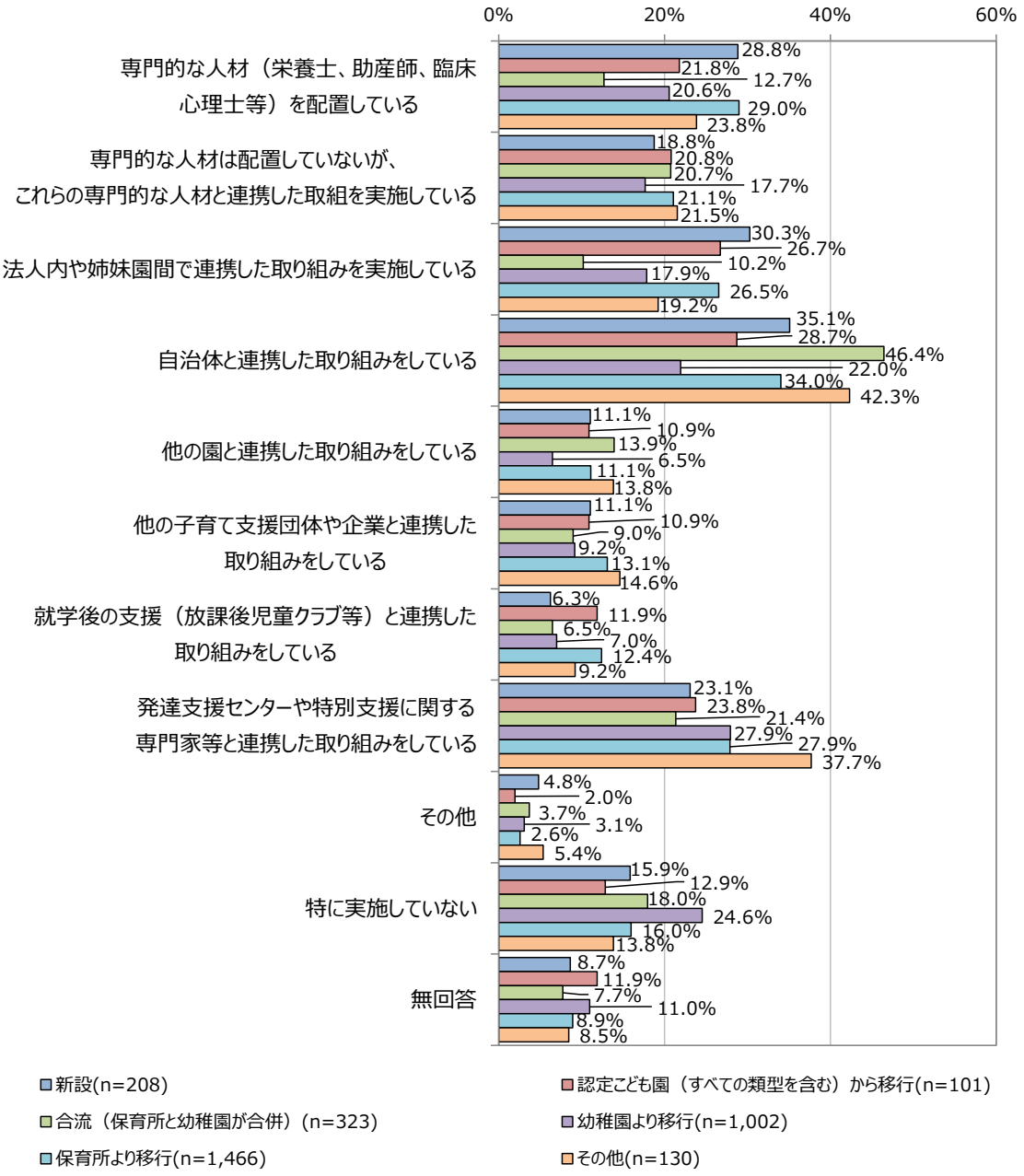
類型別に、子育て支援事業の特徴的な取組をみると、幼稚園型で「自治体と連携した取り組みを実施している」割合が他より低く、「特に実施していない」割合が他より高い。

図表 2-83　類型別　子育て支援事業の特徴的な取組（複数回答）



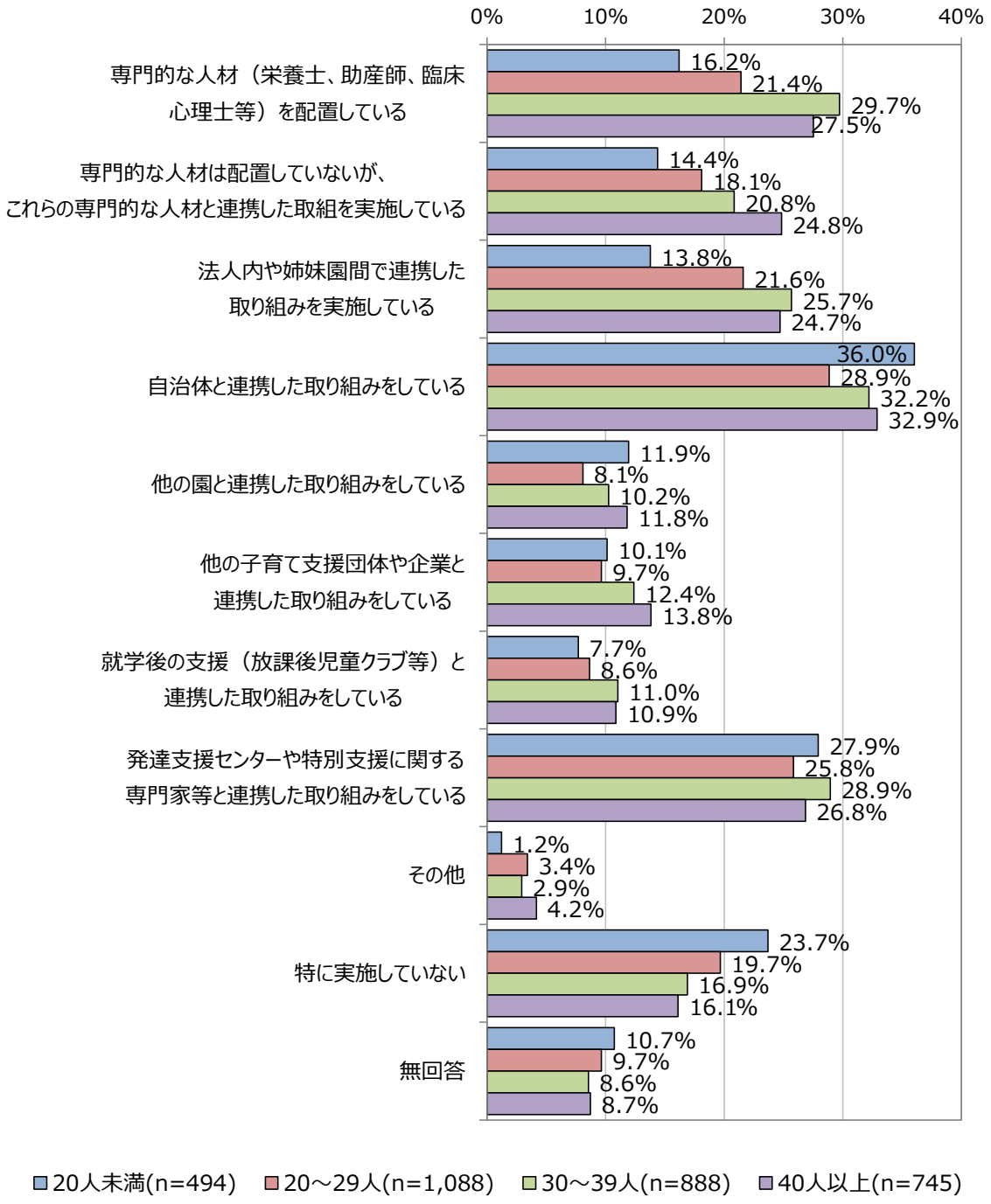
開設の経緯別に、子育て支援事業の特徴的な取組をみると、幼稚園より移行した認定こども園で「自治体と連携した取り組みを実施している」割合が他より低く、「特に実施していない」割合が他より高い。一方、合流（保育所と幼稚園が合併）では、「自治体と連携した取り組みを実施している」割合が高い。

図表 2-84　開設の経緯別　子育て支援事業の特徴的な取組（複数回答）



職員人数別に、子育て支援者に対する情報提供・助言の主な対象者をみると、職員人数 20 人未満の認定こども園では、「自治体と連携した取組」を行う割合が高い一方で、「特に実施していない」割合も高い。

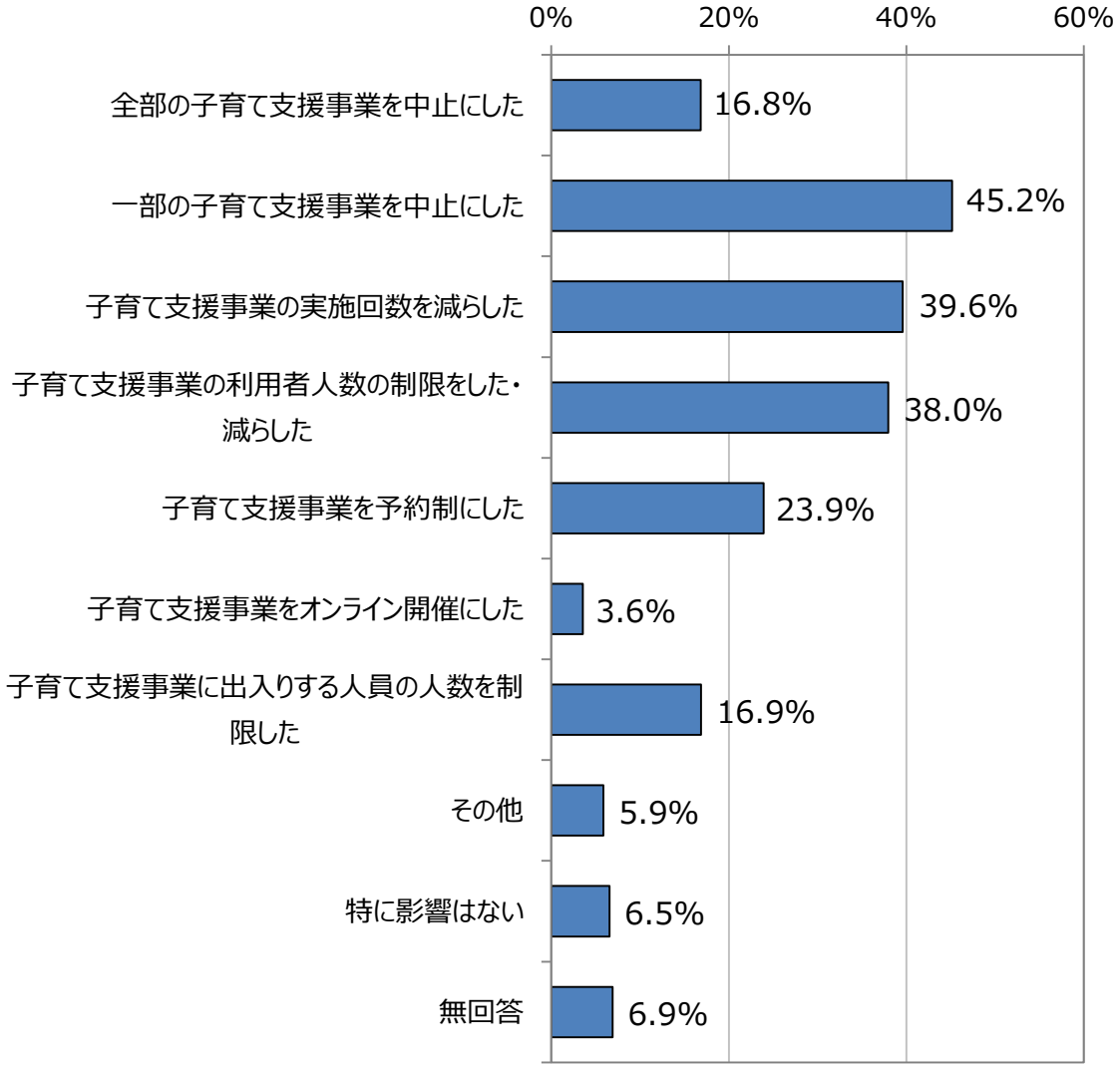
図表 2-85　職員人数別　子育て支援事業の特徴的な取組（複数回答）



2－4－3　新型コロナウイルス感染症の影響を受けての対応

「新型コロナウイルス感染症の影響を受けての対応」では、「一部の子育て支援事業を中止した」が 45.2%で最も割合が高い。次いで「子育て支援事業の実施回数を減らした」（39.6%）、「子育て支援事業の利用者人数の制限をした・減らした」（38.0%）の割合が高い。

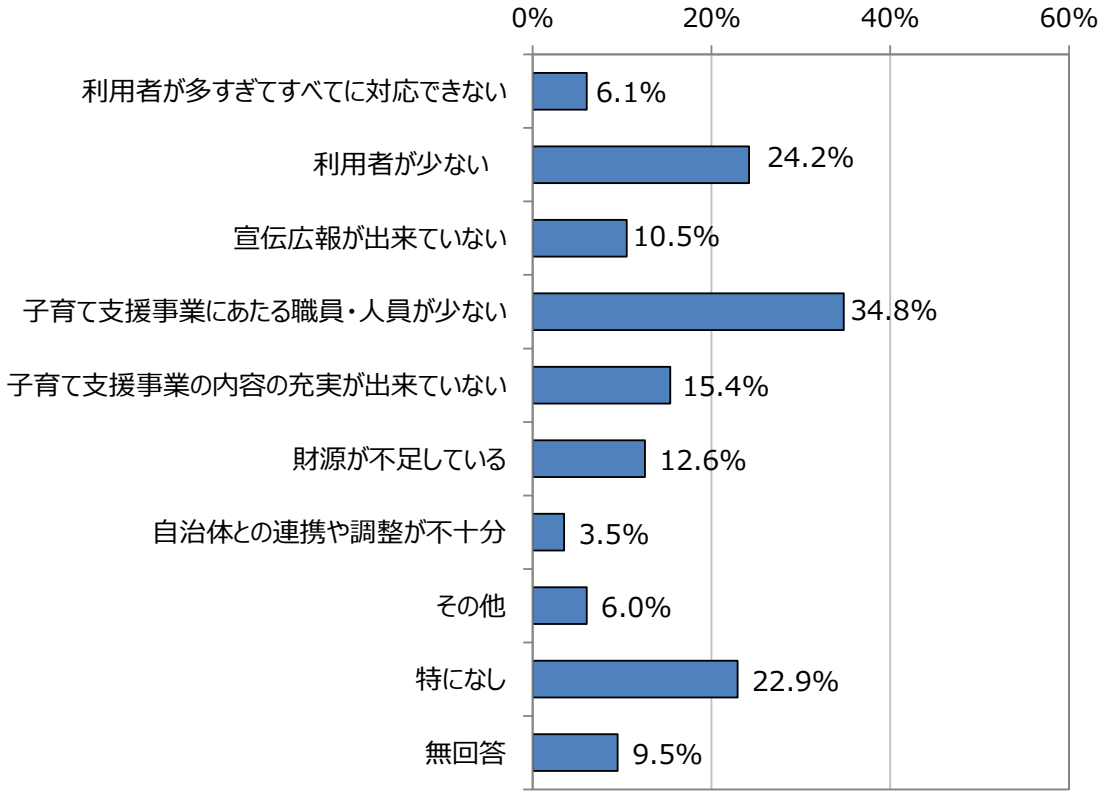
図表 2-86　新型コロナウイルス感染症の影響を受けての対応（複数回答）（n=3,254）



2－4－4　子育て支援事業の課題

子育て支援事業の課題について、最も割合が高かったのは「子育て支援事業にあたる職員・人員が少ない」の 34.8%、次いで「利用者が少ない」が 24.2%の割合が高い。「特になし」は、22.9%となっている。

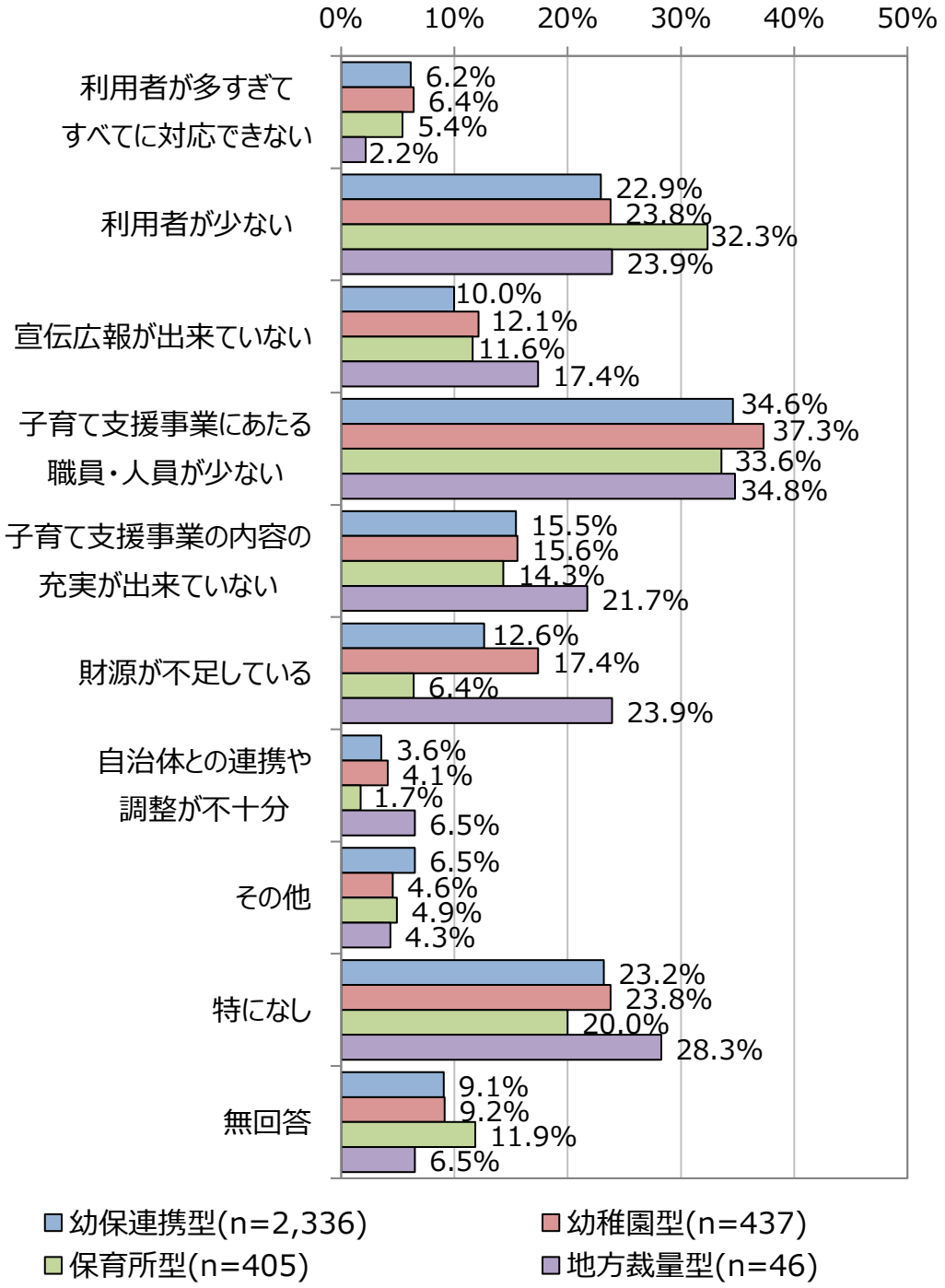
図表 2-87　子育て支援事業での課題(複数回答)　(n=3,254)



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

類型別に、子育て支援事業での課題をみると、保育園型で「利用者が少ない」の割合が、他より高い。

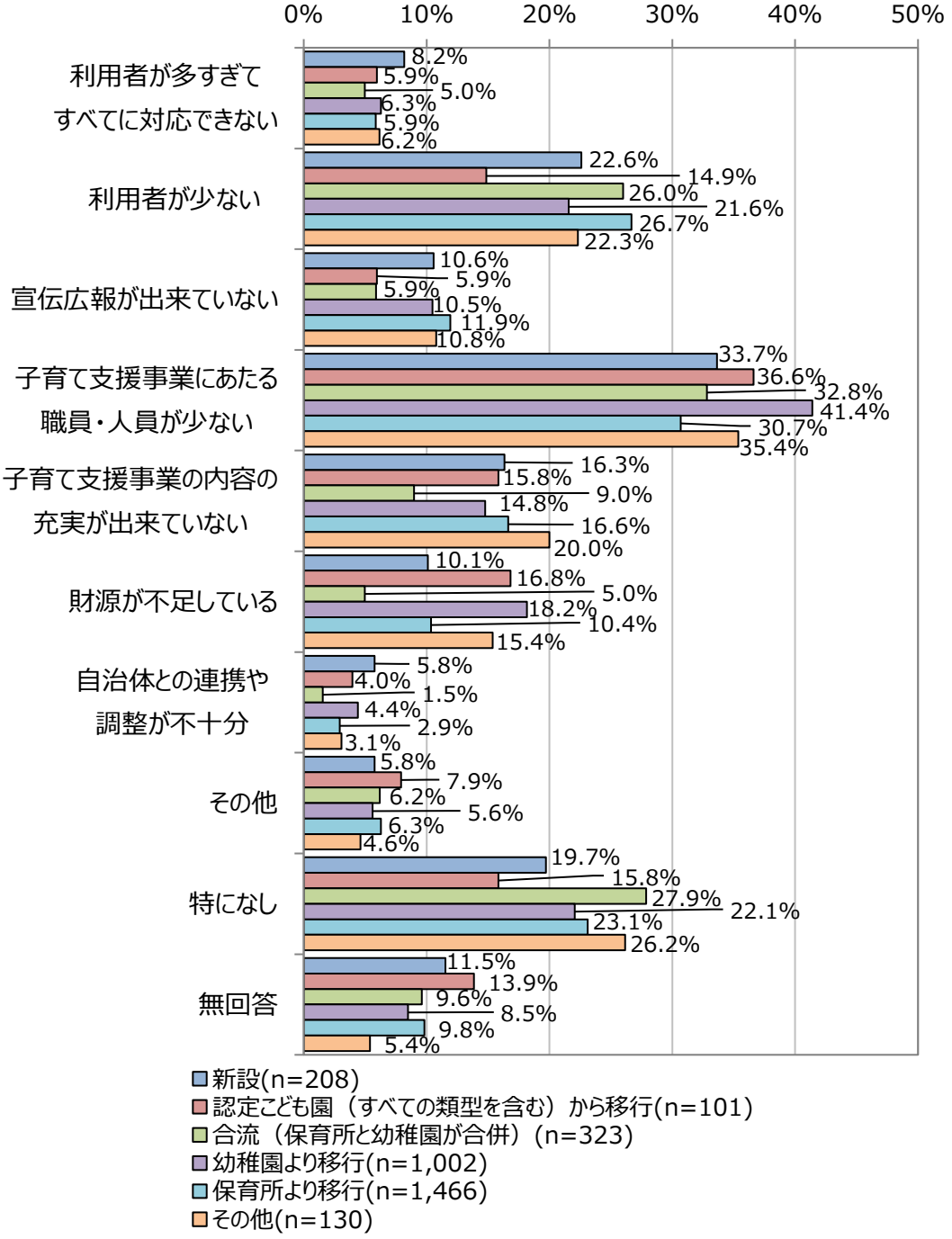
図表 2-88　類型別　子育て支援事業での課題（複数回答）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

開設の経緯別に、子育て支援事業での課題をみると、幼稚園より移行した認定こども園で「子育て支援事業にあたる職員・人員が少ない」の割合が他より高い。

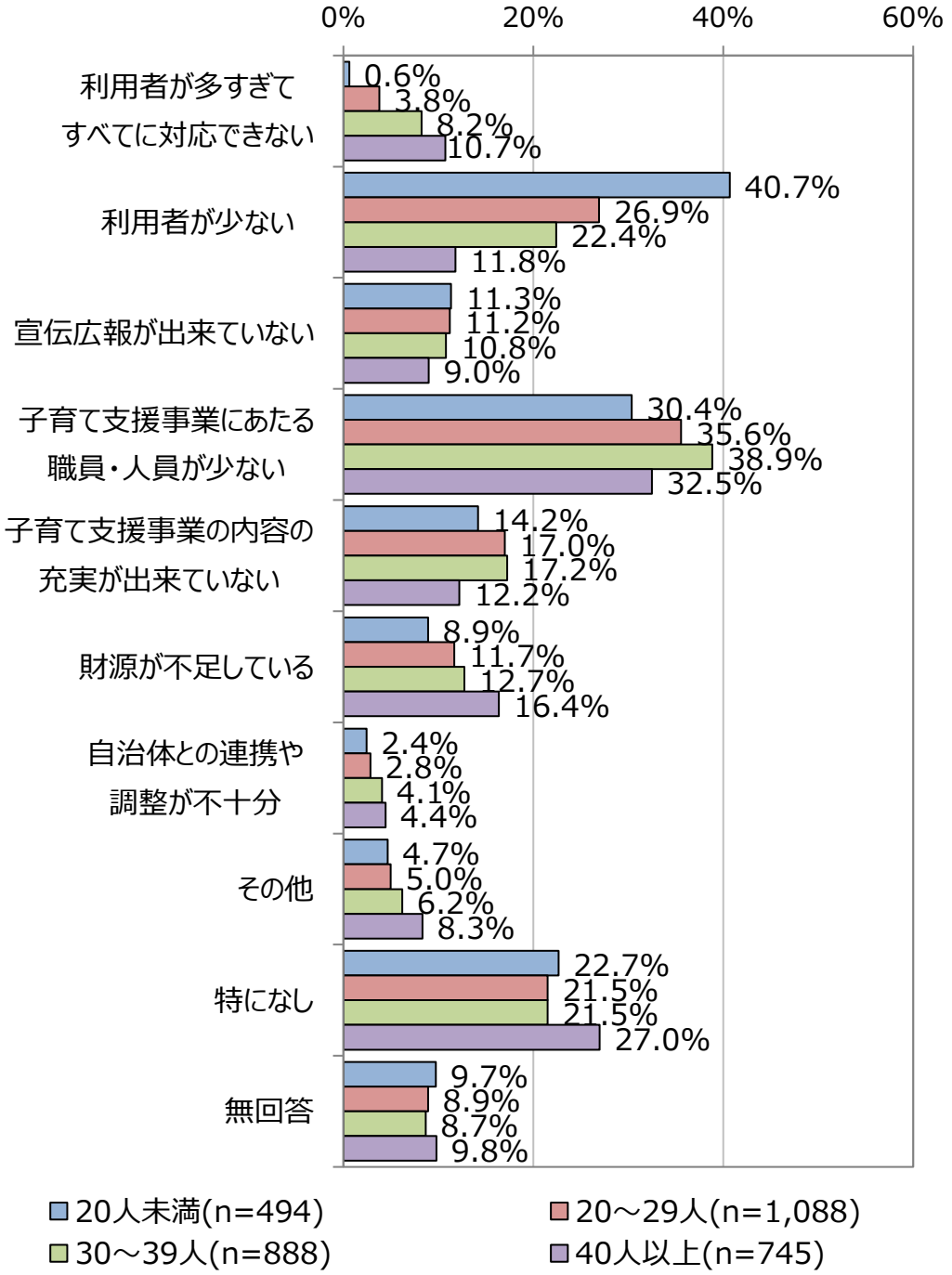
図表 2-89　開設の経緯別　子育て支援事業での課題（複数回答）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

職員人数別に、子育て支援事業での課題をみると、職員人数 20 人未満の認定こども園では、「利用者が少ない」の割合が 40.7%と高い。

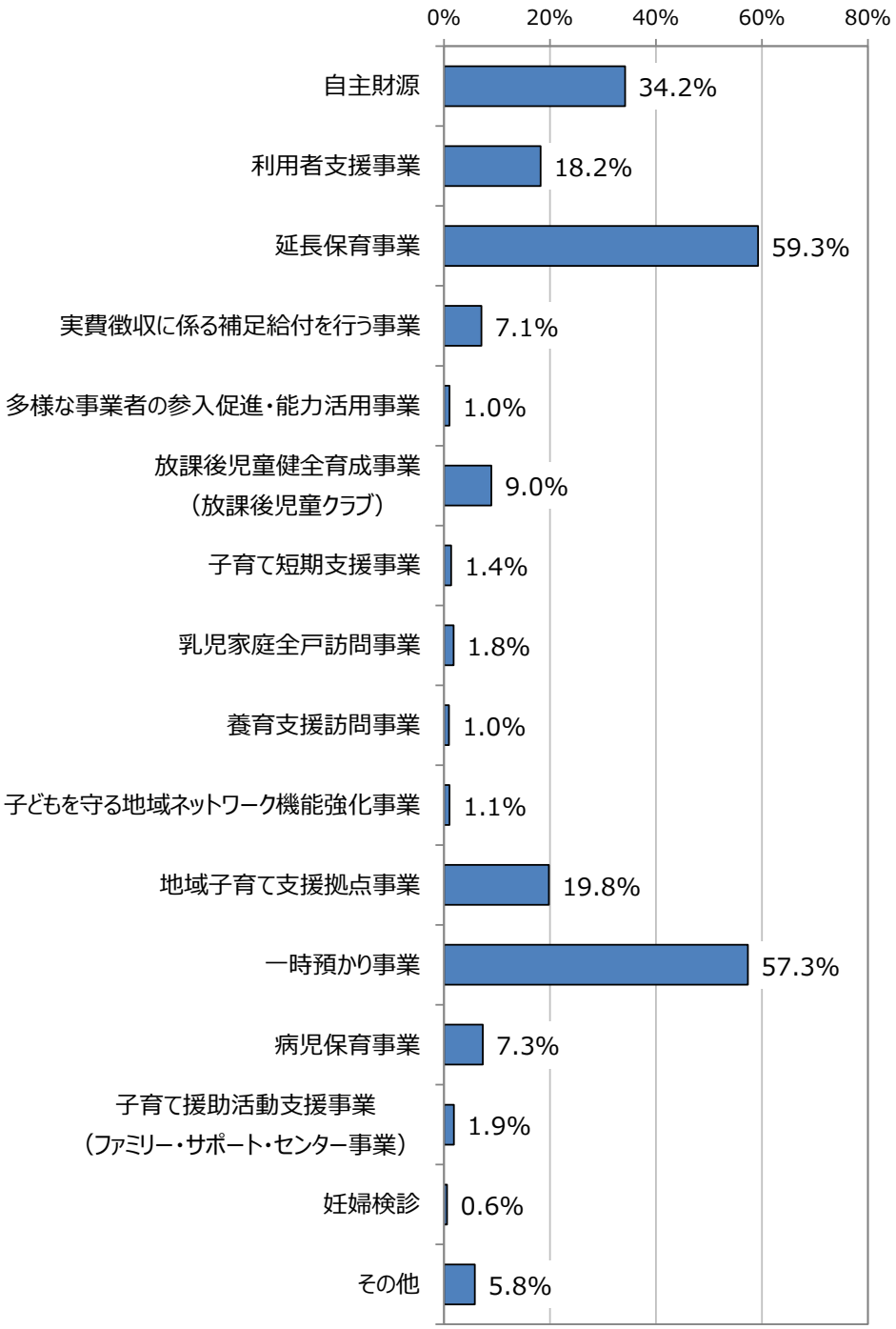
図表 2-90　職員人数別　子育て支援事業での課題（複数回答）



2－4－5　園の子育て支援事業の財源

子育て支援事業の財源は「延長保育事業」が 59.3%で最も割合が高く、次いで「一時預かり事業」が 57.3%と割合が高い。

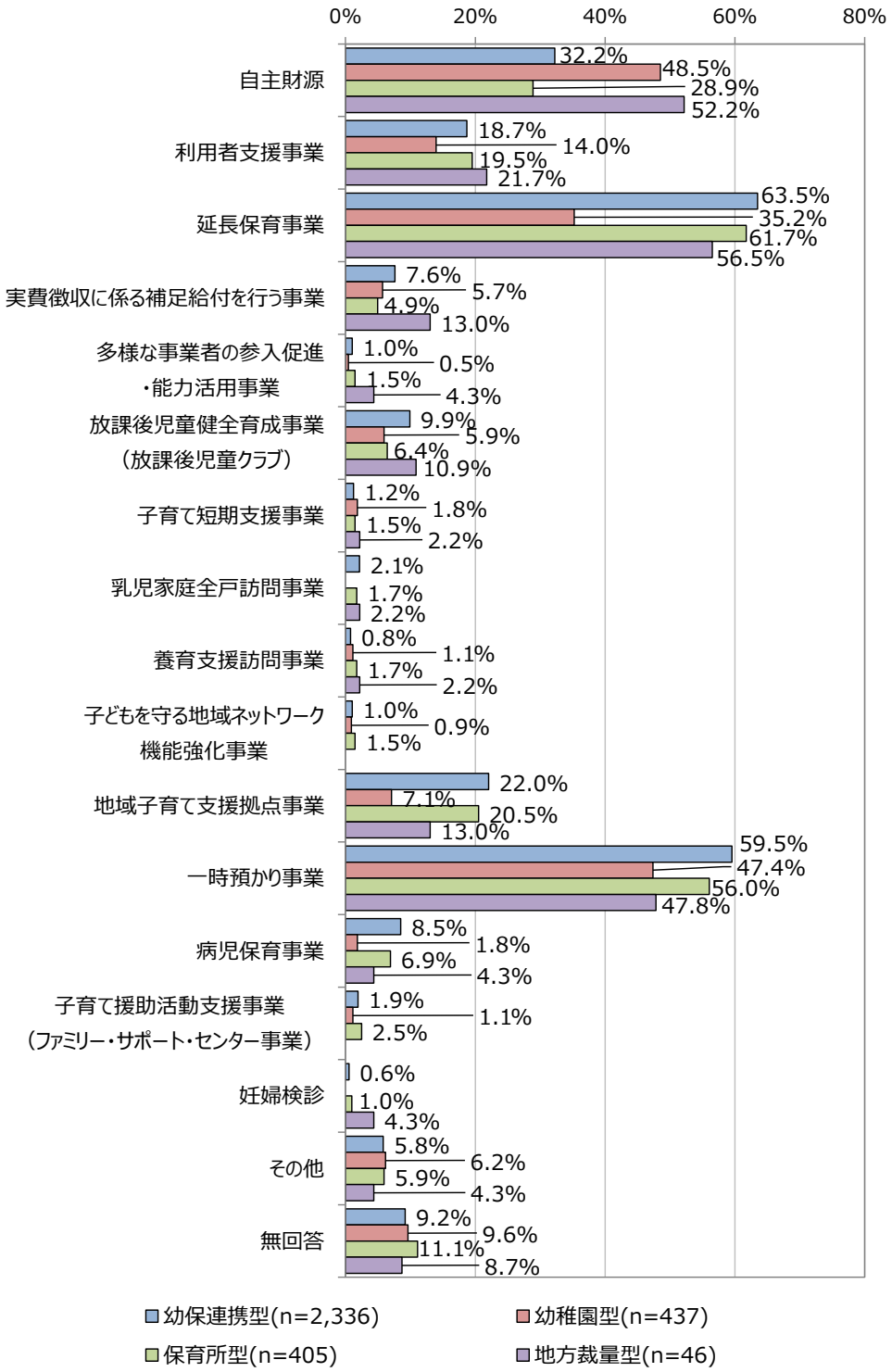
図表 2-91　子育て支援事業の財源(複数回答)　(n=3,254)



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

類型別に、子育て支援事業の財源をみると、幼稚園型で「延長保育事業」の割合が他より低く、「自主財源」の割合が高い。

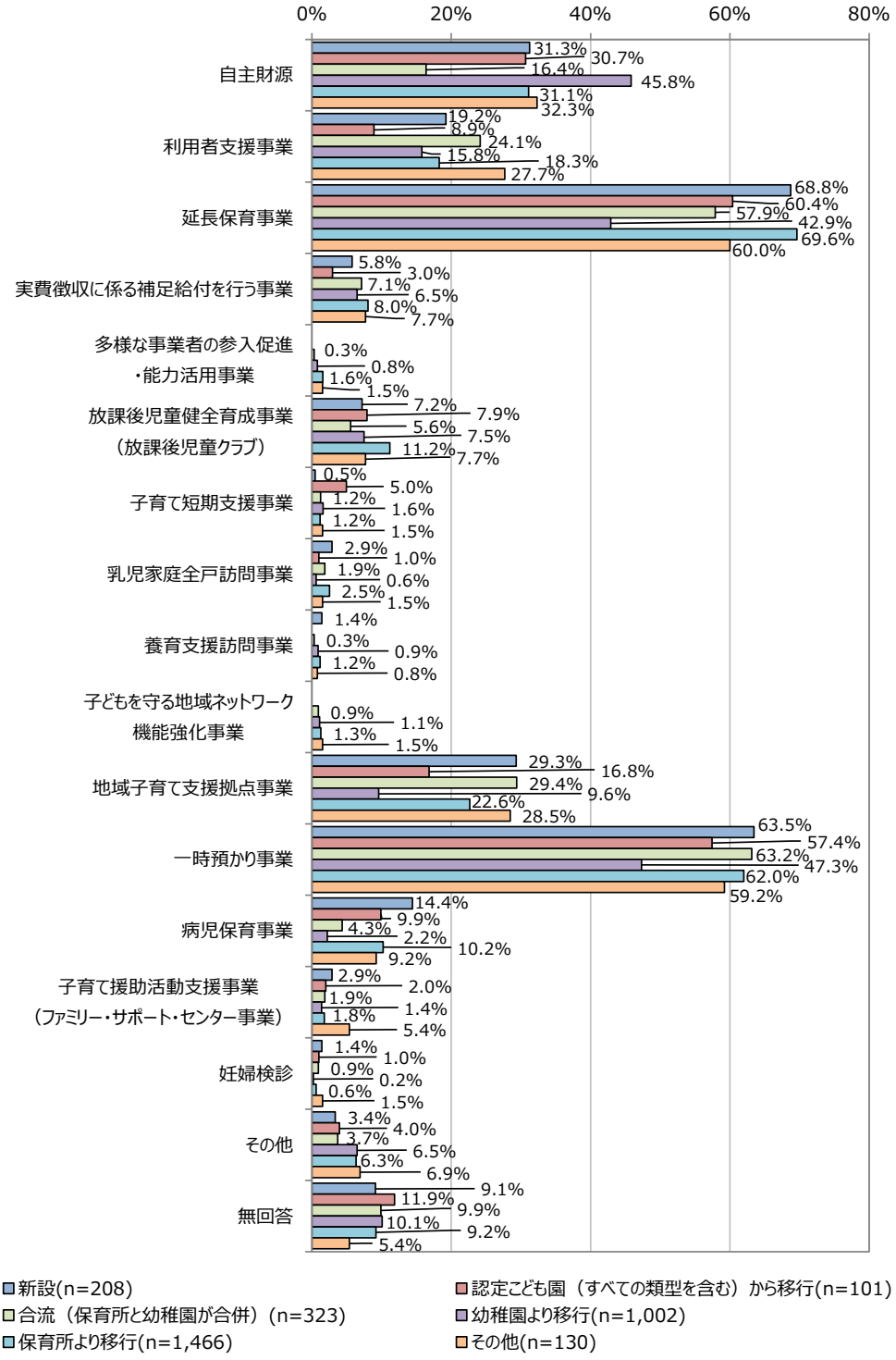
図表 2-92　類型別　子育て支援事業の財源（複数回答）



2-4　子育て支援事業の全体的な実施方法や課題

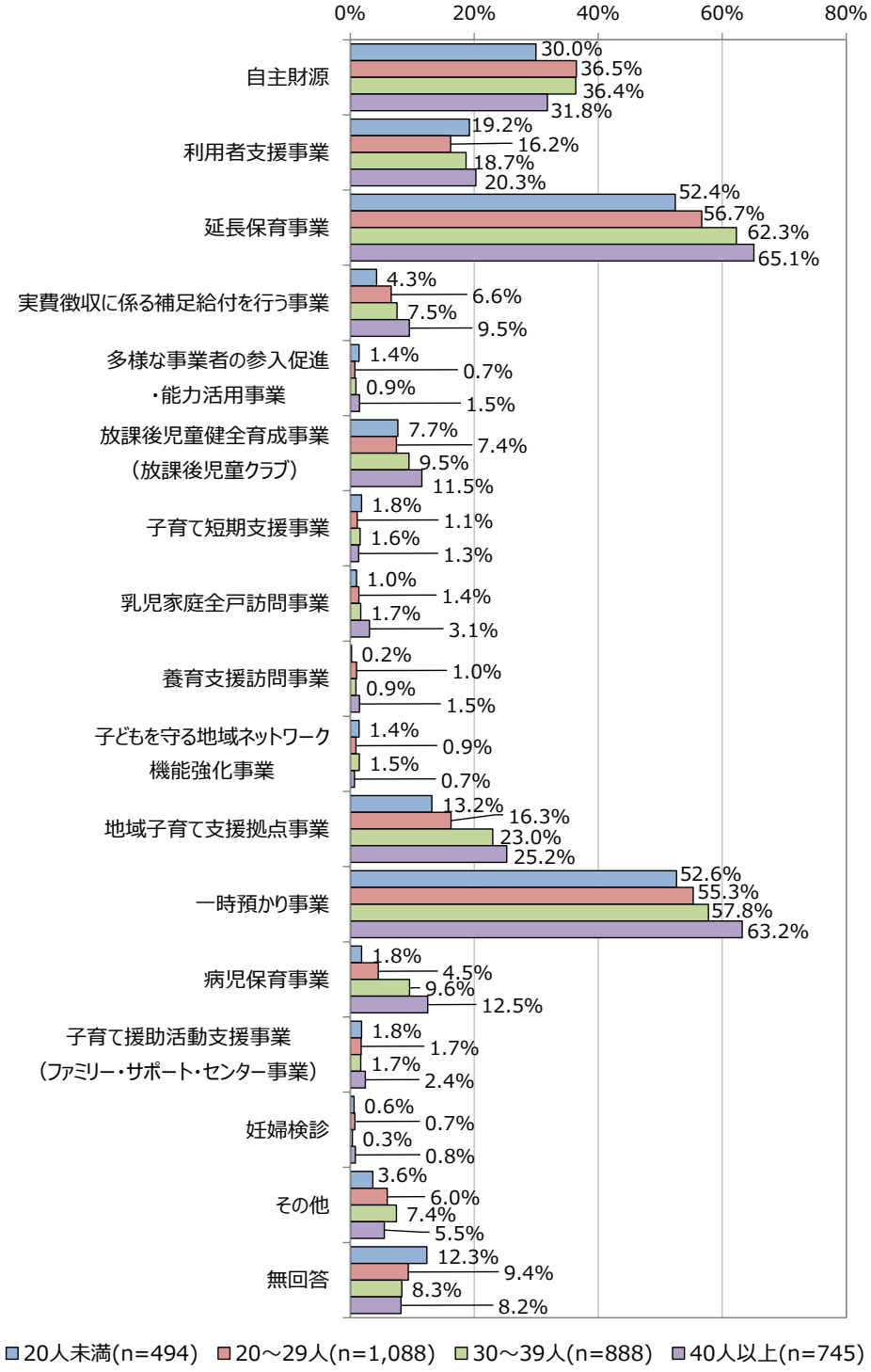
開設の経緯別に、子育て支援事業の財源をみると、幼稚園より移行した認定こども園で「自主財源」の割合が他より高く、「延長保育事業」の割合が低い。

図表 2-93　開設の経緯別　子育て支援事業の財源（複数回答）



職員人数別に、子育て支援事業の財源をみると、職員人数が多いほど、「延長保育事業」「一時預かり事業」の利用割合が高くなる。

図表 2-94　職員人数別　子育て支援事業の財源（複数回答）

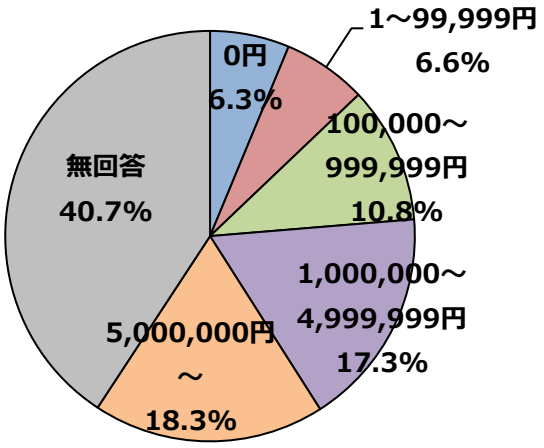


2－4－6　子育て支援事業に年間でかかる費用

（1）子育て支援事業の年間費用

子育て支援事業の年間費用は「5,000,000 円～」が 18.3%で最も割合が高い。次いで、「1,000,000～4,999,999 円」が 17.3%と割合が高い。平均では、5,661,634 円となっている。

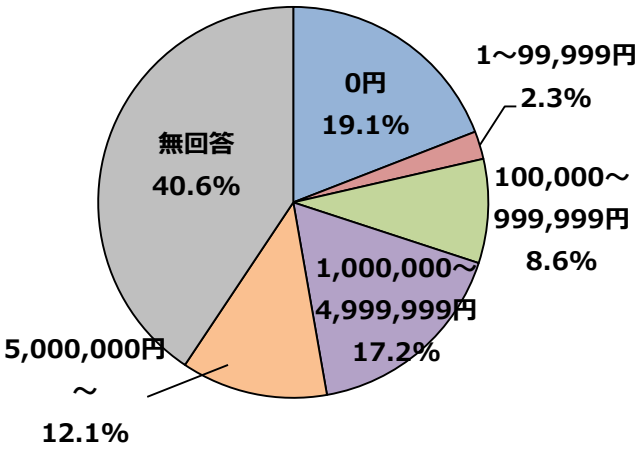
図表 2-95　子育て支援事業の年間費用（2020 年度実績）（n=3,254）



（2）子育て支援事業の年間費用のうち、自治体からの委託費・補助金等

子育て支援事業の年間費用のうち、自治体からの委託費・補助金等の額は、「0 円」が 19.1%と最も割合が高い。次いで「1,000,000～4,999,999 円」（17.2%）、「5,000,000 円～」（12.1%）の割合が高い。平均は 3,631,508 円である。

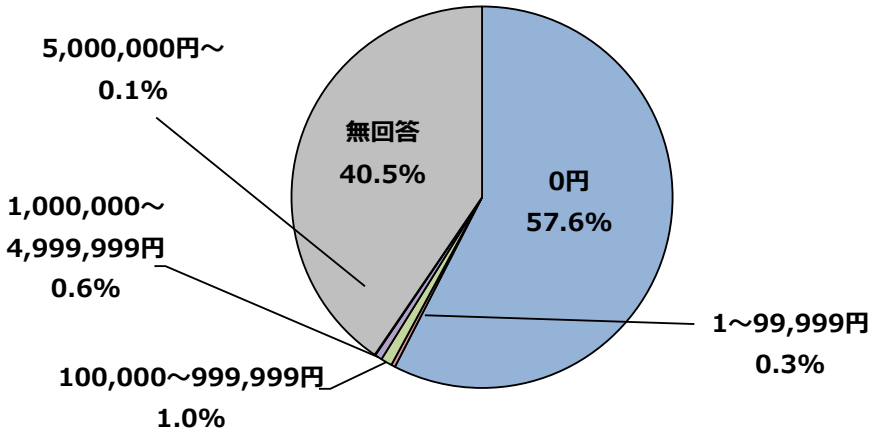
図表 2-96　子育て支援事業の年間費用（2020 年度実績）
うち、自治体からの委託費・補助金等（n=3,254）



（3）子育て支援事業の年間費用のうち、民間等からの助成金の額

子育て支援事業の年間費用のうち、民間等からの助成金の額は、「0 円」が 57.6%で最も割合が高い。平均は 32,444 円である。

図表 2-97　子育て支援事業の年間費用（2020 年度実績）
うち、民間等からの助成金の額（n=3,254）

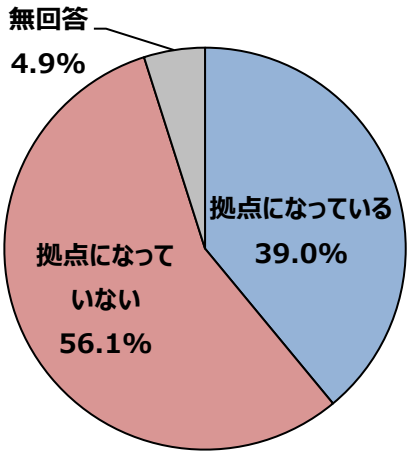


2－5　地域子育て支援拠点事業との関係

2－5－1　園の子育て支援事業の実施状況（地域子育て支援拠点事業）

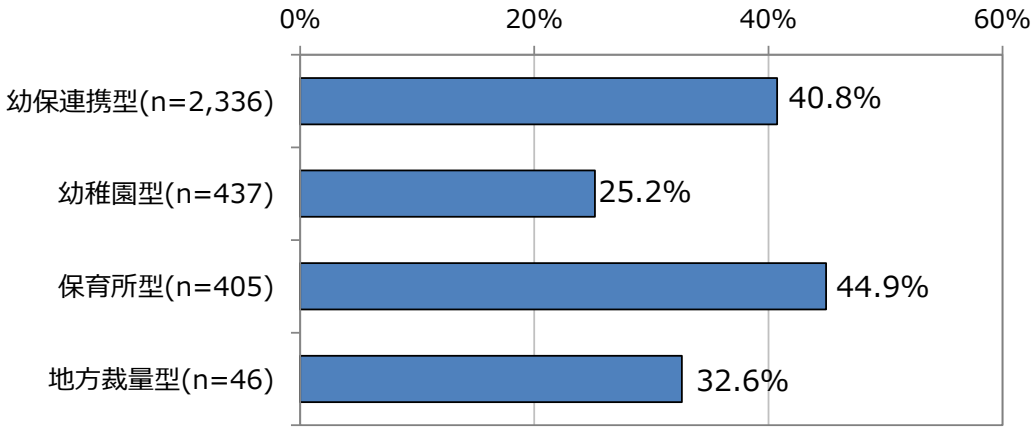
園が地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっているかどうかについては、「拠点になっていない」が 56.1%と半数を超えている。[2]

図表 2-98　地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっているか（n=3,254）



類型別に、地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合をみると、保育所型は 44.9%と支援拠点になっている割合が高く、幼稚園型で 25.2%と割合が低い。

図表 2-99　類型別　地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合
（複数回答）

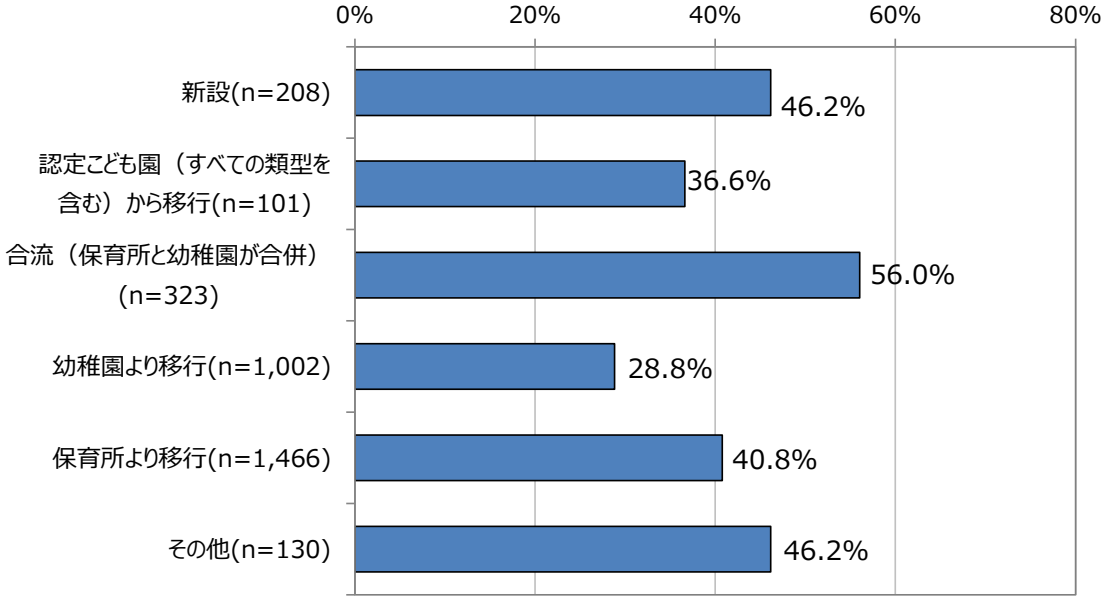


[2] 図表 2-91　子育て支援事業の財源(P74)では、地域子育て支援拠点事業の割合は 19.8%と図表 2-98 の 39.0%より低い。回答者の中には、「市町村事業の 13 事業」の地域子育て支援拠点事業だけでなく、自園が「地域の子育て支援の拠点として活動している」と考え回答した割合も含まれていると考えられる。
認定こども園の認識を表す参考として、そのまま掲載した。

2-5　地域子育て支援拠点事業との関係

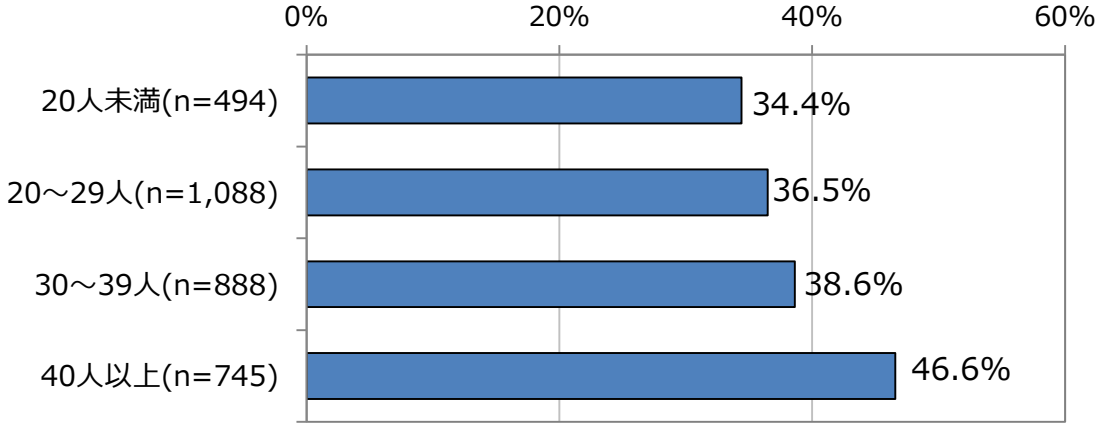
開設の経緯別に、地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合をみると、合流（保育所と幼稚園が合併）で 56.0%と割合が高く、幼稚園より移行した認定こども園で 28.8%と割合が低い。

図表 2-100　開設の経緯別　地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合（複数回答）



職員人数別に、地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合をみると、職員人数 40 人未満の認定こども園で 46.6%と割合が高い。

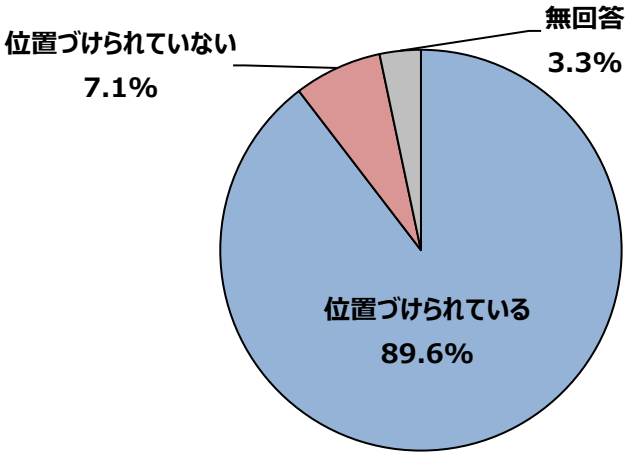
図表 2-101　職員人数別　地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっている割合（複数回答）



2－5－2　園の子育て支援事業との関係

地域子育て支援拠点になっている認定こども園に、地域子育て支援拠点事業との関係について尋ねたところ、約 9 割が園の認可申請時の子育て支援事業に「位置づけられている」と回答している。

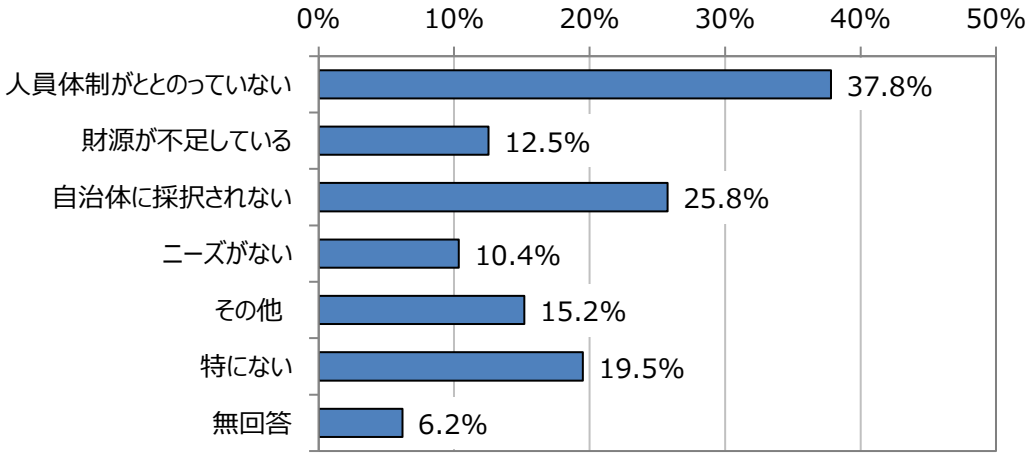
図表 2-102　地域子育て支援拠点事業の支援拠点での取組は、園の認可申請時の子育て支援事業に位置づけられているか（n=1,269）



2－5－3　地域子育て支援拠点事業の支援拠点となっていない理由

地域子育て支援拠点事業を実施していない園に対し、支援拠点となっていない理由をきいたところ、「人員体制がととのっていない」が 37.8%と最も割合が高く、次いで「自治体に採択されない」が 25.8%と割合が高い。

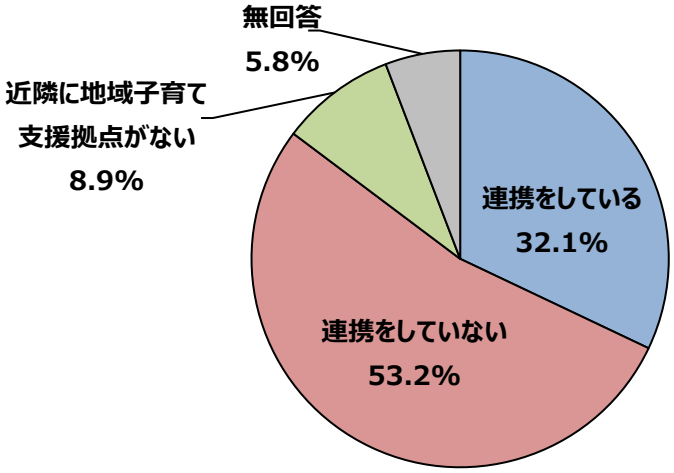
図表 2-103　地域子育て支援拠点事業の支援拠点となっていない理由
（複数回答）（n=1,825）



2－5－4　地域子育て支援拠点事業の支援拠点と情報共有などの連携

地域子育て支援拠点事業の支援拠点と情報共有などの連携を取っているかについては「連携をしていない」が 53.2%と、半数を超えている。

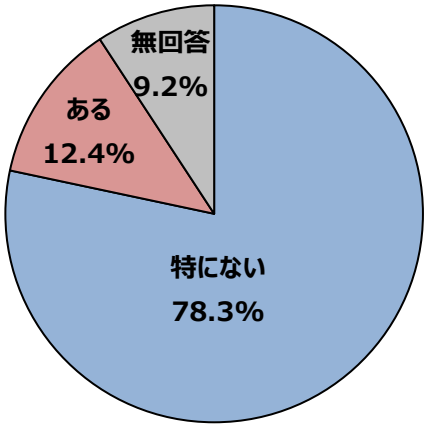
図表 2-104　地域子育て支援拠点事業の支援拠点と情報共有などの連携（n=1,825）



2－5－5　子育て支援事業の今後の展望

園における子育て支援事業の今後の展望や、新たに予定されている取組について 78.3%が「特にない」と回答している。

図表 2-105　今後の展望や、新たに予定されている取組（n=3,254）



第3章　参考資料

3－1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

当アンケートの問 16（下記設問）において、取組内容について具体的な記述があった回答を一覧で掲載する。

（問 16）貴園の子育て支援事業において、特徴的な取組がありましたら、具体的にご記入ください。
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

回答の内容は、子育て支援事業の 5 分類（P6,P22 参照）にあわせて分類した。 ただし、①地域の親子が交流する場の開設は、さらに「A．遊び、交流の場の提供」「B．保護者向け・子ども向けの講座等の実施」の 2 つに分けて紹介する。 また、「保護者と子育て支援者の連絡・調整」と「子育て支援者に対する情報提 供・助言」は、一緒に行う園が多いことから合わせて紹介する。

（１－A）地域の親子が交流する場の開設　――遊び、交流の場等の提供
（１－B）地域の親子が交流する場の開設　――保護者向け・子ども向けの講座等の実施
（２）　　子育てに関する相談
（３／４）一時預かり（施設型／訪問型）
（５／６）保護者と子育て支援者の連絡・調整／子育て支援者に対する情報提供・助言
（７）その他

（１－A）地域の親子が交流する場の開設――遊び、交流の場等の提供

①社会福祉法人

幼保連携型
0 歳から 1 歳 6 か月までの親子の支援、1 歳 6 か月から 3 歳までの親子の支援。また、夏には冷房を入れた開放スポットを開設し親子の交流の場を作っている。
広い園庭で安心・安全に過ごしてもらい、子育て親子の交流の場の提供や子育て等に関する相談を行なっている。
子育て中の親子が主体となり、自由に利用できる場所を提供。
未就学児を対象に、定期的に集会を開き、子育ての情報交換、遊びの場を提供する。
夏まつり、運動会、クリスマス会では、在園児と共に過ごせるような計画を立てている。絵本の読み聞かせや、わらべうた遊びの外部講師の先生によるお話し会を開催している。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

幼保連携型
子育て支援センターでは季節ごとの郷土文化や節句などにちなんだ独自性のある行事を開催したりしています
子育て担当の職員と一緒に遊びます。子どもだけで無く、家族の方も一緒に遊んだり、リフレッシュしたりできるわくわくすることを実施しています。
未就園児とその保護者を対象にした交流の場の開催や園庭開放を実施。
地域の保護者・未就園児を対象におしゃべりサロンを月一回開催している。
児童などの居場所づくり事業として、放課後の隙間時間や土曜・長期休暇中の居場所、学校に行きづらいときの居場所など
週1回未就園児と保護者の為の交流の場を実施。園の様子を見て頂いたり、保育教諭や看護師に相談したり、無料でお話会や製作などイベントを行っている。
毎週火・木曜日の午前 9 時半～11 時半まで園庭の遊具や砂場、園内の 1 室を遊び場として開放している。
職員を「つむぎ体操」「わらべ歌」「製作」「看護師の話」に分け各グループが計画し地域の親子を呼んで開催している
年に 2 回、地域交流会を実施しています。地域の方々や、園の子どもたち、親子の方々で交流イベントを行っています（お茶会、カレーパーティなど）。
利用されているお子さんの誕生会を毎月行い、手作りプレゼントを差し上げている。また、季節の行事に合わせ、イベントや作品を作ったりして持ち帰っている。
在園児との交流。園行事への参加。
現在、20 組以上の登録があるが、コロナ禍で密になることもあるので、1 日の人数制限を設けているが、幅広く利用していただけるように年齢による開放日を設定している。
わらべうた、親子ふれあい遊びや季節の製作などを行っている
月に何回かは、同年齢の子どものいる親子だけの参加の日を設けて、親同士のつながりをより深められるようにしている。（子どもが同年齢のため、発達や悩みに共通点があり、親しくなりやすいため）
利用時間中、担当保育教諭が遊びを提供したり、相談に対応するなど、傍を離れず一緒に過ごしている。
月に1回、日曜日に園を開放している。（現在は休止）
2 歳児親子を対象とした登録制のサークルの実施
お茶とお菓子を用意して、子育ての悩みや情報交換を行い、子育て支援者にホッとしていただける場を提供している。
園庭・中庭など遊べるスペースが広い
家ではなかなか泥んこになって遊ぶことが出来ないので、園庭でどっぷり泥んこ遊びを保障してあげています。もちろんシャワーも浴びてきれいに体を洗う環境も準備しています。
月1回の親子自然体験活動（登山、公園、森　など）

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

幼保連携型
参加している同年齢の在園児との交流、手紙を作成し絵本や遊びの紹介を定期的に実施している
園庭開放、親子子育て支援情報誌の発行（年 3 回）
親子間で触れ合う時間の中での　製作・散歩・体操など
利用者であるお母さんたちのサークル活動(令和3年度：沐浴布づくり、ボランティアの取り組みなど)
園行事を見学したり、体験として園児と一緒に参加し体を動かしたり、歌を歌ったりする。
親子教室は同じグループで半年クラブ活動を一緒にし、クラブ卒業後も横のつながりを持ち続け、支援センターが引き続き親子にとって開かれた場所になり続けられるように、卒業生達が自分達でサークル活動ができるように助言し、引き続き園のお部屋開放で交流をつづけられるように連携調整している。
地域の祭り時期に合わせて、子育て交流会という園開放的な行事（休日の半日）を年 1 回開催している。
地域の子育てサークルの代表者と連絡を取り、季節にあった遊びを提供している
近隣の園の子育て支援室と合同でのイベント開催
園内行事に参加可能　お母様の育児相談実施（園管理者実施）
医療的ケア児を育てている保護者、発達障がい児を育てている保護者の集いを年 2～3 回行い、情報交換や先輩保護者からのアドバイス等開ける場を設け、コーディネートする。
地域の親子が同じ年齢のクラスや、土曜日の異年齢児合同保育に体験参加する機会を設けている。
ママ友ファーストステップとして、初めてのママ友を作る活動を後押ししている
自然に恵まれた環境で園庭開放を行い同年齢の園児と一緒に遊んでいる。
乳児を持つ親子プログラム、特別支援児・発達が気になる子どもと園時の交流会、保育付き親支援（リフレッシュ）プログラム、地域子育てサークルへの支援等
未入園児に対する園庭開放、見学デー、絵本・DVD貸し出し
赤ちゃんや妊婦を対象に、気軽に話や相談、また交流ができる機会を作っている　保育教諭による出し物を見る機会をもっている
双子の集い、移住者の集い
月 1 回親子で楽しむカフェ
絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべ歌、親子の触れ合いあそびなどの紹介、トイレトレーニングに関する助言等を行う。
園行事の参加や、園内の絵本貸し出し、保護者向けの絵本貸し出し、地域ボランティアの方と連携した黒糖作り、就園前や就学前幼児を対象にした保育体験等
園庭開放の他、季節の行事にちなんだ親子での製作や絵本の読み聞かせ・手遊び。夏は水遊び等を実施
施設を開放し、自由に園内外で園児と遊べる環境を提供している
赤ちゃんプログラム（2～4 か月で第 1 子の子と母親を対象）

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

幼保連携型
親子参加型事業を特に力を入れている
クリスマスやハロウィン、節分などの行事にはそれっぽい衣装を着て子育て支援をしている。また、夏には園に来てもらい、プール遊びをたのしんでもらう。夕涼み会にもご招待する。
テラスに未満児用の遊戯室があり、そこを子育て支援事業では使っている。
広い園庭で伸び伸びと園児と遊んでいる。乳児は 0，1 歳児専用の乳児庭で遊べる。
保育所型
保護者活動として園児への絵本読み聞かせをしてもらったり、お子さんの誕生月の誕生会に参加してもらったり、季節の行事や製作活動にも積極的に参加してもらうことで、在園児との交流を深める。また、子育ての悩みや課題を相談しやすいパートナーとしての役割を果たして子育てに寄り添っていく。
地域の親子に向けた、交流の場・遊びの提供
広い園庭での遊び場の開放。遊具、芝生での遊びを行っている。
わらべうた、ベビーマッサージ、楽しい遊び、制作を通じ、親子で参加する子育て支援活動を行っています。
保育園との併設なので、園児の活動を見たり、参加できることもあったりする。
玩具は年齢の小さい子どもにとって安全で視覚から入る時の色等に配慮している。質の良い玩具を揃えている。絵本は子どもの心の栄養と位置づけ、質の良い絵本を揃え、季節や行事などで入れ替えを行う。お部屋の空間にも気を付けている。メダカを飼う・小さな観葉植物を置く・季節感を出すなど、美しい環境を準備している。

②学校法人

幼保連携型
地域に保育施設がここしかないので「プレ入園」の意味合いが強く、親子共々園の雰囲気をつかんで入園に備えている様子。
保育園の施設・遊具等を生かしたプログラム
敷地隣接の山で散策や落ち葉やどんぐり拾い、それを使用しての作成等
幼稚園の施設・遊具等を利用したプログラム
子どもたちには、遊びの提供をし、保護者には子育てのアドバイス等をしている。
ベビーマッサージ・離乳食教室・子育て相談
未就園児を対象としたクラスを設置
園バスで近郊公園 3 ヶ所位に遊びに行く
園庭開放を行い、遊ぶ機会を持てるようにする。
①消火訓練への参加　②近隣の企業主導型保育園の園児 6 名も園庭解放時に来園
民間ならではの利用者のニーズを取り入れて必要なサービスを提供。温かい家庭的な雰囲気を大切にし、利用者同士の関係性を大事にしている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

幼保連携型
園開放を中心に行っており、親同士がコミュニケーションをとれるようにつなぎ役をしている。　また、簡単な手遊びやあそびの紹介、育児相談にも対応している。
他の園で取り組んでいない、プール遊びや、ことばのはなしなど
月1回程度、交流の場や支援講座を開催。
園庭にて、在園児とも触れ合いながら遊ぶ。　園児が体験している音楽・体育講師の遊びを行なう
在園児との交流の場を作る（運動会への招待等）
保護者中心の活動で未就園児親子対象のクラブ（月 1 回）を立ち上げ、親子でおえかき、制作活動、運動遊びなどを行っている。また、年 1 回、親子で園バスに乗車、給食試食も行っている。
土曜日開催の園庭開放のみ未就園児の兄弟（小学生も）も招待している
未就園児親子教室では、教職員による親子制作活動、室内遊び、保育相談を行ったり、年3回のリトミックでは外部講師を 2 名招き楽しい活動を行っている。
親子でリトミック　・季節に応じた行事を体験　・担当保育士との子育て相談会　・絵本の読み聞かせ　・園庭開放　・製作活動
特別支援児の保護者の会を実施している
あえて特徴的にせず、普段の子どもの姿と先生たちの様子に触れていただき、子どもの自然な姿を感じてもらう。
幼児教育センターを園内に設置し、地域の子育て支援事業を実施している
親子で活動する時間とは別で、保育士が子どもを見ている時に、保護者同士でコミュニケーションを図れるよう、コーヒー等を飲みながらゆっくりとお話しできるカフェタイムを作っている。その時に育児相談等も行っている。
在園 2 歳児と大きなプールで水遊び交流。
0 歳児、1 歳児、2 歳児と年齢別に行うときと 1～2 歳児混合で行うときがある。食育、リトミック、おもちゃ作り、運動など様々な要素を取り入れている。
園庭開放・戸外活動を中心とした行事と、「ミニ幼稚園」的な設定保育に近い保育室を中心とした行事を別シリーズとして開設・運営している
親子登園教室では季節に合った活動を未収園児さんと保護者と行っている。
親子教室を通じて親子の交流を深め、園に慣れていただく。
園内での活動になるので在園児との交流が多く実際の活動が体験できる。
未就園児の保護者同士の交流をし、子育ての情報共有をしている。
親子 Cafe を月に 4 回実施している。子育て中の保護者が子どもを連れて訪れる場所の提供が主な目的。来ることにより友だちが出来たり、支援員に相談をしたりといったことにつながる、とても良い場となっている。
リズムあそびを園児とともに楽しむ
園庭開放を毎日行う。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

幼稚園型
イベントの開催を行うよりも親子で集まり、お互いに支え合える時間をもてるように自由に遊ぶ時間を多くしている。
未就園児教室では、親子で一緒に楽しめる、遊びや制作等を毎回違う内容で実施し、親子や保護者同士の交流ができるように工夫している。
園児や配置職員以外との交流
園庭を開放し、在園児と交流しながら行う外遊び・保育室で、園の職員がお子様を見守る中、親同士がお茶を飲みながら交流する
園庭開放　おしゃべりの場の設置
遊戯室と園庭を開放、子どものおやつや大人のお菓子、お茶(コーヒーetc)を準備し、自由に語る場を設けている。
年齢別にその学年にあった活動や在園児との交流も行っている
園児との交流（子育て支援の部屋に在園児が行き一緒に遊ぶ）。　親子わらべうた遊びを年間計画の元に実施。
子育てする親たちの憩いの場を提供している。
未就園児を対象に、水遊び、英語、製作等の活動をする中で、他の保護者と交流を深める機会を構築している。
付属園との合同で取り組み、広範囲からの参加者あり
参加人数が数人と少ない時は年少組と一緒に活動している。
1 歳児親子のグループと 2 歳児親子のグループを分けて行っています。2 歳児親子は前期は親子・後期は子どものみで預かっています。
未就園児について：親子の情報交換の場・年 3 回の特別プログラム（夏のプール・コンサートなど） 2 歳児教室では、週の参加回数を選択制。月々のプログラムを作成。
地域の未就園児親子の交流の場では、近くの公園に散歩にでかけたり、さつま芋堀りを企画したり、園外保育も実施している。子育て自主事業（有料）では、給食も提供している。
自由参加で、無料で、気楽に参加でき、園庭等で園児とともに遊べる場の提供。
運動会の日に就園前の子どもたちに参加してもらうプログラムを作り、保護者とともに自由に参加してもらっている 親子で参加型　指先の機能訓練等がふんだんにできるものづくり　遊びの提供：家庭でも親子で楽しめる遊びを伝えている　管理栄養士の食育講座（手作りおやつの提供）
親子のふれあいを中心にしている。子育てに悩む保護者同士の交流の場を提供し、そこに助言として子育て講座等も一緒に開催している。
在園児とリズムなどでふれあう。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

幼稚園型
保護者の方々に対し、お子さんを預かることだけではなく、今しかないこの時を共有し、子育ての楽しみを知ってもらうという意味でもお仕事を休んで参加してもらうような行事・PTA活動等を設けてみるなど
ランチの会～未就園児の親子が園に遊びに来て遊んだり、給食を食べて交流を図る。
園庭開放日を年間9回設け、親子で自由に遊んでもらう。

③公立

幼保連携型
そっとデー→保育室の陰やカーテンに隠れ、そっと子ども姿を見る。・遊ぼうデー→保護者さんと一緒に子どもと遊ぶ。
製作キット（手作り）を未就園の兄弟姉妹へ配布
行政職員と園の職員が連携して、自園で行事を開催している（一緒に歌う、踊る、遊具の設定をし遊び方を知らせる等　年 2～3 回）
開園日は、ほぼ毎日園庭開放をしている。
子育て支援センター利用者に、園の行事に一緒に参加してもらっている。
行事開放（プール開き・子どもの日の集い・七夕会・夕涼み会ごっこ・もちつき会・節分会）
支援センターでの工作、誕生会、園内巡り、発育測定、育児相談など
手遊びと絵本の読み聞かせ・手作りおもちゃの製作（季節の製作も含む）・保健の話（手洗いの仕方など）
同年齢クラスに入り、親子も一緒に活動する
少人数でアットホームな雰囲気の中で、親子が触れ合ったり会話を交わしたりできるようにしている。
毎月の誕生日会やクリスマス会などの園行事に参加している。
園庭開放や、園行事など在園児との交流をする。
在園児の園行事も出来る範囲で参加している
基本は園庭解放であるが、年に4，5回ゲストを招き音楽鑑賞や体験型の催しを実施
園庭を親子で開放し、その中でこども園の園児や保育教諭と接する中、子育てのアドバイスや地域の情報提供をする。
活動内容によっては、園児とともに過ごすことができる。
定期的にイベントを開催（交流会、身体測定、誕生会など）
地域に未就園の子どもが少ないので、地域の子育て広場と連携し行事（七夕会やクリスマス会など）をとおして交流を行っている。
幼稚園型
3 歳児で子育て支援クラス（ふれあい会）に参加している対象児は、在園の 3 歳児クラスと一緒に活動する活動もあった。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ａ）地域の親子が交流する場の開設
――遊び、交流の場等の提供

保育所型
月に 2 回の園庭開放やなかよしタイム（未満児とのふれあい活動）を行い園生活を体験してもらったり、子育て相談を行う。また、行事への招待をして、園生活を伝え安心して入園できるようにしている
開所時間内の自由な利用

④その他

保育所型
園地域開放日を設定し、地域の子育て親子と園児、保育士の交流を図っている。
令和 4 年度 3 歳児になる地域の子供と保護者を対象に、教育・保育（食育・運動・人とのかかわり・ことば・リズム・造形）を体験する
地域のこどもや保護者向けに季節に合わせた制作遊びを提供
特徴的ではないが、親子一緒に参加型体験保育などを行っている

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設　――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

①社会福祉法人

幼保連携型
母親に対するフットマッサージ、ベビーマッサージ、0 歳児保護者交流等
親子ヨガとして、0 歳児を抱っこしたまま行えるヨガ。保育体験と給食の試食。児童館での出前保育やおやつの試食
乳児・親子教室のような会の内容になっていて、各回がテーマに沿った内容。参加している親子にコミュニケーションをとり、悩みを聞くようにしている。
ベビーマッサージ、陶芸教室、プール開放、土壁づくり、子育て講座・カウンセリング研修
障害児を含む家族を対象としたリトミック
園で独自に作成した、布の絵本を使用し、読み聞かせやボタン、スナップ、ファスナー、リボン等の着脱で手先の感覚を刺激し、成長を促せるものを与えている。
アドラーの子育て勉強会・ベビーマッサージ・陶芸教室・土壁作り体験・子育て勉強会・カウンセリング研修・プール(夏季)開放など
心理士さんによる育児講座や食事体験、親子ヨガ、赤ちゃんマッサージ、施設開放で集団生活の体験、英語あそび他遊びの紹介、読み聞かせ
不登校支援・貧困世帯への学習支援などへの場所の提供。夏休みの小学生が宿題をする場所提供。
劇団、プロの演奏家によるコンサートへの参加・鑑賞
音楽リズムやベビーマッサージなどの特別講師を招いて行っている。
外部講師を招いて、リトミック、ベビーマッサージ、フラワー教室、歯科教室、親子クッキング、親子ヨガなどを定期的に行っている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

幼保連携型
ベビーマッサージは、コロナ感染以前は、父親や兄姉の参加も OK
専門的な人材（看護師・栄養士）との交流ができる機会を計画的に取り入れている。
利用者支援事業の中で妊婦向けの教室や妊娠初期からの電話訪問を行い、出産後、自宅訪問等も行っている
外部から講師を招いて親子が触れ合える活動に取り組んでる
地域の保健師、園医が参加することもある
劇団やプロの演奏家によるコンサートへの参加、鑑賞など
英語、中国語のスタッフがいる
園庭開放や体験保育で地域の親子を受け入れる際、育児相談も受けている。
「子育て講話会」と称して、教育学博士や絵本作家を招き、親子の心の交流や子育てについてのノウハウなど、子どもや保護者、地域の保育教諭なども対象にして講話会を実施している（現在は新型コロナウィルス感染症予防のため休止中）。
身体測定をしたり、歯科衛生士による歯みがき指導などもしている。
ベビーマッサージ　・親子リトミック・おもちゃインストラクターによるおもちゃの広場
動きを通して発達を支援するムーブメント教育（音楽や遊具を使っての）に基づいた教育支援
体験コース「英語教室」を開催し、外国人講師の主導のもとで楽しんでいただくイベントがある。
地域の子育て中の方のほっとできる場所の提供や、子どもがいるとできないけれどしてみたいことを講座として提供
外部からおひるねアートの人を呼ぶ（撮影した写真を年賀状に利用）
季節毎の行事、園外散歩、親子遠足、講師を招いての講演会等を開催している。
親子で遊ぶ時間にネイティブイングリッシュの講師からの英語に親しむ時間を作っている
親子で英語で遊ぼう-3 歳以上児は英語での保育を行っているため、園外の希望者にも英語での保育を体験して頂ける機会を設けている。
自治体からの助成、情報をもとに、年少親子を対象とした育児に関する講演会等
季節ごとの制作等イベント・ママのお茶会・（ベビーマッサージ・ごろんアート・手形足形制作各年 2 回）・ミニミニコンサート・親子体操教室（2 ヶ園共同）
ベビーヨガ・フラワーアレンジ・アロマ体験・ふれあい動物園・おやつ作りくつの履き方を講師や看護師が指導
読み聞かせや、離乳食教室、では講師をお呼びして保護者交流している
親子ふれあい体操
親子遊び・栄養講座・保健講座・ベビーマッサージ・親子リトミック・栄養相談・育児相談
毎週水曜日に親子教室を開催
外部の専門スタッフ（英語など）で遊びを行う日がある
地域の保護者に向けて子育て講座を年数回行い、離乳食講座、ヨガ等行っている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

幼保連携型
ベビーヨガレッスン・おもちゃの収納術・アロマなど
外部から助産師の講師を呼んでママたちの体のフィットネスをしたりする
年 2 回、園で講師を招いて音楽遊びを開催しているが、その時、園児と一緒に参加する。
各種の専門家を講師に迎え、様々な親子教室を行っている。（ヨガ、絵本の読み聞かせ、助産師、サッカーコーチ等）
子育て支援員がベビーマッサージの資格を持っているのですぐに教えることが出来る。育メン、祖父リエの取り組み。
ノーバディズパーフェクトプログラムのファシリテーターによるマザースクール
乳幼児のスマホ育児・メディア依存の危険性について発信している
えいごであそぼを毎週実施。
子育てサークルに、リトミック・幼児体育・ベビーマッサージの講師を年2回ずつ招待。園庭開放日に、看護師による身体測定・健康相談実施。
専門講師による取り組みと保育教諭による活動がある。活動時に保育教諭・管理者（有資格）による相談も受け付け、希望する方には臨床心理士による相談につなげることも可能。
ボランティアさんによる習字指導・英語リトミック・水泳指導・体育指導・和太鼓指導・観劇会の開催など
在園児への子育て支援事業としては、年一度の専門家による子育て講演会を実施　・園の行事において園での取り組みを子育てに活かしていただけるような動画の提供　・在園児以外の方に向けては、離乳食体験やベビーマッサージ、わらべ歌など
手作りカレンダー作りのイベントを毎月実施している。
子育て中のママたちにリフレッシュしてもらえる、手作りワークショップを企画している
法人内姉妹園 11 園合同でのファミリーコンサートを毎年実施している。（市ホールにて）
メイクアップ講座、赤ちゃん親子マッサージ
子育て支援センターの活動として、スキルアップ講座や未就園児親子体験教室を月 8 回程度開設している。スキルアップ講座ではパソコン操作、筆ペン、手芸、料理教室等を開催している。
B プログラム、コモンセンスペアレンティング、ノーバディーズパーフェクト等の講座も開いている。
親子での制作や、リトミックなどを取り入れている。
さまざまな講座の開設。
未就園児の保護者が孤立しないよう、またリフレッシュできるよう、様々な講習会を企画し、子どもと一緒に楽しんだり、時には子どもから離れて講習会に没頭したりできる時間を提供する。
専任の講師による親子で運動あそび
月一回程度体験講座を開催している。　例：お正月飾り、薬剤師による健康講座、ヨガ等

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

幼保連携型
保護者、特に母親は子につきっきりになっている方が多く、ハーブを使った虫よけ作りや生花ブーケ作りなど母親が主体になって何かを作るという催しは特に好評なので、母親が愉しいと感じられるものを多く企画している。
外部講師（日本体育施設協会認定トレーニング指導士、幼児体育指導士）によるママビクス、ベビービクス等行っている。（年 10 回くらい）
NP 講座　リトミック活動
外部より講師を呼んでいる（リトミック、サッカー、合唱、マーチング、バレエ）
柳澤運動プログラムを取り入れた運動遊びを行っております。
幼児体育教室の講師を招き、子どもとのふれあい方や親子で楽しく体を動かす体操などを指導してもらう
絵画造形活動を多く取り入れている
郷土料理講習会、おやつ作り、給食体験、劇団員による観劇会
モンテッソーリ教育を取り入れて、子どもの発達に合った作業（教具を使う）をしている。
親子で出来るリトミックや英語教室を行っている
園で月 2 回、正課で行っている専門指導員による体育指導がある。そのうち 1 回、「運動遊びの日」と称し午後 1 時半から地域のお子さんへの運動指導をしている。
こども園の経営者がスポーツクラブの経営もしていることから、園解放で、親子でのベビースイミングを行っている。
親子教室は、1 年間のプログラムを実施している。
未就園の保護者向けに大人向けのメニューを実施している（クラフトなど）
子育て講座を積極的に実施している。
保護者が主体となる講座を行っている
幼稚園型
年に 2 回、講師の先生を招いて育児講演会を開催している。
体操教室
保育所型
子育て支援センターでは満2歳以上から就学前児童を対象として英語の歌を歌ったたり、英語を使用したゲームで遊んだりしています。　子育て中のお父さんを対象に子育ての悩みや体験を共有する事業を実施しています。
看護師、栄養士による講演会・地域の方との防災避難訓練
利用者からのニーズに合った専門的講師による講話・講座の実施。
栄養士による栄養相談や県内の大学から教授を招いての育児講座があります

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

保育所型
英語、体操、習字教室などの教育を行っています。
外国人講師により英語に親しむ会を年 2 回行っている。豊かな自然環境を生かして、散歩や外遊びを楽しめるようにしている
ヨガインストラクターによる親子ヨガの開催。
看護師の知識を活かしたベビーマッサージ等を実施。身体の発達に対する相談業務他。
地域のスポーツ選手や多言語スクール、サイエンス授業等を園に取り入れて、子供たちの育成に役立てている。
身体づくりにも力を入れており、積極的に園庭遊びを行っている。
英語、書道、外国人家庭支援
外部講師による親子食のセミナー開催、ネイティブ講師によるサマースクール開催
地方裁量型
親子体操教室…0・1 歳クラス、2 歳クラス（月 1 回、予約制） 無料親子リトミック…0・1 歳クラス、2 歳クラス（月１回、予約制、無料）
職員にベビーマッサージの免許やアロマの免許を持っているものがおり、年に数回、マッサージ研修などをしている。

②学校法人

幼保連携型
保護者の方がゆっくり過ごしたりリフレッシュできる事（お茶会・ハーバリウム）を取り入れたり、その間は教諭の方で子どものお世話をしている。専門の先生に来てもらい（ベビーマッサージ・リトミック・体操）実施する事で保護者の方にも参考にしてもらっている。
外部講師と教員で幼児教室を行っている。
音楽療法、ベビーマッサージ等
看護師や音楽講師による講習や講話
いろいろな講師を招きリフレッシュする機会を設けている
親子教室は月 2 回程度行っており、外部講師にも来園していただき、季節の歌や遊びなどを教えてもらいながら、親子で楽しい時間を過ごすことができている。
英語教室・書道教室・鼓笛隊・体操教室など園児の個性を伸ばす教育プログラムを提供している。
アーティストを招聘してのワークショップ・園行事への招待
本物の音楽に触れていただくことで育児の癒しになるようコンサートを年に数回行っている。
乳幼児向けに月 1 回程度ベビーマッサージやリトミック・英語・クッキングを開催など 専門の講師を招いての親子音楽を取り入れている
英語、乳児の活動、園体験
歌をうたったり、リズム遊びや楽器遊びを多く取り入れた、音楽を主体とした活動をしている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

幼保連携型
外部講師によるヨガ講座・クッキング
親子で楽しんでもらうために、園庭開放やオープンスペースの時に、英語遊びを取り入れている。
ベビーマッサージについては、専門の先生をおよびして実施
看護師による感染症予防教室
親子ふれあい教室で、リトミックなど外部講師を招いての取り組み
子育て中の母親に対してアロマやカラーの講習会を実施したり、親子で制作を楽しむハロウィンやクリスマスの会を実施したり、ふくわらいや豆まきの鬼の面を作るなどの講習会を実施。また園の給食を試食するランチタイムを実施。
園内での幼児言葉の教室の開設
乳幼児期からリトミックを始めるのには最適と考えているので、未就園児で希望される方は無償で提供しています。
ヨガや英語など外部講師によるリフレッシュ企画
ベビートレーニングを月に一回程度実施しています。
運動の先生や英会話の外国人講師、外部の子育て支援に関わっている講師(ヨガや子育てインストラクター)の活用
幼稚園型
卒園児の保護者の協力で色々な講座（パン教室、体操、絵本の読み聞かせ　等）をして頂いている。
幼児教育専門の方（大学教授）による講演
教員の人形劇や手品、劇を提供し、子どもたちに幼稚園の楽しさを体験させる。
外部ボランティアによる絵本の読み聞かせ　リトミック講師依頼（有料）
季節に応じた子育てに役立つ講師を選定して月 1 回イベントを開催
幼児の運動遊びを専門とした講師のもと、月に一度“なかよし体操”を行なっている。また、他の施設（他の拠点事業）からの依頼により、出張でボランティア活動も行なっている。
未就園児親子クラスを行っている（2 歳児クラス・3 歳児クラス）　一緒に遊ぶことで園生活や園での遊びを体験する
遊び場の解放と、育児相談の他に、外部から様々な講師をお招きして、保護者向けの育児講座をおこなっています。
親子英語教室を行っている。支援の必要な子どもの相談により、病院、特別支援児童施設、保健センター等への紹介や、取次を行う。
専任講師による英語教室の定期的な開催。
たまごキッズ（未就園児クラス）の外部講師として幼児教育研究家を年に 3～4 回招いている
制作や、リトミックなど親子で楽しめる企画を計画的にたて実施している
運動・音楽・絵画などの講師を招いての親子で楽しんで参加できる内容での活動の提供も年間の中に取り入れている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

幼稚園型
プロの音楽家の方に来てもらい地域の子育て中の方に鑑賞してもらう。園庭開放。

③公立

幼保連携型
健康講座や栄養講座等の講演・親子ふれあい遊びやベビーマッサージ、ママヨガ等
薬剤師を招いての手洗い教室
歌やお話し、製作等の楽しい活動や、季節の行事を計画的に行っている。また、講師の先生に来てもらっての 3B 体操やベビーマッサージ、リトミック等を行っている。
講師によるチャイルドマッサージ・わらべ歌あそび・運動あそび等
園庭やフリースペースの開放以外に、年に数回人形劇鑑賞などのイベントをしている。
講座を開くことで子育て支援を行う。　音を楽しもう、親子ふれあい体操、人形劇、食育講座、3B 体操、乳幼児の言葉の発達講話、絵本をよもう、紙芝居＆ふれあいタイム
育児中の母親のストレス解消の為、母親の為の講座を開催したり、親子のふれあい講座を開催することにより母親の育児支援につながった。
月に 1 回、外部講師を招いて親子でふれあえる遊び等の情報提供を行っている。
ボランティアの方にお願いしてわらべ歌・リトミックなどの講座を開き、親子で楽しい時間を共有できるようにする。
外国人講師による英語遊びの実施、保護者の経済的負担軽減策の実施（子育て支援住宅への入居、住宅新築・増改築時の補助等）
保育所型
子育て講座・お話し会・音楽リズム・誕生会・製作
年 6 回、保護者(希望者)を呼んで人形劇、体操、コンサートなどを開催している
母親講座では、母親のリフレッシュを兼ねた内容のものを取り入れている。栄養相談会では、乳幼児の栄養について情報を提供し、一緒におやつ作りをしている。

④その他

保育所型
専門の講師によるリトミック参加
保護者向け乳幼児安全法研修会
英語、音楽、体操等を教育の中に取り入れている。　そのレッスンを見学等行ってもらい一緒に楽しむ
子育てハッピーセミナーやアンガーマネジメントの講習会を毎年行っている。在園児の保護者や地域の方々も参加されている。毎週木曜日 13 時～18 時まで子育て喫茶を法人所有の集会所で行っている。月 1 回ランチとカレーディナーも行っている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（１－Ｂ）地域の親子が交流する場の開設
――保護者向け・子ども向けの講座等の実施

地方裁量型
集中力を高める運動・体育、ネイティブ英語を 0 歳から親しむ、リトミック音楽を体で表現する、そろばんで数に親しむ
静と動の活動をバランスよく行っています。座ってクラフトをするだけでなく体を動かす活動、英語に力を入れている園としてはハロウィンの時期では仮装をして参加をお勧めしたりしています。英語の先生の本の読み聞かせもコロナの時期のオンライン開催では行ったりもしました。

（２）子育てに関する相談

①社会福祉法人

幼保連携型
市の事業とは別に、独自の子育て相談支援センターを設置予定である。
課題があるこどもの寄り添い、支援
新入園児さんの保護者とは、それぞれ機会を設けて、保育士・管理栄養士・看護師らが面談を行い、相談を受けてアドバイスしている。
支援を必要とする園児・保護者の支援や、行政と連携しながら見守り家庭への支援　その他発達支援等に関する個別相談など。
全戸訪問（市の委託）
臨床心理士による相談事業・小さいおこさま連れの方に配慮し、ランチルームも開放している
保育園の栄養士による、離乳食相談など
正規職員が交代で話をしている
小規模の園ではあるが、看護師・発達障害コミュニケーション指導者・管理栄養士を配置して、こまめな発達支援を実施している。
新型コロナウイルス緊急事態宣言下でも、保健所と連携し、子育て困難な保護者のお子さんをお預かりした。　以前は定員を設けていなかったが、密を避けるためと中止する場合の連絡ができる様参加者を把握できるようにした。
乳幼児の親子を受入れています。事前予約等は、不要で気軽に子育て相談をしたりお喋り出来る場所を作っています。保育所入所について（年間一番多い相談内容）・体重の増え方　・離乳食（進め方）・兄弟の子育てについて　・仕事復帰で家事・育児、仕事の両立の心配　等。利用料金や行政の補助金等をいただいていない事業です。
親子面談を基軸に行っている
子育て相談、情報交換などはいつでも行っています。運営元の社会福祉法人はいろいろな施設があるので連携しています。
医療的ケア児保育を実施

（２）子育てに関する相談

幼保連携型
第 1 子（生後 2～5 ヵ月）の母親を対象とした、親子の関係づくりのプログラムを実施。運営元の法人で受託している乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）と連携することにより、参加者が増加しています。
保護者がいつでも相談できる雰囲気や体制をとり、大切にしている。また、ドキュメンテーションなどを通して成長発達等育ちを共有している。
子育て相談は、ワークショップ形式で実施している。
自治体の講習を受け認定された「家庭教育サポーター」が園の開放日に来園し親子のサポートをする。
子育てカフェは、園に所属していない保護者の方を対象に、0・1 歳児の乳児を主に園で 1 時間程度預かり、その間に保護者の方は園内でゆったりとお茶を飲んでいただいたり、同じ参加者と情報交換をしたりして頂く取り組み
保育所型
法人で雇っている言語聴覚士の相談窓口を開設している
巡回相談を実施
食育と発達支援における保育者のコンサルテーション
発達が緩やかお子さんや育児に対して困り感の相談対応
地方裁量型
発達相談・育児相談を実施

②学校法人

幼保連携型
教職員が子育て支援事業中に子どもの様子を見たり、親子全員で遊ぶ姿を観察し、必要なアドバイスをする時もある。
子どもの育ち・発達の様子の理解を深められるよう支援している。
未就園児の保護者の方の子育て相談にのり、子育てが楽しくなるような取り組みを実施。
月に 2 回、専門の相談員による子育て相談を実施。
月に一度の園開放事業の中で、子育てについての相談などを受ける。その後、個別に対応する。
キンダーカウンセリングにおいて、希望があれば園外に出向いての相談も行うようにしている。
幼稚園型
保護者の元から離れた未就園児の教育・保育活動を通して子育て相談等を実施している。

③公立

幼保連携型
栄養士、看護師、保育教諭がそれぞれの分野の相談に答えたり、手紙、ブログ等で発信している。

（２）子育てに関する相談

幼保連携型
3 歳から 5 歳の個人面談を実施(年2回)
保育所型
自園配置職員の看護師が、発達・健康相談を受付けたり、希望者には身体計測を行っている。内容面では、園で取り組んでいる『ごっこ遊び』を体験してもらったり、普段家庭では経験できない遊びを取り入れている。年齢別交流では、在園児との交流も行っている。
巡回相談、発達検査などを一緒に取り組んだり、情報を共有している。

（３／４）一時預かり（施設型／訪問型）

①社会福祉法人

幼保連携型
病後児保育を実施している
訪問型子育て支援ホームスタート…妊婦、乳幼児のいる家庭に出向き、親に寄り添い傾聴と協働で子育て支援を行う。
ホームスタート事業においては、法人全体で取り組んでおり、地道な活動を続けている。　子育てにおける虐待防止や産前産後の母親のケアを担う。
9 時～14 時までお子さんをお預かりしママたちにリフレッシュする時間を作ってもらうプログラムをしている。予約制です。
入園前のお子さんの園生活体験
運営元法人の自主事業として、地域における公益的取り組みである訪問型子育て支援『ホームスタート』事業の展開など訪問相談支援型の子育て支援サービスの展開
自主事業としての一時預かり保育。（里帰り出産等の対応）
保育所型
一時預かりでも保護者の希望があればその子の年令のクラスで過ごすこともある
利用される月齢と同じ月齢の在園児クラスに入るため、同じ月齢の子ども達の様子が保護者にも伝わりやすい。
一時預かり事業のみと、行っている事業は少ないが、申請があった場合は保護者の思いをくみ取り受け入れる。
保育園で取り入れているリズム遊びと給食を体験する取り組み。お子さんを預り、保護者の方が製作を楽しめる取り組み。

②学校法人

幼保連携型
親のみのリフレッシュを兼ねた支援事業を行っている（託児有）

（３／４）一時預かり（施設型／訪問型）

幼保連携型
地域の学童保育では受け入れ条件にない小学生や、一定期間のみの小学生など、当園卒園児に限り対応している。
乳幼児に加えて小中学校の不登校児が親子で参加し好きな活動のできる居場所つくりをしている。
2 歳児より子どものみを預かり、相談にのりながら保護者と子育てをしている。
小学 3 年生までの学童預かり
本園付属の放課後児童クラブがあるので、小学生になっても継続的に関わる機会がある。
小学生は放課後から最大 19 時まで預かりが可能
幼稚園型
次年度入園予定（希望）の子どもを対象に、週 1 回ママと離れてこども園の生活体験を実施。
毎日通園する 2 歳半～3 歳の未就園児クラスを定員 12 名で行っている。
未就園児の定期預かり保育（週 2 回、月 7 回）9:30～14:30

③公立

幼稚園型
子育て支援センター、一時預かり保育の実施により未就園児親子の支援。
園内に保健師・看護師が常駐している。病児後保育実施している。

④その他

地方裁量型
小学生の受け入れ　居場所　　自然の中で外保育

（５／６）保護者と子育て支援者の連絡・調整／子育て支援者に対する情報提供・助言

①社会福祉法人

幼保連携型
他の発達支援施設との交流
市内子育てひろばを行っている園と共同で子育ての情報誌を年一回発行と、市内親子向けのイベント開催
在職中の保育教諭で地域の支援員を勤める者が、在園児及び在園児以外の地域の子育て中の家庭に対し、育児に関しての総合的な支援を行っている。
同法人が運営する知的障害児通園施設にきょうだいが通園していて、親子で通園する場合に他のきょうだいを保育する場合がある。また、同法人が運営する姉妹園に努めるパート職員のお子さんを預かり保育することがある。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（５／６）保護者と子育て支援者の連絡・調整／子育て支援者に対する情報提供・助言

幼保連携型
市内の子育て支援活動の中核となり、子育て支援拠点、自治体の保健師、サークル、地域の子育て支援などと連携をとっている。　中学校・高校とも連携をとり、乳幼児ふれあい体験授業を実施
気になる子への対応として、市の保健師や相談員に参観してもらい対応の助言を頂いている。そこから専門機関に繋げる場合もある。
自治体の地域療育等支援事業と協力して配慮の必要な子どもへの対応をしている
臨床心理士の先生に訪問して頂き、子育て中の発達の悩みに対し、親子と遊びながら診断し、アドバイスを受けたり、必要であれば病院につないでくれる取り組みがあり、それを目当てに通ってくる親子もいる。
特別支援学校と連携し、学生の施設清掃や対人支援実習の場を提供。　福祉作業所の製品の物販場所を提供。　発達障害児童の親の会の交流の場を提供。　心理職による発達・教育相談室を開設。
少子高齢化の地域であるので、法人や知的障碍者施設、学童、拠点事業などと連携し、情報を共有し、共催で行う事業等もあり、地域全体が子育て支援に協力的であること
NPO 法人で活動されている方と協力し、イベントをおこなった。
地域の公民館と共催事業を行っている。現地集合でりんご狩りを行っている。地域の自然を生かして、自然散策の企画を行っている。
保育サポート：発達の気になる子の見立てや、助言を担任にしてもらい、保護者へも情報共有している。
市の家庭児童相談室や保健師と連携して保護者にあった援助をしている。
専門的な立場の方からの助言によって、保護者、職員の安心感につながっている。
地域子育て支援センターとの協力。
毎月 1 回市民協議会との共催による子育てサロンを実施。毎月季節や時節に応じたイベントを行っている。園庭開放は随時行っているが、共に昨年・今年度はコロナの影響により開催の自粛を余儀なくされた。※10 月から再開。
発達支援事業所と連携し療育等の支援が必要なこどもには保護者と相談する体制
発達に心配を抱えている親御さんのサークルを行っています。そこには、県の発達障害者支援センターの職員の方も入ってもらっています。専門的な話も伺いながら、情報共有の場になっています。
保育所型
地域の親子クラブと合同で行う行事（誕生会・社会見学・親子旅行　等）がある。
子育て相談から公認心理師に繋げる
地域と共に実施することもある。他の機関からの応援も頂くこともある。
地域の小学校・中学校・自治会と定期的に集まり、現在の状況を発表、意見交換をしたり、朝の登校見守りなどを行っている。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（５／６）保護者と子育て支援者の連絡・調整／子育て支援者に対する情報提供・助言

②学校法人

幼保連携型
卒園児保護者の会のお母さん方や特別支援の専門家との連携など、人材を活かした活動に取り組んでいる
地域、園、行政が一体となって子育て支援を行えるように、連携を図っている。
年に数回、薬剤師、臨床心理師にお越しいただく
学園内に、地域・子育て支援センターを開設。姉妹円との協力の元、職員全員が子育て支援に取り組む環境を作っている。
学期に 2 回程度、市立図書館員に来ていただいて「絵本の読み聞かせ」をしてもらっている。親子ふれあいあそびや製作活動なども取り入れている。
自治体と連携し数年に一度、歯科衛生士を派遣していただき歯の衛生について指導を行っている
小児精神科医による子育て相談（個人面談）
自治体の保健師を招致
発達に問題のある子をたくさん見ているので、発達に問題のある子早期に見つけ発達支援につなげている
特に発達に遅れや特徴のあるこどもと保護者の支援を在園児・未就園児問わず、専門家と連携を取りながら、子育て環境整備に努めている
月 1 度カウンセリングの先生の訪問
現在は、中止しているが、他園と連携し、ショッピングモール等を利用して訪問型子育て支援を実施
保育所型
入園後の在園児のみならず、地域の未就園児の希望者全員に「嘱託医の小児発達相談」を実施、発達の遅れを疑う子には、早期に関連機関にアクセスさせている。

③公立

幼保連携型
地域子育て支援センターの職員に年 2 回きていただく
月に1回看護師による相談、また年に 2 回ほど、市の子育てコンシェルジュによる相談を開催している。
町の行政で行っている子育ての相談会(月 2 回)のうちの 1 回を、自園で行う子育て支援事業とコラボして行っている。
子育て支援センターで定員がいっぱいになると、市内の他支援センター職員と連絡を取り合いながら、近くの子育て支援センターを紹介し、切れ目のない支援を心がけている。
幼稚園型
地域の子育て関係機関との連携を行い、イベントを行っている。

（５／６）保護者と子育て支援者の連絡・調整／子育て支援者に対する情報提供・助言

保育所型
地域のボランティアと民生委員、園との共同で地域の子育てサークルを実施している。
自治体との連携（保健師）、園行事への招待
途切れない支援として保・幼・小・中・高との連携を行っている。
子育て支援センターとの協力事業

④その他

保育所型
臨床心理士と常時連携をとり、必要に応じての介入ができるよう取り組んでいる。
地域の人材や資源、ネットワークの活用

（７）その他

①社会福祉法人

幼保連携型
系列法人に老人施設があるので、日頃より、散歩の行き来や野菜などの栽培収穫などにおいて交流をしている。
10 月の次年度の入園申込みの時期に合わせて、こども園体験と給食体験を実施している。
公園に行ったり、運動会、みかん狩りなどに出かけたり、園外活動も行っている。
未就園児だけではなく、卒園後も卒園児や保護者の相談窓口となっている。継続支援を行っている。
デイサービスセンターを併設しているので、異世代交流も行っていました。（現在はコロナで中止）
地域の企業の見学会など
オンラインによるイベントも行っており、県外の方も参加されている。 地域の方にご協力頂き、イベントを行っている。保護者の方に楽しんでもらい、日々の育児等のリフレッシュになるイベントが多い。
絵本・保護者向け育児書の貸し出し
オンライン園庭開放
地域の中学生を対象に子育ての講習会実施。
園では、年間を通してりんごの栽培活動に取り組んでいるため、子育て支援でも園児と同様の体験が出来るようにしている。また、1 食 100 円で給食提供を行い、季節に応じた県産の食材や、行事食などが楽しめるようにしている。
自然教育を生かした野外活動
栄養士による離乳食、幼児食試食会と調理の指導
収穫体験（じゃがいも、さつまいも掘り）
地域に出向いての出前講座

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（7）その他

幼保連携型
地域で感染が拡大したのに対し、毎日の遊び場は閉鎖し、相談事業のみとなったので、オンラインで必要な親子に遊びを提供したり相談も受けるように体制を整えた。
離乳食期のお子さんがいるご家庭を対象に、離乳食相談会（試食や相談等）を開催
各クラスに親子で参加してもらうことで、園の教育方針や、保育者の子ども達への関り方を直に感じてもらっています。
オンライン会議ツールによるママレクチャー会を開催したり、保健師さんと一緒にママレクを開催している。
園内ツアーを実施し、園内で行っている教育・保育の内容について、ワークショップ形式で親子で体験してもらう。
卒園児(小学 1、2 年生)にも年 1 回の集まりを開き、長い支援を行っている
動画配信
妊婦支援、発達支援、多世代（親、多胎児、孫育て）支援
乳児の離乳食の「だし」の取り方と活用
ベビータイム（月 1 回 0 歳児親子のみ参加）、マタニティ広場出産前夫婦参加の日
誕生会に保護者に来てもらい、一日保育体験（保育パパ・ママ）として、子どもの日常の生活や給食内容など経験してもらう
離乳食の試食会、身長・体重測定
子育て親育ちをモットーにした共育ち
保護者による一日保育教諭体験
園内で飼育している動物（馬・やぎ等）のエサやり
来ていただいた、保護者にマッサージのサービスやおもちゃ作り,手遊び、ベビーマッサージをしています。
来園した子を飾り付けした場所に配置し、写真撮影をしたり、子どもの手形・足形アートを作っている。
離乳食や乳児の食事等の取り組みなどを通して子どもの育て方についてのポイントをわかりやすく説明をしている。
コロナウイルスで実現は出来なかったが、プレママさん向けの企画もしていた。
義務教育終了まで継続した家庭との関わり、就学後の児童の受入れ
子育て相談の対象者を限定していない。そのこと自体は特徴的というわけではないが、小中学生、あるいは高校生になってからも、卒園児本人やその保護者が相談に訪れることもあり、在卒園で縁が切れないこと、幼児期に限らずいつまでも子育てや悩みを相談できる場所となっているのが当園の特徴と考えている。
併設型のデイサービス（老人）利用者との交流、同法人における他施設子育てとの交流
地域の学童等にも園を開放して、異年齢でねぶた祭や夕涼みを楽しむ機会を設けており、地域の季節行事となっている

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（7）その他

幼保連携型
月 1 回、近隣の公園にて子育て広場を実施。担当職員は、一時預かり専任職員と主幹保育教諭・看護師等。コロナ禍の時は話し相手を求めて参加される母親もいた。
育児につかれた母親が温泉に入ってゆったりする。昼寝する。
こども食堂を 5 年前に実施したが休んでいる
保護者支援の観点から、園で提供している給食の大人版を無償で提供し、お子様を職員が預かり、ひと時の憩いの時間を過ごしてもらう。　子育てに役立つ物品や子育てにほっとした休息の時間を感じてもらえるような食材の無償提供を不定期に行う。（使い捨てお尻拭き、絵本、スイーツ等）　利用者の皆様に対して、①②のすべてにおいて完全無料で子育て支援サービスを提供している。
年度でテーマを決め、昨年と今年度は、保護者が楽しめるオンライン講座を開催。　コロナ前は、来園してもらい対面で親子講座を開催
社会貢献として、延長保育料金の一部を負担している
2020 年 1 月以降は WEB で子育て相談や絵本の紹介などをした。
ベビーレストラン・・・大人のおかずをつくりながら離乳食をつくる体験（気軽に離乳食つくりを楽しむ）。出産後家庭訪問　・・・保健師が仲介となり出産後の母親の不安解消を目的に保育士が家庭訪問する。季節のお譲り会　・・・年間 3 回寄付された衣類を展示し、欲しい人がもらっていく
施設の保育室や園舎すべてなど、地域の子育て支援者に提供し、地域の子育て支援活動が活発に行われるよう役割を事業として担っている。また、マルシェを開催し、地域の子育てに理解ある一般事業者や個人と支援を必要とする家族、保護者のマッチングを行うことで地域に子育てに対するリテラシーを促進している。
一時預かり後にも送迎バスを運行している。
園の隣接地において、保育農園を活用し、食育増進を展開しております
保育所型
地域を生かした内容でのイベント開催。　例：高齢者とのふれあい、園児と在宅児との散歩など
地域の漁業を体験（生きた魚と触れあう、解体を見る、生き物が循環していることを知る、いただきますの意味を知る）
栄養士による食育指導の時間を毎月設けている
イベント企業に依頼し、地域の人も招いて開催した。また、園で取り入れているベビーサインを紹介し興味を持ってもらった
じばサロン（地域の皆さんから畑仕事や昔の遊びや伝統行事などを教えていただき、一緒に交流する場）
プレママ・プレパパ保育体験
園庭開放で自園調理したおやつの提供や年齢に合った絵本の提供　園での遊び（製作やリトミック）の提供
妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行う。

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（７）その他

保育所型
希少動物の保護活動の一環として地域の在来馬のエサやり・乗馬体験を通した、ふれあいの場を設けている。
地方裁量型
オンラインでの子育て相談やイベント、講座を実施
園庭開放で手作りおやつの提供やレシピ配布している。

②学校法人

幼保連携型
食育の一環として、園で取り組んでいる野菜の栽培を種うえから収穫まで子育て支援でも取り組んでいる。
小さくなった制服など、みんなでシェアしあい使い合えるように提供している
大学との連携と youtube 配信
食育に関する動画や、熱の測り方・幼児の罹りやすい病気等について動画を栄養士や看護師が専門的な知識を生かして配信している。
2 歳児の親子教室で園に慣れてから週 1・2 回のプレ保育を経て満 3 歳児クラスに入るか、試し通園で年少に入るよう段階的に通園できるようにしている。
カフェの併設により、子育て世帯以外の利用者と子育て家族が場の共有をしている。　・大型スーパーのイベントスペースにて施設に行きにくい家庭への講座等の体験の場を設けている。　・市や他施設との連携協力の密なので、お互いの情報を共有したり、共同でイベント開催をしたりしている。
地域のおじいちゃん、おばあちゃんと交流する日を設けている
自然豊かな環境の為、畑活動が盛んです。収穫した野菜を使って親子クッキングを行っています。
自園で持っている畑での栽培活動に参加・秋の収穫を親子一緒に楽しんでいただく・収穫したものを持ち帰る（コロナで調理活動等は出来ずにいました）
希望者には幼稚園で提供している手作り給食の試食ができる
学園内で自然に触れあえる広場を保有していて、年 1 回以上はそこを利用している。
動画配信（絵本・わらべうた・季節の製作・パネルシアター）・マタニティさん向けの育児体験を（ミルク作り・オムツ交換・沐浴）実際に体験する。
食育活動(親子クッキング)
系列の大学キャンパス全てを園庭として使えるので広く緑豊かな敷地を活かした散歩や散策が安全に実施できる
食育や音楽会の取り組みなど行っています。
給食体験・絵本カフェの開放
親子収穫体験　農業産出額が日本一なので、特徴を生かしている。
SNS を活用した相談

3-1　特徴的な取組に関する自由記述一覧

（７）その他

幼保連携型
離乳食指導での試食会とレシピの提供。親子体操。
園内見学の常設　来園者への丁寧な説明
給食体験会
自園給食を味わえるランチルーム、音楽プログラム、造形プログラム
地域のお年寄りと関わり一緒の活動をよりいれている。
地域の公民館で、季節に合わせた製作や触れ合い遊び等を親子で活動している。
給食の提供（有料）
園児保護者が参加できるサークル（卓球クラブ）を設け、毎月交流を図っていただけるようにしている。また、その折にも子育て支援制度や子育てに関する情報を提供、発信している。
併設大学の学生が参加することもあり、学生にとっては学びの場となっている。学生がいることを楽しみにしている参加者もいる。
試験的に、祖父母も対象とした憩いの場の提供も行う。
子どもの文化連絡会（自治体の団体）による人形劇、おはなしなどの文化的催しや、広い敷地を利用して野菜の種まき、収穫の体験を計画し、実施している。
給食の提供
地域の食材を地域の方から提供していただき、これらを基に家庭料理のレシピ等を提供している。
季節に合わせた取り組み（芋掘り等）
自園調理を生かして、給食試食を行った。
オンラインでの相談にも対応
幼稚園型
キリスト教保育の幼稚園で、同じ敷地内に教会があるため、子育て支援センターのおいても、聖書のお話をしたり、教会見学を取り入れたりしている。
大学の専門性をいかした活動　園児との交流保育
隣接する広大な農園を活かした収穫体験と食育教育・情報提供
自園が所有する森林で、自然を体験してもらう取り組みを行っている。
乳幼児から支援する意図として、赤ちゃんカフェから積極的に子育てで孤軍奮闘している母親の支援に努めている　保護者が園活動の理解と連携の一環として、本の貸し出しやベルマーク運動など自主的なボランティア活動を月１回程度行っている
地域の生物館の先生に来てもらい指導を受け、親子が小さな生き物の世界をのぞくという体験をする。
戸外あそびや集団遊び・製作はもちろん、貸農園での収穫体験や、地域の公園などへのミニ遠足などのイベントを開催。毎月子育て情報を掲載した会報誌も発行。
親子給食の実施。しかしコロナで出来ていない。
製作・食育・お店屋さんごっこ

（７）その他

幼稚園型
行政が登園自粛要請を発出した期間では、少人数ごとに参加する園庭開放。　栄養士が調理した子ども用お弁当を無償提供。
保護者の吹奏楽サークル活動を応援しており、年に3回のコンサートを開催している。
幼稚園内に子育て広場を開設することで在園児や保護者サークルとの交流や園が実施する農業体験等を通じて、子どもの成長を総合的に体験することができる。
保育所型
地域の方と連携して、ベーグル屋さんにベーグルの提供、即席みそ汁作りをワークショップとして実施していただいたり、花屋さんにドライフラワーを使ったワークショップを依頼したりと、地域ぐるみで子育て支援ができるような取り組みをしている。

③公立

幼保連携型
園の行事や遊びの様子を写真や映像を使って紹介したり、親子で製作や遊びを楽しんだりして幼児園の紹介を年に1回行っている。
自園には子育て支援センターは併設されていないが、別場所にある系列の地域子育て支援センターは、地域を超えていつでも利用できる日やランチルームも設けている。
地域のお年寄りや未入園児を招き、運動会・夏祭り、昔あそびなどを一緒に楽しむ。
希望者に体重測定等を実施
発育測定・カレンダー作り・誕生会を毎月実施している。
小・中規模の園児数だが施設が広いため、ゆったりとした雰囲気の中で活動できる。学校のような循環型プールが備えられており、夏場はプール遊びも実施している。
保育所型
保育所開放日、運動会での交流、入所前の新入児体験入所
保育園内にあるため、入園を意識した利用や相談がしやすい。
保護者会主催で、夏祭り・移動動物園・子育て講座などの取り組みがある

④その他

保育所型
保護者とともにこどもの成長を見守りに大切にしており、保護者が保育に参加する機会を多く設けている。卒園後も園とつながり成長を見守っている。
地方裁量型
親子での自然体験　モンテッソーリメソッドの体験を通し、子どもへの関わり方など

3－2　単純集計結果

当アンケートの単純集計結果を以下に記載する。

【問1-1】　（都道府県名　※選択）

北海道	196（　6.0%）
青森県	136（　4.2%）
岩手県	48（　1.5%）
宮城県	45（　1.4%）
秋田県	80（　2.5%）
山形県	45（　1.4%）
福島県	57（　1.8%）
茨城県	70（　2.2%）
栃木県	81（　2.5%）
群馬県	95（　2.9%）
埼玉県	47（　1.4%）
千葉県	87（　2.7%）
東京都	53（　1.6%）
神奈川県	26（　0.8%）
新潟県	65（　2.0%）
富山県	67（　2.1%）
石川県	70（　2.2%）
福井県	79（　2.4%）
山梨県	41（　1.3%）
長野県	21（　0.6%）
岐阜県	56（　1.7%）
静岡県	133（　4.1%）
愛知県	126（　3.9%）
三重県	36（　1.1%）
滋賀県	31（　1.0%）
京都府	56（　1.7%）
大阪府	236（　7.3%）
兵庫県	140（　4.3%）
奈良県	42（　1.3%）
和歌山県	31（　1.0%）
鳥取県	27（　0.8%）
島根県	32（　1.0%）
岡山県	71（　2.2%）
広島県	77（　2.4%）
山口県	43（　1.3%）
徳島県	37（　1.1%）
香川県	42（　1.3%）
愛媛県	40（　1.2%）
高知県	19（　0.6%）
福岡県	65（　2.0%）
佐賀県	33（　1.0%）
長崎県	59（　1.8%）
熊本県	71（　2.2%）
大分県	86（　2.6%）
宮崎県	73（　2.2%）
鹿児島県	108（　3.3%）
沖縄県	59（　1.8%）
無回答	16（　0.5%）
合計	3254（　100.0%）

【問1-2-2】　※市区町村（単位）選択

市	2664（　81.9%）
区	141（　4.3%）
町	414（　12.7%）
村	16（　0.5%）
無回答	19（　0.6%）
合計	3254（　100.0%）

【問3】　貴園での認定こども園開設の経緯

新設	208（　6.4%）
認定こども園（すべての類型を含む）から移行	101（　3.1%）
合流（保育所と幼稚園が合併）	323（　9.9%）
幼稚園より移行	1002（　30.8%）
保育所より移行	1466（　45.1%）
その他（具体的に）	130（　4.0%）
無回答	24（　0.7%）
合計	3254（　100.0%）

【問4】　貴園の運営主体

市区町村	580（　17.8%）
学校法人	1070（　32.9%）
社会福祉法人	1481（　45.5%）
その他（具体的に）	81（　2.5%）
無回答	42（　1.3%）
合計	3254（　100.0%）

【問5】　貴園の分類

幼保連携型	2336（　71.8%）
幼稚園型	437（　13.4%）
保育所型	405（　12.4%）
地方裁量型	46（　1.4%）
無回答	30（　0.9%）
合計	3254（　100.0%）

【問6-1】　教育・保育従事者（正規）（人）（数値）

合計	46632
平均	14.5045101
最大	111
最小	0
回答件数	3215

【問6-2】　教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム）（人）（数値）

合計	31565
平均	9.81804044
最大	210
最小	0
回答件数	3215

【問6-3】　子育て支援員等（正規）（人）（数値）

合計	1186
平均	0.3688958
最大	30
最小	0
回答件数	3215

【問6-4】　子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人）（数値）

合計	3162
平均	0.98351477
最大	15
最小	0
回答件数	3215

【問6-5】　それ以外の職員（人）（数値）

合計	19953
平均	6.20622084
最大	53
最小	0
回答件数	3215

【問7-1】　在籍園児数　合計（人）（数値）

合計	412008
平均	127.754419
最大	490
最小	4
回答件数	3225

【問7-2】　在籍園児数　1号認定（人）（数値）

合計	119853
平均	37.1637209
最大	387
最小	0
回答件数	3225

【問7-3】　在籍園児数　2号認定（人）（数値）

合計	183318
平均	56.8427907
最大	251
最小	0
回答件数	3225

【問7-4】　在籍園児数　3号認定（人）（数値）

合計	108360
平均	33.6
最大	182
最小	0
回答件数	3225

【問8】　貴園の子育て支援事業　実施項目 1.地域の親子が交流する場の開設 (複数回答)

地域の親子が交流する場の開設	2771（　85.2%)
家庭への情報提供・相談事業	1506（　46.3%)
一時預かり事業（施設型）	2211（　67.9%)
一時預かり事業（訪問型）	57（　1.8%)
保護者と子育て支援者の連絡・調整を行う	521（　16.0%)
保護者と子育て支援者に対する情報提供	358（　11.0%)
その他	324（　10.0%)
無回答	58（　1.8%)
回答件数	3254（　2.40)

【問10】　子育て事業の実施日数 1..地域の親子が交流する場の開設（通常）

週3以上	716（　25.8%)
週1,2回程度	508（　18.3%)
月2，3回程度	552（　19.9%)
月1回程度	549（　19.8%)
年1回程度	277（　10.0%)
不定期	74（　2.7%)
無回答	95（　3.4%)
合計	2771（　100.0%)

【問10】　1..地域の親子が交流する場の開設（現在）

週3以上	605（　21.8%)
週1,2回程度	336（　12.1%)
月2，3回程度	345（　12.5%)
月1回程度	424（　15.3%)
年1回程度	366（　13.2%)
不定期	395（　14.3%)
無回答	300（　10.8%)
合計	2771（　100.0%)

【問10】　2.家庭への情報提供・相談事業 （通常）

週3以上	340 （ 22.6%）
週1,2回程度	154 （ 10.2%）
月2，3回程度	194 （ 12.9%）
月1回程度	278 （ 18.5%）
年1回程度	158 （ 10.5%）
不定期	290 （ 19.3%）
無回答	92 （ 6.1%）
合計	1506 （ 100.0%）

【問10】　2.家庭への情報提供・相談事業 （現在）

週3以上	312 （ 20.7%）
週1,2回程度	135 （ 9.0%）
月2，3回程度	156 （ 10.4%）
月1回程度	258 （ 17.1%）
年1回程度	155 （ 10.3%）
不定期	342 （ 22.7%）
無回答	148 （ 9.8%）
合計	1506 （ 100.0%）

【問10】　3.一時預かり事業（施設型） （通常）

週3以上	1279 （ 57.8%）
週1,2回程度	157 （ 7.1%）
月2，3回程度	88 （ 4.0%）
月1回程度	36 （ 1.6%）
年1回程度	96 （ 4.3%）
不定期	412 （ 18.6%）
無回答	143 （ 6.5%）
合計	2211 （ 100.0%）

【問10】　3.一時預かり事業（施設型） （現在）

週3以上	1134 （ 51.3%）
週1,2回程度	163 （ 7.4%）
月2，3回程度	88 （ 4.0%）
月1回程度	55 （ 2.5%）
年1回程度	120 （ 5.4%）
不定期	438 （ 19.8%）
無回答	213 （ 9.6%）
合計	2211 （ 100.0%）

【問10】　3'.一時預かり事業（訪問型）（通常）

週3以上	18（　31.6%）
週1,2回程度	3（　5.3%）
月2，3回程度	4（　7.0%）
月1回程度	0（　0.0%）
年1回程度	2（　3.5%）
不定期	12（　21.1%）
無回答	18（　31.6%）
合計	57（　100.0%）

【問10】　3'.一時預かり事業（訪問型）（現在）

週3以上	15（　26.3%）
週1,2回程度	2（　3.5%）
月2，3回程度	2（　3.5%）
月1回程度	0（　0.0%）
年1回程度	3（　5.3%）
不定期	14（　24.6%）
無回答	21（　36.8%）
合計	57（　100.0%）

【問10】　4.保護者と子育て支援者の連絡・調整を行う（通常）

週3以上	80（　15.4%）
週1,2回程度	20（　3.8%）
月2，3回程度	44（　8.4%）
月1回程度	79（　15.2%）
年1回程度	88（　16.9%）
不定期	157（　30.1%）
無回答	53（　10.2%）
合計	521（　100.0%）

【問10】　4.保護者と子育て支援者の連絡・調整を行う（現在）

週3以上	67（　12.9%）
週1,2回程度	23（　4.4%）
月2，3回程度	39（　7.5%）
月1回程度	66（　12.7%）
年1回程度	82（　15.7%）
不定期	171（　32.8%）
無回答	73（　14.0%）
合計	521（　100.0%）

【問10】　5.保護者と子育て支援者に対する情報提供 （通常）

週3以上	72 （ 15.7%）
週1,2回程度	23 （ 5.0%）
月2，3回程度	47 （ 10.2%）
月1回程度	74 （ 16.1%）
年1回程度	93 （ 20.2%）
不定期	133 （ 28.9%）
無回答	18 （ 3.9%）
合計	460 （ 100.0%）

【問10】　5.保護者と子育て支援者に対する情報提供 （現在）

週3以上	61 （ 13.6%）
週1,2回程度	25 （ 5.6%）
月2，3回程度	39 （ 8.7%）
月1回程度	67 （ 15.0%）
年1回程度	83 （ 18.6%）
不定期	150 （ 33.6%）
無回答	22 （ 4.9%）
合計	447 （ 100.0%）

【問10】　6.その他 （通常）

週3以上	73 （ 24.4%）
週1,2回程度	27 （ 9.0%）
月2，3回程度	32 （ 10.7%）
月1回程度	34 （ 11.4%）
年1回程度	52 （ 17.4%）
不定期	45 （ 15.1%）
無回答	36 （ 12.0%）
合計	299 （ 100.0%）

【問10】　6.その他 （現在）

週3以上	62 （ 21.1%）
週1,2回程度	22 （ 7.5%）
月2，3回程度	24 （ 8.2%）
月1回程度	25 （ 8.5%）
年1回程度	37 （ 12.6%）
不定期	73 （ 24.8%）
無回答	51 （ 17.3%）
合計	294 （ 100.0%）

【問11-1-1】　対象者 地域の親子が交流する場の開設_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	878（　31.9%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	721（　26.2%)
在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	2489（　90.5%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	1802（　65.5%)
妊婦	573（　20.8%)
その他	132（　4.8%)
無回答	72（　2.6%)
回答件数	2751（　2.42)

【問11-2-1】　対象者 家庭への情報提供・相談_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	1032（　68.5%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	1058（　70.3%)
.在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	1038（　68.9%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	860（　57.1%)
妊婦	396（　26.3%)
その他	96（　6.4%)
無回答	106（　7.0%)
回答件数	1506（　3.05)

【問11-3-1】　対象者 一時預かり（施設型）_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	504（　22.8%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	910（　41.2%)
.在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	1490（　67.4%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	1321（　59.7%)
妊婦	135（　6.1%)
その他	82（　3.7%)
無回答	146（　6.6%)
回答件数	2211（　2.08)

【問11-3'-1】　対象者 一時預かり（訪問型）_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	4（　7.0%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	2（　3.5%)
.在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	10（　17.5%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	7（　12.3%)
妊婦	1（　1.8%)
その他	2（　3.5%)
無回答	44（　77.2%)
回答件数	57（　1.23)

【問11-4-1】　対象者 保護者と子育て支援者の連絡・調整_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	308（　59.1%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	330（　63.3%)
.在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	256（　49.1%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	217（　41.7%)
妊婦	97（　18.6%)
その他	34（　6.5%)
無回答	80（　15.4%)
回答件数	521（　2.54)

【問11-5-1】　対象者 子育て支援者に対する情報提供・助言_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	259（　57.3%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	262（　58.0%)
.在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	254（　56.2%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	220（　48.7%)
妊婦	98（　21.7%)
その他	69（　15.3%)
無回答	40（　8.8%)
回答件数	452（　2.66)

【問11-6-1】　対象者 その他_ 1.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者 (複数回答)

.在園児（0～2歳）の乳幼児・保護者	121（　37.3%)
在園児（3歳以上）の幼児・保護者	128（　39.5%)
.在園児以外（0～2歳）の乳幼児・保護者	142（　43.8%)
在園児以外（3歳以上）の幼児・保護者	113（　34.9%)
妊婦	45（　13.9%)
その他	60（　18.5%)
無回答	85（　26.2%)
回答件数	324（　2.14)

【問12A】職員人数_教育・保育従事者（人） 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	5174
平均	1.95318988
最大	41
最小	0
回答件数	2649

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	2386
平均	0.90071725
最大	47
最小	0
回答件数	2649

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	573
平均	0.21630804
最大	11
最小	0
回答件数	2649

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	882
平均	0.33295583
最大	18
最小	0
回答件数	2649

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	768
平均	0.28992072
最大	47
最小	0
回答件数	2649

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	4232
平均	3.11405445
最大	36
最小	0
回答件数	1359

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	1334
平均	0.98160412
最大	43
最小	0
回答件数	1359

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	352
平均	0.25901398
最大	14
最小	0
回答件数	1359

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	399
平均	0.29359823
最大	18
最小	0
回答件数	1359

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	426
平均	0.31346578
最大	14
最小	0
回答件数	1359

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 3.一時預かり（施設）（数値）

合計	4470
平均	2.17306757
最大	41
最小	0
回答件数	2057

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 3.一時預かり（施設）（数値）

合計	3111
平均	1.51239669
最大	28
最小	0
回答件数	2057

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 3.一時預かり（施設）（数値）

合計	366
平均	0.17792902
最大	17
最小	0
回答件数	2057

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 3.一時預かり（施設）（数値）

合計	631
平均	0.30675741
最大	18
最小	0
回答件数	2057

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 3.一時預かり（施設）（数値）

合計	362
平均	0.17598444
最大	15
最小	0
回答件数	2057

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	7
平均	0.77777778
最大	2
最小	0
回答件数	9

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	7
平均	0.77777778
最大	2
最小	0
回答件数	9

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	5
平均	0.55555556
最大	2
最小	0
回答件数	9

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	4
平均	0.44444444
最大	2
最小	0
回答件数	9

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	0
平均	0
最大	0
最小	0
回答件数	9

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 4.保護者と子育て支援者の連絡・調整 (数値)

合計	1154
平均	2.66512702
最大	30
最小	0
回答件数	433

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 4.保護者と子育て支援者の連絡・調整 (数値)

合計	398
平均	0.91916859
最大	43
最小	0
回答件数	433

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 4.保護者と子育て支援者の連絡・調整 (数値)

合計	153
平均	0.35334873
最大	14
最小	0
回答件数	433

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 4.保護者と子育て支援者の連絡・調整 (数値)

合計	138
平均	0.3187067
最大	6
最小	0
回答件数	433

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 4.保護者と子育て支援者の連絡・調整 (数値)

合計	107
平均	0.24711316
最大	10
最小	0
回答件数	433

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	731
平均	2.37337662
最大	30
最小	0
回答件数	308

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	302
平均	0.98051948
最大	21
最小	0
回答件数	308

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	95
平均	0.30844156
最大	10
最小	0
回答件数	308

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	102
平均	0.33116883
最大	18
最小	0
回答件数	308

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	83
平均	0.26948052
最大	5
最小	0
回答件数	308

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 6.その他 (数値)

合計	497
平均	2.19911504
最大	19
最小	0
回答件数	226

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 6.その他 (数値)

合計	267
平均	1.18141593
最大	14
最小	0
回答件数	226

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 6.その他 (数値)

合計	50
平均	0.22123894
最大	19
最小	0
回答件数	226

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 6.その他 (数値)

合計	64
平均	0.28318584
最大	10
最小	0
回答件数	226

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 6.その他 (数値)

合計	98
平均	0.43362832
最大	14
最小	0
回答件数	226

【問12A】職員人数_教育・保育従事者 実人数 (数値)

合計	6347
平均	3.60625
最大	57
最小	0
回答件数	1760

【問12B】職員人数_教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人） 実人数 (数値)

合計	3482
平均	1.97840909
最大	47
最小	0
回答件数	1760

【問12C】職員人数_子育て支援員等（正規）（人） 実人数 (数値)

合計	709
平均	0.40284091
最大	23
最小	0
回答件数	1760

【問12D】職員人数_子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム）（人） 実人数 (数値)

合計	1010
平均	0.57386364
最大	20
最小	0
回答件数	1760

【問12E】職員人数_その他の職員（人） 実人数 (数値)

合計	906
平均	0.51477273
最大	40
最小	0
回答件数	1760

【問13-1-1】子育て支援事業_令和元年度（人） ※延べ人数 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	1417259
平均	632.987494
最大	20062
最小	0
回答件数	2239

【問13-2-1】子育て支援事業_令和２年度（人） ※延べ人数 1.地域の親子が交流する場 (数値)

合計	880971
平均	393.46628
最大	17760
最小	0
回答件数	2239

【問13-1-2】令和元年度（人） 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	372642
平均	345.038889
最大	88695
最小	0
回答件数	1080

【問13-1-2】令和２年度（人） ※延べ人数 2.家庭への情報提供・相談 (数値)

合計	312488
平均	289.340741
最大	46959
最小	0
回答件数	1080

【問13-1-3】令和元年度（人）　3.一時預かり（施設）（数値）

合計	1586664
平均	894.903553
最大	33871
最小	0
回答件数	1773

【問13-1-3】令和２年度（人）　※延べ人数 3.一時預かり（施設）（数値）

合計	1426735
平均	804.701072
最大	34190
最小	0
回答件数	1773

【問13-1-3'】令和元年度（人）　3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	2528
平均	13.9668508
最大	510
最小	0
回答件数	181

【問13-1-3'】令和２年度（人）　※延べ人数 3'.一時預かり（訪問）（数値）

合計	2535
平均	14.1620112
最大	1184
最小	0
回答件数	179

【問13-1-4】令和元年度（人）　4.保護者と子育て支援者の連絡・調整（数値）

合計	92143
平均	224.739024
最大	19063
最小	0
回答件数	410

【問13-1-4】令和２年度（人）　※延べ人数 4.保護者と子育て支援者の連絡・調整（数値）

合計	71052
平均	173.721271
最大	17760
最小	0
回答件数	409

【問13-1-5】令和元年度（人）　5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	60300
平均	151.12782
最大	17760
最小	0
回答件数	399

【問13-1-5】令和２年度（人）　※延べ人数 5.子育て支援者に対する情報提供・助言 (数値)

合計	41806
平均	106.920716
最大	17760
最小	0
回答件数	391

【問13-1-6】令和元年度（人）　6.その他 (数値)

合計	119801
平均	392.790164
最大	23917
最小	0
回答件数	305

【問13-1-6】令和２年度（人）　※延べ人数 6.その他 (数値)

合計	106528
平均	351.577558
最大	22693
最小	0
回答件数	303

【問14-1】　特に実施していない　(複数回答)

特に実施していない	101（　3.1%)
子育て支援事業の広報方法_園のWEBサイト・SNSで告知	1927（　59.2%)
園で発行するチラシ等配布物で告知	2008（　61.7%)
自治体のWEBサイト	861（　26.5%)
自治体で発行するチラシ等配布物で告知	1036（　31.8%)
園にポスター等を設置	1235（　38.0%)
公共施設にポスター等を設置	588（　18.1%)
民間施設にポスター等を設置	413（　12.7%)
その他	149（　4.6%)
無回答	174（　5.3%)
回答件数	3254（　2.61)

【問15-1】　子育て支援事業の取組_特に実施していない（複数回答）

特に実施していない	603	（ 18.5%）
専門的な人材（栄養士、助産師、臨床心理士等）を配置している	790	（ 24.3%）
専門的な人材は配置していないが、これらの専門的な人材と連携した取組を実施している	647	（ 19.9%）
法人内や姉妹園間で連携した取り組みを実施している	722	（ 22.2%）
自治体と連携した取り組みをしている	1032	（ 31.7%）
他の園と連携した取り組みをしている	330	（ 10.1%）
他の子育て支援団体や企業と連携した取り組みをしている	371	（ 11.4%）
就学後の支援（放課後児童クラブ等）と連携した取り組みをしている	314	（ 9.6%）
発達支援センターや特別支援に関する専門家等と連携した取り組みをしている	886	（ 27.2%）
その他	100	（ 3.1%）
無回答	309	（ 9.5%）
回答件数	3254	（ 1.88）

【問17-1】　新型コロナウイルス感染症の影響を受けての対応_特に影響はない（複数回答）

特に影響はない	213	（ 6.5%）
全部の子育て支援事業を中止にした	548	（ 16.8%）
一部の子育て支援事業を中止にした	1470	（ 45.2%）
子育て支援事業の実施回数を減らした	1288	（ 39.6%）
子育て支援事業の利用者人数の制限をした・減らした	1236	（ 38.0%）
子育て支援事業を予約制にした	778	（ 23.9%）
子育て支援事業をオンライン開催にした	116	（ 3.6%）
子育て支援事業に出入りする人員の人数を制限した	549	（ 16.9%）
その他	191	（ 5.9%）
無回答	225	（ 6.9%）
回答件数	3254	（ 2.03）

【問18-1】　子育て支援事業での課題_特になし（複数回答）

特になし	746	（ 22.9%）
利用者が多すぎてすべてに対応できない	197	（ 6.1%）
利用者が少ない	788	（ 24.2%）
宣伝広報が出来ていない	342	（ 10.5%）
子育て支援事業にあたる職員・人員が少ない	1132	（ 34.8%）
子育て支援事業の内容の充実が出来ていない	501	（ 15.4%）
財源が不足している	409	（ 12.6%）
自治体との連携や調整が不十分	114	（ 3.5%）
その他	196	（ 6.0%）
無回答	309	（ 9.5%）
回答件数	3254	（ 1.45）

【問19-1】　子育て支援事業は、どのように実施しているかご回答ください。＜自主事業＞（複数回答）

自主財源	1112（　34.2%）
利用者支援事業	593（　18.2%）
延長保育事業	1928（　59.3%）
実費徴収に係る補足給付を行う事業	231（　7.1%）
多様な事業者の参入促進・能力活用事業	34（　1.0%）
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	292（　9.0%）
子育て短期支援事業	45（　1.4%）
乳児家庭全戸訪問事業	59（　1.8%）
養育支援訪問事業	31（　1.0%）
子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	35（　1.1%）
地域子育て支援拠点事業	644（　19.8%）
一時預かり事業	1866（　57.3%）
病児保育事業	238（　7.3%）
子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	61（　1.9%）
妊婦検診	20（　0.6%）
その他	190（　5.8%）
無回答	311（　9.6%）
回答件数	3254（　2.36）

【問20-1】　子育て支援事業の年間費用（2020年度実績）_1.年間総額（円）（数値）

合計	1.1183E+10
平均	5665061.84
最大	210677572
最小	0
回答件数	1974

【問20-2】　2.1のうち、自治体からの委託費・補助金等（円）（数値）

合計	7594459170
平均	4415383.24
最大	188877935
最小	0
回答件数	1720

【問20-3】　3.1のうち、民間等からの助成金の額（円）（数値）

合計	74427082
平均	76023.5771
最大	8550000
最小	0
回答件数	979

【問21-1】　地域子育て支援拠点事業の支援拠点になっているか

拠点になっている	1269（　39.0%）
拠点になっていない	1825（　56.1%）
無回答	160（　4.9%）
合計	3254（　100.0%）

【問21-2】　地域子育て支援拠点事業の支援拠点での取組は、園の認可申請時の子育て支援事業に位置づけられているか

位置づけられている	1137（　89.6%）
位置づけられていない	90（　7.1%）
無回答	42（　3.3%）
合計	1269（　100.0%）

【問21-3-1】　地域子育て支援拠点事業の支援拠点となっていない理由_1.特にない（複数回答）

特にない	356（　19.5%）
人員体制がととのっていない	690（　37.8%）
財源が不足している	229（　12.5%）
自治体に採択されない	470（　25.8%）
ニーズがない	189（　10.4%）
その他	277（　15.2%）
無回答	113（　6.2%）
回答件数	1825（　1.27）

【問21-4】　地域子育て支援拠点事業の支援拠点と情報共有などの連携

連携をしている	585（　32.1%）
連携をしていない	971（　53.2%）
近隣に地域子育て支援拠点がない	163（　8.9%）
無回答	106（　5.8%）
合計	1825（　100.0%）

【問22-1】　今後の展望や、新たに予定されている取組

特にない	2549（　78.3%）
ある	405（　12.4%）
無回答	300（　9.2%）
合計	3254（　100.0%）

【問26】　ヒアリング調査ご協力の可否

はい	872（　26.8%）
いいえ	2059（　63.3%）
無回答	323（　9.9%）
合計	3254（　100.0%）

3-3　調査票（アンケートWEB画面）

当アンケートで実際に使用した調査票（アンケートWEB画面）を以下に掲載する。

内閣府子ども・子育て本部 補助事業 「認定こども園における子育て支援事業の取り組み等に関する調査」

はじめに

現在、株式会社リベルタス・コンサルティングでは、内閣府子ども・子育て本部の補助事業として「認定こども園における子育て支援事業の取り組み等に関する調査研究事業」を行っております。本事業調査研究の一環として、全国の認定こども園を対象としたアンケート調査を実施することとなりました。

つきましては、本アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

本調査は、今後の認定こども園に関する政策を検討する上で重要な資料となりますので是非ご協力をお願いします。

※この調査は調査目的のみに使用し、回答はすべて統計的に処理され、
回答者個人についての情報が他の目的で使われることや、個人が特定されることは決してありません。
※個別のご回答内容が外部に公開されることは一切ありません。
※本調査は、厳重な個人情報管理のもと、回収及び集計を、株式会社リベルタス・コンサルティング（Pマーク取得事業者　取得番号10822382(07)）が行います。

[回答上の注意]

・１２月２８日（火）までにご回答願います。

・回答は、１つの認定こども園につき1回となります。

・同一のパソコンからは、1園しか回答ができないようになっております（同一のパソコンから別の方が回答した場合、最初の回答が上書きされます。）

・画面下の「次へ」「完了」ボタンを押すと、回答はサーバーに保存されます。「次へ」ボタンを押していただければ、一旦中断ができるようになっています。なお、回答完了後も修正は可能です。（本機能が正しく動作するためには、回答ブラウザでCookieが有効に設定されている必要があります。回答を完了するたびにCookieを削除している場合は、回答は保存されません）

・*は、回答必須の質問となっています。回答をしないと次のページには進めません。

【調査実施に関するお問合せ先】
株式会社 リベルタス・コンサルティング
〒102-0085 東京都千代田区六番町２-14 東越六番町ビル２Ｆ
担当者：貞方、傍島、八田 ＴＥＬ：０１２０－５７５－３３２（フリーダイヤル）
e-mail：kodomoen@libertas.co.jp
受付：平日10：00～17：00（土・日・祝を除く）

１．貴園の概要についてお伺いします。
（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問１　貴園の所在地についてご回答ください。

（都道府県名　※選択）

（市区町村名を記入）

※市区町村選択

問２　認定こども園の認定を受けた年（西暦）をご回答ください。

問３　貴園での認定こども園開設の経緯をご回答ください。

- 新設
- 認定こども園（すべての類型を含む）から移行
- 合流（保育所と幼稚園が合併）
- 幼稚園より移行
- 保育所より移行
- その他(具体的に)

問４　貴園の運営主体についてご回答ください。

- 市区町村
- 学校法人
- 社会福祉法人
- その他(具体的に)

問５　貴園は以下の分類のうちどれに該当するかご回答ください。

- ○ 幼保連携型
- ○ 幼稚園型
- ○ 保育所型
- ○ 地方裁量型

問６　貴園にお勤めの職員数をご回答ください。

①教育・保育従事者（正規）（人）

②教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人）

③子育て支援員等（正規）（人）

④子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム））（人）

＊子育て支援員等とは、園において専ら子育て支援に従事している方を指します。

⑤それ以外の職員（人）

問７　貴園の在籍園児数をご回答ください。

在籍園児数（人）

合計	
うち1号認定	
うち2号認定	
うち3号認定	

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。（個々の事業について）（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問８　貴園の子育て支援事業の実施項目はどの事業に該当しますか。　※１
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。
（あてはまるもの全て）

- ☐ ①地域の親子が交流する場の開設（交流の場での情報提供・相談支援含む）
- ☐ ②家庭への情報提供・相談事業（育児支援のための家庭訪問事業等）
- ☐ ③一時預かり事業（施設型）　※２
- ☐ ③'一時預かり事業（訪問型）　※２
- ☐ ④保護者と子育て支援者（ファミリーサポートセンター等支援団体、サークル、ボランティア等）の連絡・調整を行う事業
- ☐ ⑤子育て支援者（ファミリーサポートセンター等支援団体、サークル、ボランティア等）に対する情報提供・助言を行う事業
- ☐ ⑥その他 (具体的に)

※１ 上記①～⑤は、それぞれ、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律施行規則第二条一～五号に対応しています。
※２ 施設型：認定こども園、その他施設で実施するもの
訪問型：利用児童の居宅において実施するもの

※本ページの以下の質問は、上記質問で実施していると回答した事業（①～⑥）のみ、ご回答ください。

問９　貴園が実施している子育て支援事業の内容を具体的にご記入ください。
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設型）

③'一時預かり（訪問型）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

問10　貴園の実施している子育て事業の実施日数をご回答ください。
※「通常」の部分には、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

	実施日数（通常時）	実施日数（現在（令和３年１２月））
①地域の親子が交流する場の開設		
②家庭への情報提供・相談		
③一時預かり（施設型）		
③'一時預かり（訪問型）		
④保護者と子育て支援者の連絡・調整		
⑤子育て支援者に対する情報提供・助言		
⑥その他		

問11　貴園の実施している子育て支援事業の主な対象者をご回答ください。
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。
（あてはまるもの全て）

	在園児（0～2歳）の乳幼児及び乳幼児の保護者	在園児（3歳以上）の幼児及び幼児の保護者	在園児以外（0～2歳）の乳幼児及びその保護者	在園児以外（3歳以上）の幼児及びその保護者	妊婦	その他
①地域の親子が交流する場の開設	□	□	□	□	□	□
②家庭への情報提供・相談	□	□	□	□	□	□
③一時預かり（施設型）	□	□	□	□	□	□
③'一時預かり（訪問型）	□	□	□	□	□	□
④保護者と子育て支援者の連絡・調整	□	□	□	□	□	□
⑤子育て支援者に対する情報提供・助言	□	□	□	□	□	□
⑥その他	□	□	□	□	□	□

その他 (具体的に)

問**12** 貴園の実施している子育て支援事業に関わる職員の人数をご回答ください。
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

A.教育・保育従事者（正規）（人）

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

〇子育て事業に関わる人数計（実人数）
※例えば①と②に関わる人がいる場合は１名とカウント

B.教育・保育従事者（非正規（フル・パートタイム））（人）

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

〇子育て事業に関わる人数計（実人数）

※例えば①と②に関わる人がいる場合は１名とカウント

C.子育て支援員等（正規）（人）

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

〇子育て事業に関わる人数計（実人数）

※例えば①と②に関わる人がいる場合は１名とカウント

D.子育て支援員等（非正規（フル・パートタイム））（人）

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

〇子育て事業に関わる人数計（実人数）
※例えば①と②に関わる人がいる場合は１名とカウント

＊子育て支援員等とは、園において専ら子育て支援に従事している方を指します。

E.その他の職員（人）

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

〇子育て事業に関わる人数計（実人数）
※例えば①と②に関わる人がいる場合は１名とカウント

その他の職員について具体的にご記入ください。

問**13** 貴園の実施している子育て支援事業の年間の利用者数をご回答ください。

令和元年度（人）　※延べ人数

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

令和２年度（人）　※延べ人数

①地域の親子が交流する場の開設

②家庭への情報提供・相談

③一時預かり（施設）

③'一時預かり（訪問）

④保護者と子育て支援者の連絡・調整

⑤子育て支援者に対する情報提供・助言

⑥その他

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。（全体的な実施方法や課題）
（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問14　貴園の子育て支援事業の広報方法をご回答ください。（あてはまるもの全て）
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

- ☐ 園のWEBサイト・SNSで告知
- ☐ 園で発行するチラシ等配布物で告知
- ☐ 自治体のWEBサイト
- ☐ 自治体で発行するチラシ等配布物で告知
- ☐ 園にポスター等を設置
- ☐ 公共施設にポスター等を設置
- ☐ 民間施設にポスター等を設置
- ☐ その他 (具体的に)

[　　]

- ☐ 特に実施していない

問15　貴園の子育て支援事業では、下記のような取組は行われているかご回答ください。（あてはまるもの全て）
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

- ☐ 専門的な人材（栄養士、助産師、臨床心理士等）を配置している
- ☐ 専門的な人材（栄養士、助産師、臨床心理士等）は配置していないが、これらの専門的な人材と連携した取組を実施している
- ☐ 法人内や姉妹園間で連携した取り組みを実施している
- ☐ 自治体と連携した取り組みをしている
- ☐ 他の園と連携した取り組みをしている
- ☐ 他の子育て支援団体や企業と連携した取り組みをしている
- ☐ 就学後の支援（放課後児童クラブ等）と連携した取り組みをしている
- ☐ 発達支援センターや特別支援に関する専門家等と連携した取り組みをしている
- ☐ その他 (具体的に)

[　　]

- ☐ 特に実施していない

※専門的な人材を配置、連携している場合、具体的な専門性を活かした職務内容をお答えください。

問16　貴園の子育て支援事業において、特徴的な取組がありましたら、具体的にご記入ください。
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

問17　貴園の子育て支援事業において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、どのような対応をしたかご回答ください。（あてはまるもの全て）

- ☐ 全部の子育て支援事業を中止にした
- ☐ 一部の子育て支援事業を中止にした
- ☐ 子育て支援事業の実施回数を減らした
- ☐ 子育て支援事業の利用者人数の制限をした・減らした
- ☐ 子育て支援事業を予約制にした
- ☐ 子育て支援事業をオンライン開催にした
- ☐ 子育て支援事業に出入りする人員の人数を制限した
- ☐ その他 (具体的に)
- ☐ 特に影響なない

問18　貴園での子育て支援事業での課題についてご回答ください。（あてはまるもの全て）
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

- ☐ 利用者が多すぎてすべてに対応できない
- ☐ 利用者が少ない
- ☐ 宣伝広報が出来ていない
- ☐ 子育て支援事業にあたる職員・人員が少ない
- ☐ 子育て支援事業の内容の充実が出来ていない
- ☐ 財源が不足している
- ☐ 自治体との連携や調整が不十分
- ☐ その他 (具体的に)
- ☐ 特になし

※「自治体との連携や調整が不十分」と回答した場合、具体的な内容をご記入ください。

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。（事業実施方法）（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問19　貴園の子育て支援事業は、どのように実施しているかご回答ください。（あてはまるもの全て）
※新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止・休止しているものも含めてご回答ください。

＜自主事業＞

- ☐ 自主事業（自主財源）

＜自治体の地域子ども・子育て支援事業（13事業）＞

- ☐ 利用者支援事業
- ☐ 延長保育事業
- ☐ 実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ☐ 多様な事業者の参入促進・能力活用事業
- ☐ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）
- ☐ 子育て短期支援事業
- ☐ 乳児家庭全戸訪問事業
- ☐ 養育支援訪問事業
- ☐ 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業
- ☐ 地域子育て支援拠点事業
- ☐ 一時預かり事業
- ☐ 病児保育事業
- ☐ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）
- ☐ 妊婦健診

＜その他＞

- ☐ 上記以外の補助・委託事業等

（上記以外の補助・委託事業等の内容を具体的にご記入ください）

問20　貴園の子育て支援事業に年間でかかる費用をご記入下さい。（2020年度実績）

①年間総額（円）

② ①のうち、自治体からの委託費・補助金等の額（円）

③ ①のうち、民間等からの助成金の額（円）

※年間総額については概ねの額の回答で結構です。

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。（地域子育て支援拠点事業について）
（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）
*は、回答必須の質問となっています。

少子化社会対策大綱（令和2年5月29日閣議決定）では、次のことが示されています。

２ 多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える
Ⅰ－２（１）子育てに関する支援（経済的支援、心理的・肉体的負担の軽減等）
（保護者の就業形態や就業の有無等にかかわらない多様な保育・子育て支援の拡充）
・認定こども園については、地域子育て支援拠点事業の活用等により、
　子育て親子の交流の場の提供や子育て等に関する相談・援助など、地域における子育て支援を充実する。

【参考】少子化社会対策大綱
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/law/taikou_r02.html

＊問21　貴園では、地域子育て支援拠点事業の支援拠点となっているかご回答ください。

- ◯ 拠点になっている
- ◯ 拠点になっていない

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。
（地域子育て支援拠点事業との関係について）
（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問21-2　地域子育て支援拠点事業の支援拠点での取組は、園の認可申請時（その後の変更申請を含む）の子育て支援事業に位置づけられているかご回答ください。

- ○ 位置づけられている
- ○ 位置づけられていない

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。
（【地域子育て支援拠点事業を実施していない園対象】地域子育て支援拠点事業について）
（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問21-3　貴園が、地域子育て支援拠点事業の支援拠点となっていない理由をご回答ください。（あてはまるもの全て）

- ☐ 人員体制がととのっていない
- ☐ 財源が不足している
- ☐ 自治体に採択されない
- ☐ ニーズがない
- ☐ その他 (具体的に)
- ☐ 特にない

問21-4　貴園では、地域子育て支援拠点事業の支援拠点と情報共有など連携を行っていますか。

- ○ 連携をしている
- ○ 連携をしていない
- ○ 近隣に地域子育て支援拠点がない

２．貴園の子育て支援事業の実施状況についてお伺いします。（今後について）（令和３年１２月１日時点についてご回答ください。）

問22　貴園の子育て支援事業で今後の展望や、新たに予定されている取組があればご回答ください。

- ○ 特にない
- ○ ある（具体的にご記入下さい）

問23　認定こども園の子育て支援事業について、課題やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

３．ご回答者についてお伺いします。

問24　貴園の名称をご回答ください。

問25　ご回答者様についてご回答ください。

名前	
役職名	
メールアドレス	
電話番号	

問26　本調査では、子育て支援事業に関する好事例集を作成することを予定しています。
事例集作成のため、さらに詳しいお話を伺うため、別途、オンラインまたは対面、電話でのヒアリング調査にご協力いただくことは可能でしょうか。

- ○ はい
- ○ いいえ

【プライバシーポリシー】
ご記入いただいた個人情報は、内閣府補助事業「認定こども園における子育て支援事業の取り組み等に関する調査」における調査（以下「当調査」といいます）およびこれらに付随する業務に利用いたします。
当調査が提供を求めるすべての項目にお答えいただく必要はありませんが、必要となる情報が不足している場合には、当調査におけるご連絡等ができない場合があります。
当調査の結果は、ご本人の承諾なく上記目的以外に個人情報を利用または第三者に提供しません。
原則としてご本人に限り、「個人情報の利用目的」の通知、登録した個人情報の開示、訂正、追加または削除、利用停止、消去、ならびに第三者への提供の停止を求めることができるものとします。具体的な方法については下記の個人情報管理の問い合わせ先にご連絡ください。
なお、個人情報への不当なアクセスまたは個人情報の紛失、破壊、改竄、漏洩などの危険に対して、技術面および組織面において必要な安全対策を継続的に講じるよう努めています。

【個人情報の取り扱いに関するお問い合わせについて】
調査委託先：株式会社リベルタス・コンサルティング 担当：貞方、傍島、八田
電話：0120-575-332（平日10：00～17：00）
メール：kodomoen@libertas.co.jp

上記プライバシーポリシーに同意の上、ご回答ください。